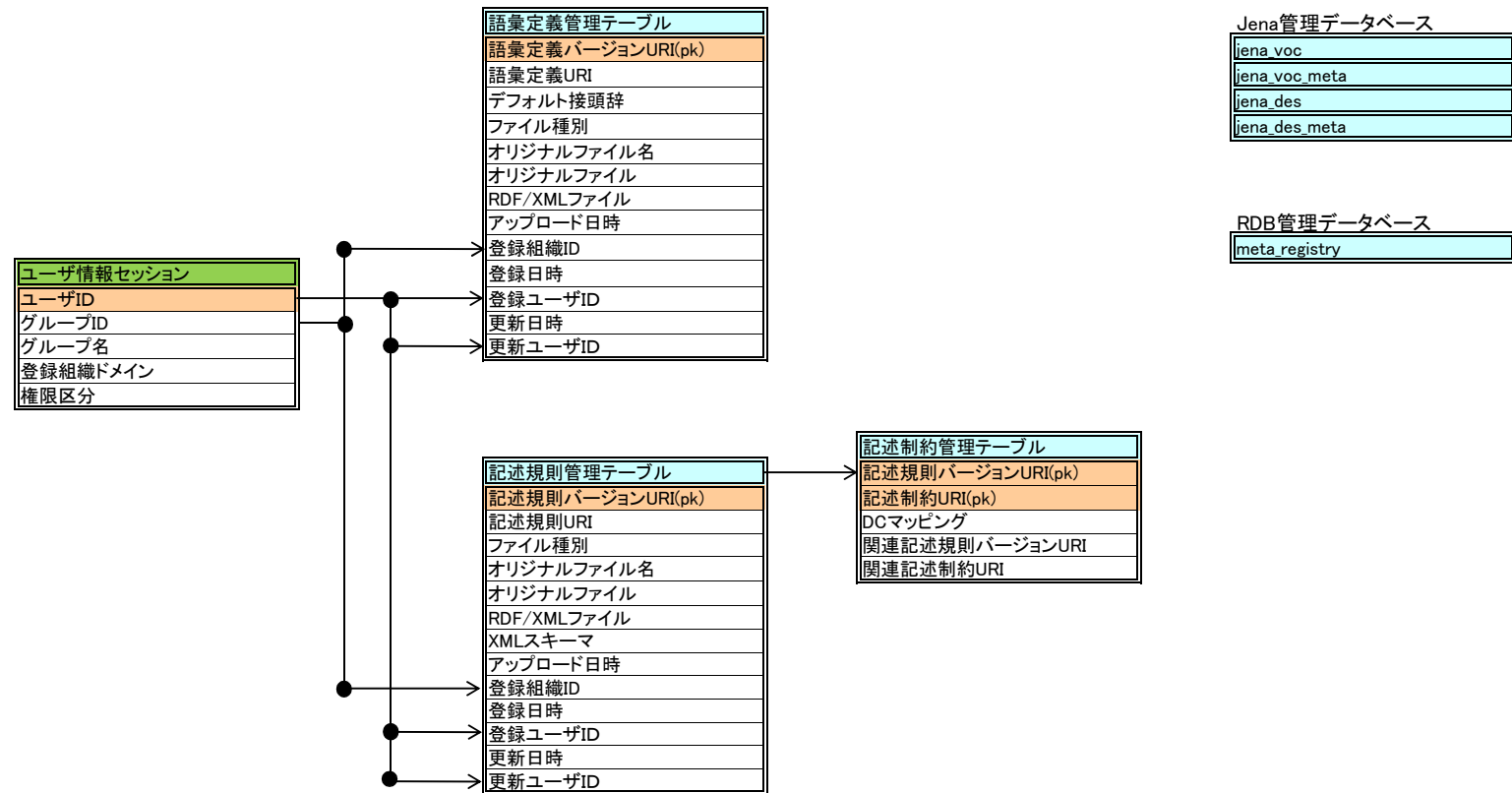


メタデータ基礎システム	基本設計書	作成日	2011/2/8
データベース設計	データベース関連図	作成	インフォコム



メタデータ基礎システム	基本設計書					作成	インフォコム	作成日	2011/2/14
データベース設計	テーブル名	語彙定義管理テーブル				テーブルID	tbl_vocabulary		

No	項目	フィールド名	属性	桁数	必須	一意 キー	主 キー	デフォ ルト	参照 キー	参照 テーブル	参照 項目	備考
1	バージョンURI(pk)	version_uri	varchar	1024	○		○					自動採番
2	語彙定義URI	vocabulary_uri	varchar	1024	○							
3	デフォルト接頭辞	default_prefix	varchar	64	○							
4	ファイル種別	file_type	varchar	2								01:RDF/XML、02:Turtle nullの場合は、未登録語彙
5	オリジナルファイル名	original_filename	varchar	256								
6	オリジナルファイル	original_file	bytea									
7	RDF/XMLファイル	rdxml_file	text									
8	アップロード日時	upload_date	timestamp									
9	登録組織ID	org_id	varchar	8								
10	登録ユーザID	cre_user_id	varchar	8								
11	登録日時	cre_date	timestamp									
12	更新ユーザID	upd_user_id	varchar	8								
13	更新日時	upd_date	timestamp									
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

メタデータ基礎システム	基本設計書					作成	インフォコム	作成日	2011/2/14
データベース設計	テーブル名	記述規則管理テーブル				テーブルID	tbl_description		

No	項目	フィールド名	属性	桁数	必須	一意 キー	主 キー	デフォ ルト	参照 キー	参照 テーブル	参照 項目	備考
1	バージョンURI(pk)	version_uri	varchar	1024	○		○					
2	記述規則URI(pk)	description_uri	varchar	1024	○							
3	ファイル種別	file_type	varchar	2								01:RDF/XML、02:Turtle、03:タブ区切 テキスト、null新規作成
4	オリジナルファイル名	original_filename	varchar	256								
5	オリジナルファイル	original_file	bytea									
6	RDF/XMLファイル	rdxml_file	text									
7	XMLスキーマ	xml_schema	text									
8	アップロード日時	upload_date	timestamp									
9	登録組織ID	org_id	varchar	8								
10	登録ユーザID	cre_user_id	varchar	8								
11	登録日時	cre_date	timestamp									
12	更新ユーザID	upd_user_id	varchar	8								
13	更新日時	upd_date	timestamp									
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												

メタデータ基礎システム	基本設計書					作成	インフォコム	作成日	2011/2/14
データベース設計	テーブル名	記述制約管理テーブル				テーブルID	tbl_statement		

No	項目	フィールド名	属性	桁数	必須	一意 キー	主 キー	デフォ ルト	参照 キー	参照 テーブル	参照 項目	備考
1	記述規則バージョンURI(pk)	version_uri	varchar	1024	○		○					
2	記述制約URI(pk)	statement_uri	varchar	2048	○		○					
3	DCマッピング	dc_map	varchar	256	○							
4	関連記述規則バージョンURI	rel_version_uri	varchar	1024								
5	関連記述制約URI	rel_statement_uri	varchar	2048								
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

メタデータ基礎システム	基本設計書					作成	インフォコム	作成日	2011/2/14
データベース設計	テーブル名	ユーザ情報テーブル				テーブルID	tbl_user		

No	項目	フィールド名	属性	桁数	必須	一意 キー	主 キー	デフォ ルト	参照 キー	参照 テーブル	参照 項目	備考
1	FLG	flg	varchar	2	○							
2	USR_LEVEL	usr_level	varchar	2								
3	ID	id	varchar	8	○		○					
4	NAME	name	varchar	256	○							
5	LOGIN	login	varchar	256								
6	PASSWD	passwd	varchar	512								
7	BIKO	biko	varchar	256								
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

メタデータ基礎システム	基本設計書					作成	インフォコム	作成日	2011/2/14
データベース設計	テーブル名	グループ情報テーブル				テーブルID	tbl_grp		

No	項目	フィールド名	属性	桁数	必須	一意 キー	主 キー	デフォ ルト	参照 キー	参照 テーブル	参照 項目	備考
1	親レコード	parent	varchar	8	○		○					
2	子レコード	child	varchar	8	○		○					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

画面一覧表

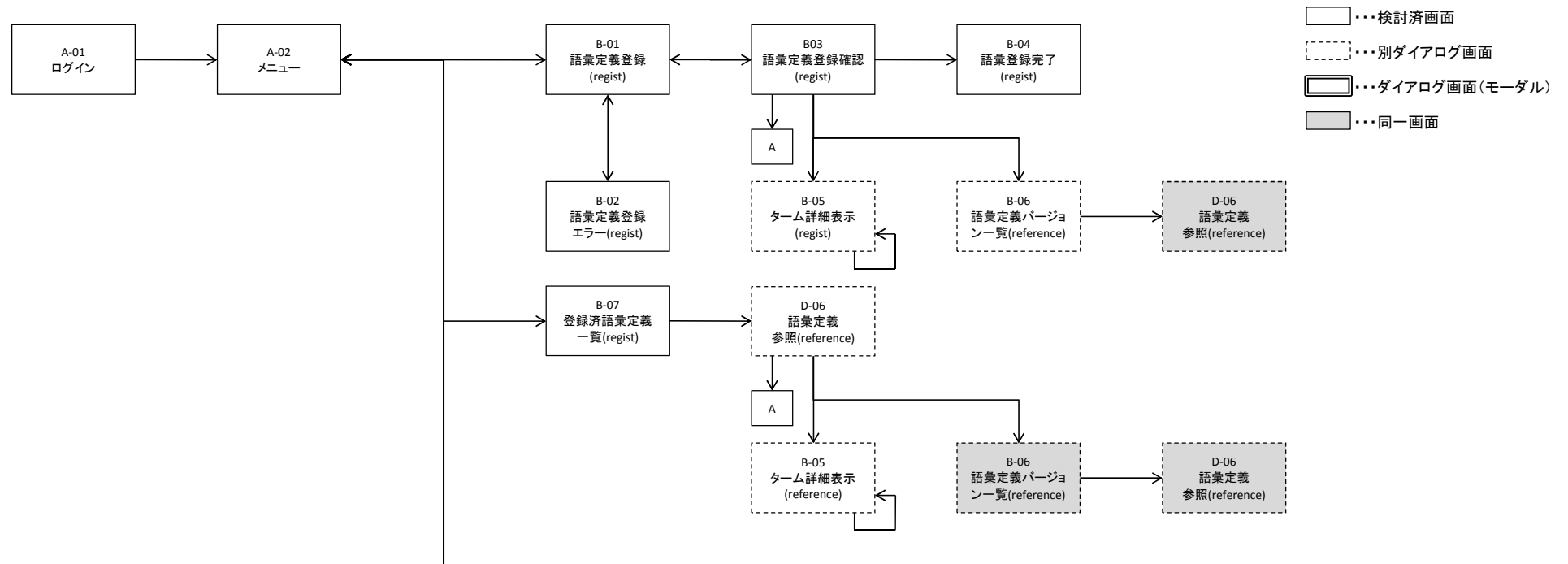
No.	仮画面No	画面名称	備考
1	A-01	ログイン	
2	A-02	メニュー	
3	B-01	語彙定義登録	
4	B-02	語彙定義登録エラー	
5	B-03	語彙登録確認(ターム一覧)	
6	B-04	語彙登録完了	
7	B-05	ターム詳細表示	
8	B-06	語彙定義バージョン一覧	
9	B-07	語彙一覧	
10	C-01	記述規則ファイル登録	
11	C-02	記述規則エラー画面	
12	C-03	記述規則編集	
13	C-04	記述制約追加編集	
14	C-05	記述制約検索	
15	C-06	記述規則(構造体)追加編集	
16	C-07	参照設定	
17	C-08	記述規則バージョン一覧	
18	C-09	未登録語彙登録	
19	C-10	記述規則編集完了	
20	C-11	ターム検索	
21	C-12	記述規則一覧	
22	D-01	記述規則検索一覧	
23	D-02	記述規則参照	
24	D-03	記述規則参照(構造体)	
25	D-04	記述制約参照	
26	D-05	語彙定義検索一覧	
27	D-06	語彙定義参照	
28	D-07	ターム詳細表示	
29	D-08	記述制約検索	
30	D-09	キーワード検索	
31	D-10	キーワード検索結果	
32	E-01	メタデータ確認 (CSV)	
33	E-02	メタデータ確認 結果	
34	E-03	メタデータRDF生成	
35	E-04	メタデータRDF生成結果	
36	F-01	メタデータ変換	
37	F-02	メタデータ変換結果	
38	F-03	メタデータ変換(DC)	
39	F-04	メタデータ変換結果(DC)	
40	G-01	語彙定義取得API	APIのため画面レイアウト未作成
41	G-02	記述規則取得API	APIのため画面レイアウト未作成
42	G-03	キーワード検索API	APIのため画面レイアウト未作成
43	G-04	プロパティ検索API	APIのため画面レイアウト未作成
44	G-05	メタデータ変換API	APIのため画面レイアウト未作成
45			
46			

メタデータ基盤システム	基本設計書	更新者	インフォコム
	画面遷移	更新日	2011/2/10

総務省PJ

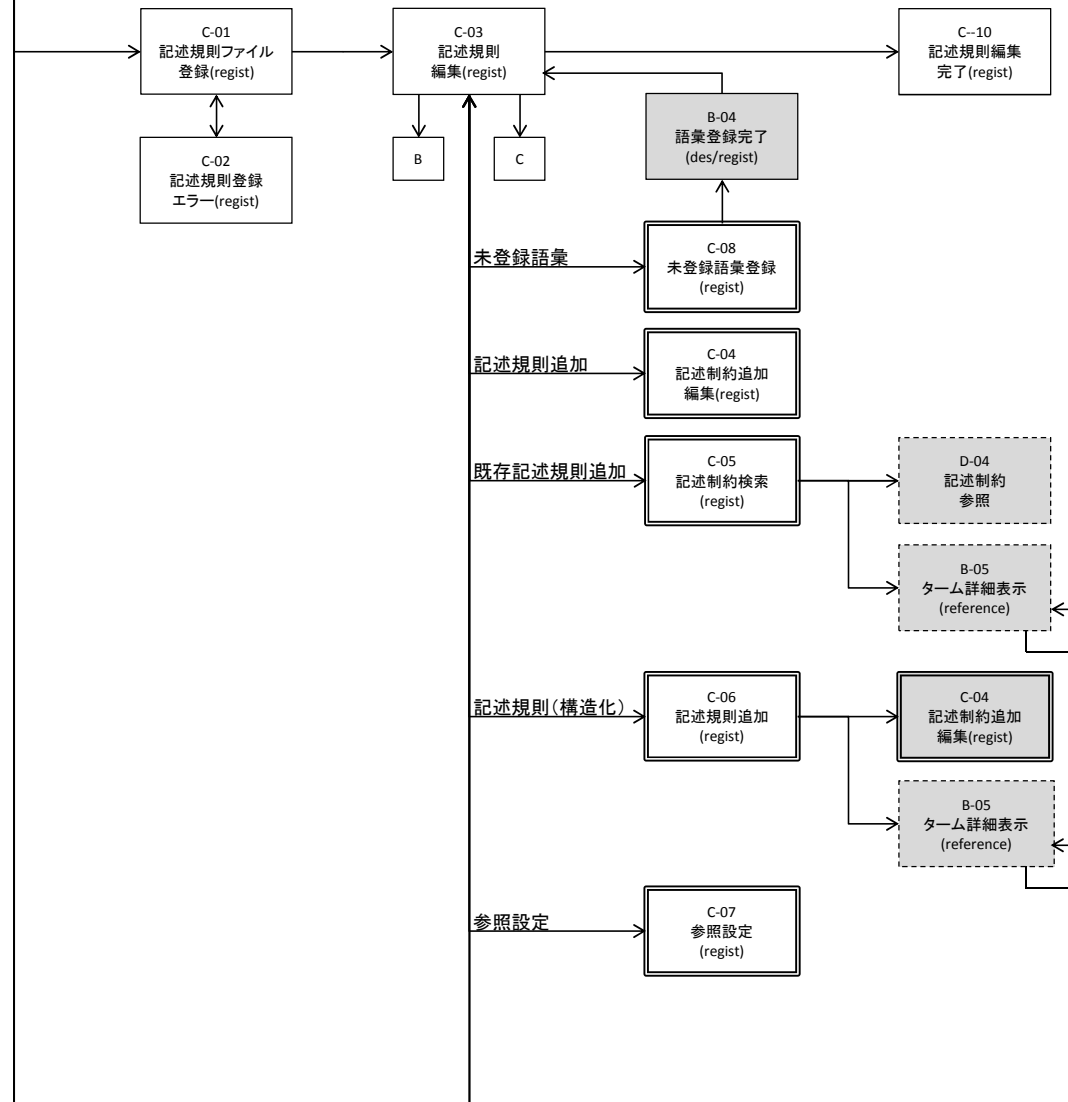
1. スキーマ登録

語彙定義登録

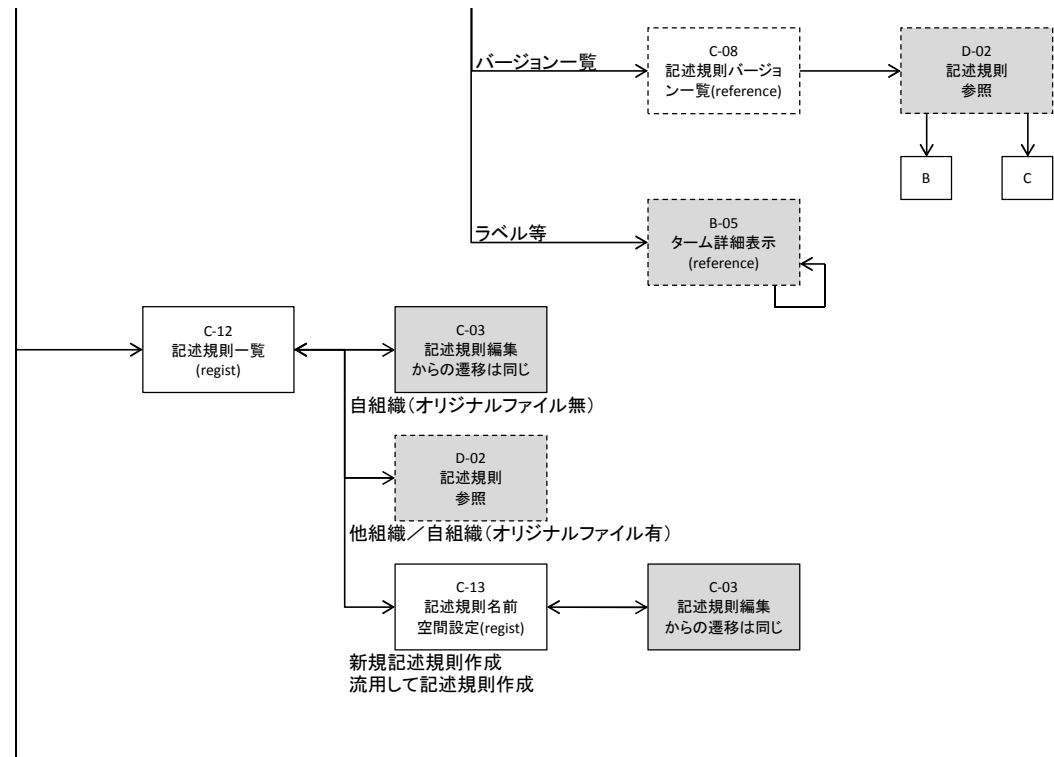


メタデータ基盤システム	基本設計書	更新者	インフォコム
	画面遷移	更新日	2011/2/10

記述規則登録



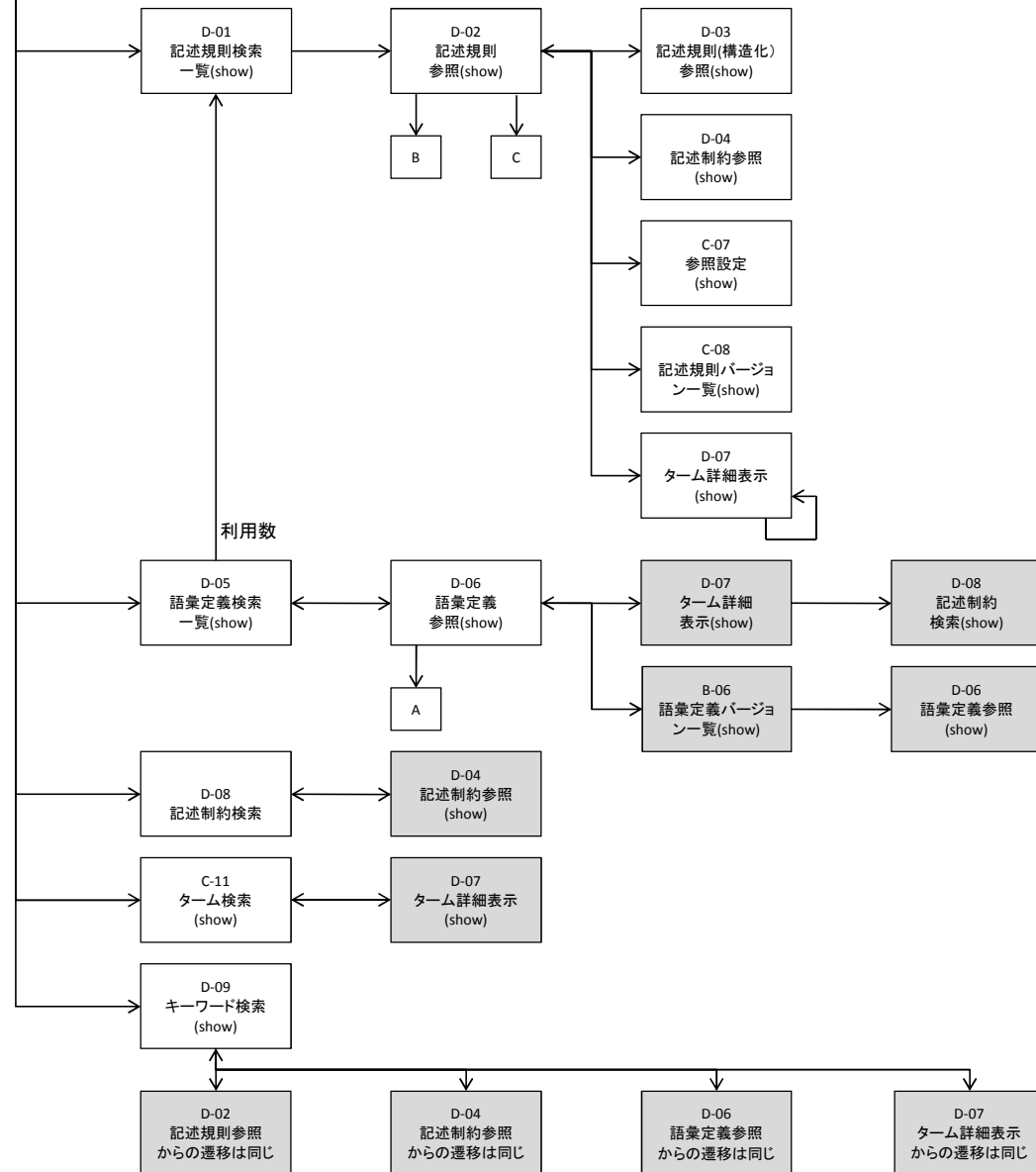
メタデータ基盤システム	基本設計書	更新者	インフォコム
	画面遷移	更新日	2011/2/10



メタデータ基盤システム	基本設計書	更新者	インフォコム
	画面遷移	更新日	2011/2/10

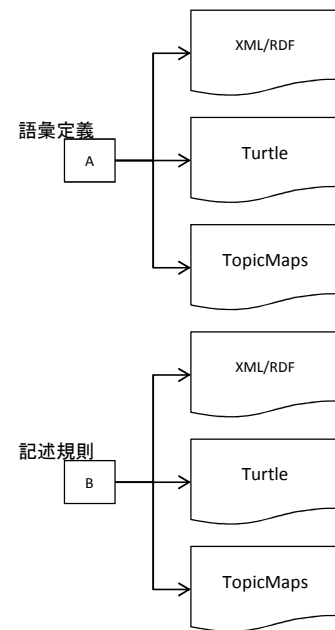
2 コンテナ・メタデータ提供者のレジストリ利用

2.1 2.2 2.3 記述規則、語彙定義の一覧、詳細、検索、複数フォーマット出力



メタデータ基盤システム	基本設計書	更新者	インフォコム
	画面遷移	更新日	2011/2/10

2.3 記述規則、語彙定義を複数フォーマットで取得できる



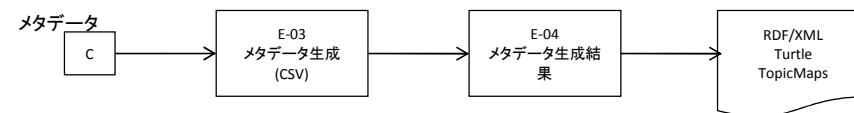
2.4 独自記述規則の作成を支援できる

1. スキーマ登録 記述規則登録と同じ

2.5 複数記述規則間の関連を調べ、分かりやすく示すことができる

2.1,2.2,2.3を利用。対応しない

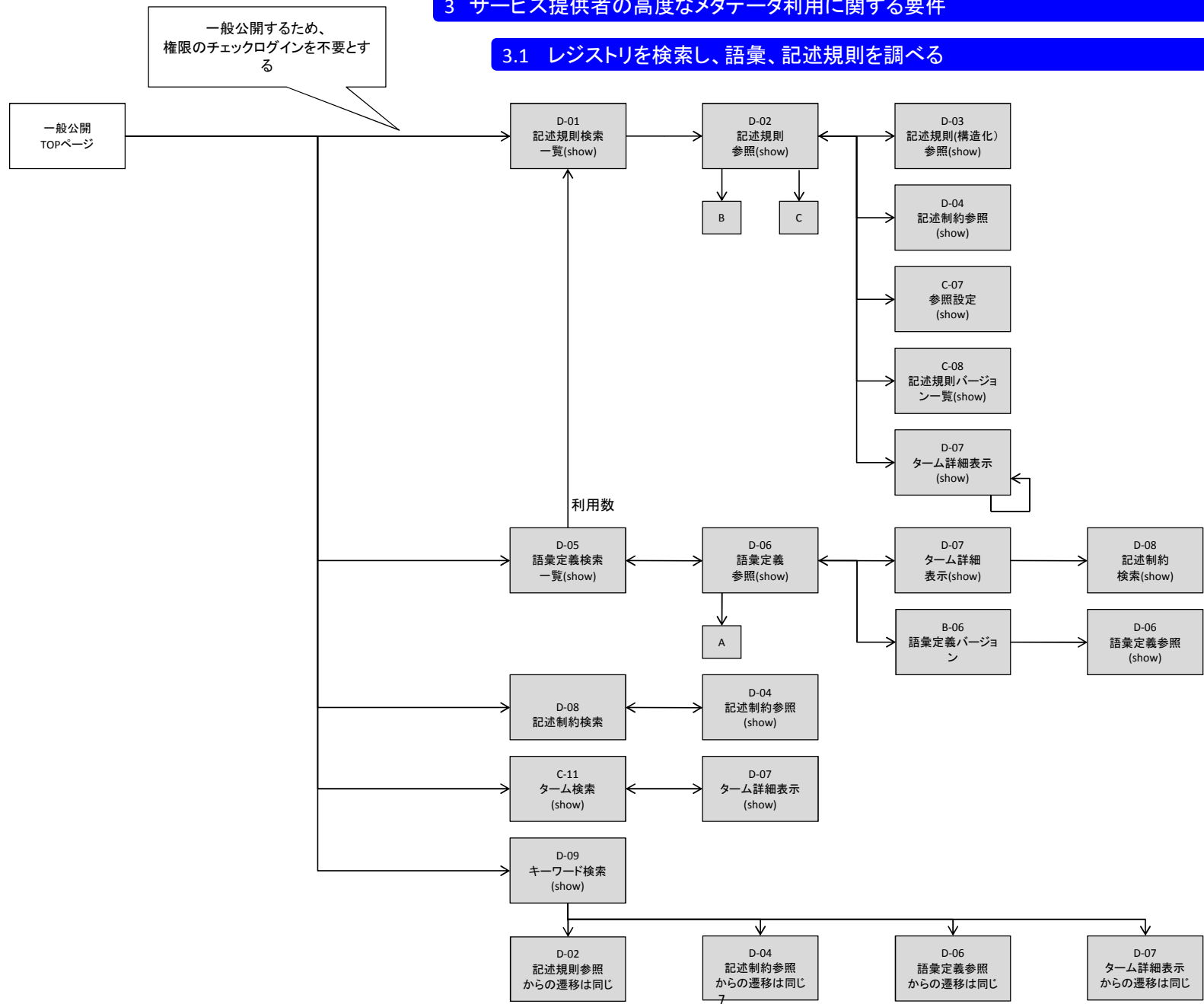
2.6 選択した記述規則に基づくメタデータ記述の支援ができる



メタデータ基盤システム	基本設計書	更新者	インフォコム
	画面遷移	更新日	2011/2/10

3 サービス提供者の高度なメタデータ利用に関する要件

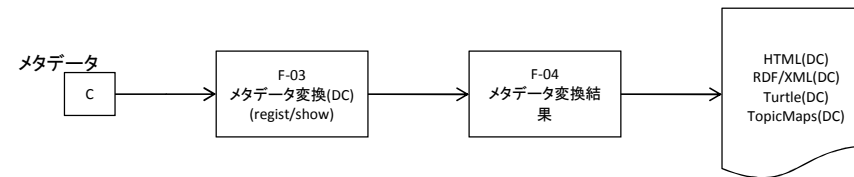
3.1 レジストリを検索し、語彙、記述規則を調べる



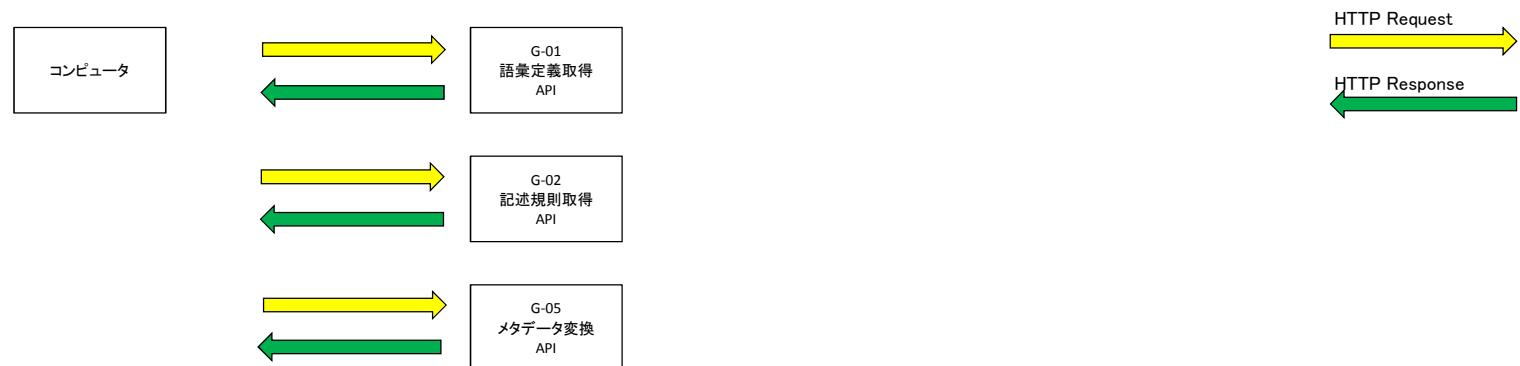
メタデータ基盤システム	基本設計書	更新者	インフォコム
	画面遷移	更新日	2011/2/10

メタデータ基盤システム	基本設計書	更新者	インフォコム
	画面遷移	更新日	2011/2/10

3.2 メタデータの変換支援



3.3 コンピュータによる問い合わせインターフェース



画面一覧表

No.	仮画面No	画面名称	ページ	備考
1	A-01	ログイン	1	
2	A-02	メニュー	4	
3	B-01	語彙定義登録	9	
4	B-02	語彙定義登録エラー	13	
5	B-03	語彙登録確認(ターム一覧)	16	
6	B-04	語彙登録完了	27	
7	B-05	ターム詳細表示	30	
8	B-06	語彙定義バージョン一覧	34	
9	B-07	語彙一覧	37	
10	C-01	記述規則ファイル登録	41	
11	C-02	記述規則エラー画面	47	
12	C-03	記述規則編集	50	
13	C-04	記述制約追加編集	68	
14	C-05	記述制約検索	79	
15	C-06	記述規則(構造化)追加編集	83	
16	C-07	参照設定	88	
17	C-08	記述規則バージョン一覧	91	
18	C-09	未登録語彙登録	94	
19	C-10	記述規則編集完了	101	
20	C-11	ターム検索	104	
21	C-12	記述規則一覧	107	
22	C-13	記述規則名前空間設定	112	
23	D-01	記述規則検索一覧	115	
24	D-02	記述規則参照	118	
25	D-03	記述規則参照(構造化)	124	
26	D-04	記述制約参照	128	
27	D-05	語彙定義検索一覧	131	
28	D-06	語彙定義参照	135	
29	D-07	ターム詳細表示	141	
30	D-08	記述制約検索	144	
31	D-09	キーワード検索	148	
32	D-10	キーワード検索結果	151	キーワード検索に一画面化
33	E-01	メタデータ確認 (CSV)		E-03で仕様を満たすので削除
34	E-02	メタデータ確認 結果		E-04で仕様を満たすので削除
35	E-03	メタデータRDF生成	158	
36	E-04	メタデータRDF生成結果	162	
37	F-01	メタデータ変換		形式変換は不要
38	F-02	メタデータ変換結果		形式変換は不要
39	F-03	メタデータ変換(DC)	165	
40	F-04	メタデータ変換結果(DC)	169	
41	G-01	語彙定義取得API	172	APIのため画面レイアウト無
42	G-02	記述規則取得API	175	APIのため画面レイアウト無
43	G-03	キーワード検索API		用途が少ないので不要
44	G-04	プロパティ検索API		用途が少ないので不要
45	G-05	メタデータ変換API	178	APIのため画面レイアウト無

画面説明

画面No.	画面名称
A-01	ログイン

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1.レイアウト

【ログイン時】の場合

公開サイト

A-02 メニュー
【一般利用時メニュー】

メタデータ基盤システム

ログインはこちら

ログインID:

パスワード:

ログイン

クリア



メニュー

A-02 メニュー
【ログイン時メニュー】

2.処理概要

公開サイトから、ログインします。
エラーの場合は、メッセージを表示します。
ログイン時は、ログイン時用のメニューに遷移します。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	ログインID	テキスト	○		文字						
2	パスワード	テキスト	○		文字						

(2) 出力項目 なし

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	ログイン	アクティブ				「4.2」参照	IndexAction.doLogin	
2	クリア	アクティブ				「4.3」参照	IndexAction.doClear	

4.処理詳細

4.1 初期表示 (/index)

- ・ 画面を表示する。

4.2 ログインボタンを押下する (/doRegist)

- ・ バリデータチェックを行う。
- ・ ログインID、パスワードが正しくない場合は、エラーメッセージを表示する。
「ログインIDまたはパスワードが異なります。」
- ・ A-02 メニュー画面 (/menu/regist)を表示する。

4.3 クリアボタンを押下する (/doClear)

- ・ フォームをクリアして、初期表示する。

※ 権限について

- ・ 本システムの権限は登録組織により規定する。
登録組織に所属しているユーザであれば、管理者とする。
登録組織ID＝メタデータ基盤事務局 管理者組織

それ以外の組織に所属しているユーザは、一般権限者となる。

- ・ 登録組織には、以下2つについては、初期時に固定で保持する。
管理者登録組織ID
標準語彙組織ID

画面説明

画面No.	画面名称
A-02	メニュー

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1.レイアウト

2.処理概要

【ログイン時メニュー】

メニュー

メタデータの相互運用性と利用性の高度化を目的として、メタデータ記述規則等の標準仕様とオープンなメタデータ情報基盤の仕組みを検証実証するサイトです。

レジストリ管理メニュー

[語彙定義ファイル登録](#)

RDF/XML、Turtle形式の語彙定義ファイルを本システムにアップロードし、登録、更新します。
登録した語彙定義は、一般に公開されます。

[登録済語彙定義](#)

登録済の語彙定義の一覧を表示します。
また、一覧から登録済の語彙定義を削除することができます。

[記述規則ファイル登録](#)

タブ区切テキスト、RDF/XML、Turtle形式の記述規則ファイルを本システムにアップロードし、登録、更新します。
登録した記述規則は、一般に公開されます。

[記述規則登録](#)

登録済の記述規則一覧を表示します。
画面から記述規則の新規登録を行うことができます。既存の記述規則を流用して、新規記述規則を作成することもできます。画面で作成した記述規則は、編集することができます。
また、一覧から登録済の記述規則を削除することができます。
語彙定義のRDF/XML、Turtle、TopicMap形式のファイルをダウンロードすることが可能です。
CSV形式のデータを登録されている記述規則で、メタデータインスタンスRDFに生成して出力できます。

一般利用メニュー

ログイン画面から遷移した場合は、ログイン時メニューが表示されます。
ログイン時は、語彙定義ファイルの登録、記述規則ファイルの登録などが行うことが可能です。
一般利用時メニューは、登録された様々な機関の語彙定義、記述規則の検索を行うことが可能です。



[語彙定義検索](#)

図書館、博物館、美術館、公文書館、研究機関、民間出版社等の様々な機関の登録語彙集を検索します。
登録されている語彙定義のRDF/XML、Turtle、TopicMap形式のファイルをダウンロードすることが可能です。



[記述規則検索](#)

図書館、博物館、美術館、公文書館、研究機関、民間出版社等の様々な機関の記述規則を検索します。
語彙定義を指定し、その語彙定義を利用している記述規則を検索することが可能です。
登録されている語彙定義のRDF/XML、Turtle、TopicMap形式のファイルをダウンロードすることが可能です。



[キーワード検索](#)

自由キーワードを用いて、記述規則、語彙定義のラベル、説明などを検索します。



[プロパティによる項目記述規則\(記述規約\)検索](#)

プロパティを指定し、そのプロパティを用いる項目記述規則(記述規約)を検索します。



[語彙定義からのターム検索](#)

登録語彙集の登録されているタームをプロパティ名、クラス名等を指定し、検索します。

1.レイアウト	2.処理概要
【一般利用時メニュー】 メニュー メタデータの相互運用性と利用性の高度化を目的として、メタデータ記述規則等の標準仕様とオープンなメタデータ情報基盤の仕組みを検証実証するサイトです。 一般利用メニュー  語彙定義検索 図書館、博物館、美術館、公文書館、研究機関、民間出版社等の様々な機関の登録語彙集を検索します。 登録されている語彙定義のRDF/XML、Turtle、TopicMap形式のファイルをダウンロードすることが可能です。  記述規則検索 図書館、博物館、美術館、公文書館、研究機関、民間出版社等の様々な機関の記述規則を検索します。 語彙定義を指定し、その語彙定義を利用している記述規則を検索することが可能です。 登録されている語彙定義のRDF/XML、Turtle、TopicMap形式のファイルをダウンロードすることが可能です。  キーワード検索 自由キーワードを用いて、記述規則、語彙定義のラベル、説明などを検索します。  プロパティによる項目記述規則(記述規約)検索 プロパティを指定し、そのプロパティを用いる項目記述規則(記述規約)を検索します。  語彙定義からのターム検索 登録語彙集の登録されているタームをプロパティ名、クラス名等を指定し、検索します。	

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
メタデータ管理メニュー						
1	語彙定義ファイル登録	○	文字	語彙定義ファイルを登録、更新します。		
2	登録済語彙定義	○	文字	登録済の語彙定義を表示します。		
3	記述規則ファイル登録	○	文字	記述規則ファイルを登録、更新します。		
4	記述規則登録	○	文字	登録済の記述規則を表示します。 画面から記述規則を新規登録します。		
一般利用メニュー						
5	語彙定義検索	○	文字	登録済の語彙定義を検索します。		
6	記述規則検索	○	文字	登録済の記述規則を検索します。		
7	キーワード検索	○	文字	キーワードで、記述規則、語彙定義のラベル、説明などを検索します。		
8	プロパティによる項目記述規則検索 (記述規約)	○	文字	プロパティを指定し、そのプロパティを用いる項目記述規則(記述規約)を検索します。		
9	語彙定義からのターム検索	○	文字	登録語彙集の登録されているタームをプロパティ名、クラス名等を指定し、検索します。		

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
メタデータ管理メニュー								
1	語彙ファイル登録	アクティブ				「4.3」参照	/regist/vocabulary	
2	登録済語彙定義	アクティブ				「4.4」参照	/regist/vocabulary/list	
3	記述規則ファイル登録	アクティブ				「4.5」参照	/regist/description	
4	記述規則登録	アクティブ				「4.6」参照	/regist/description/list	
一般利用メニュー								
5	語彙定義検索	アクティブ				「4.7」参照	/show/vocabulary/search	
6	記述規則検索	アクティブ				「4.8」参照	/show/description/search	
7	キーワード検索	アクティブ				「4.9」参照	/show/keyword/search	
8	プロパティによる項目記述規則検索 (記述規約)	アクティブ				「4.10」参照	/show/statement/search	
9	語彙定義からのターム検索	アクティブ				「4.11」参照	/show/term/search	

4.処理詳細

- 4.1 ログイン画面時初期表示 (/menu/regist)
 - ・ ログイン用のメニュー画面を表示する。
- 4.2 一般利用時初期表示 (/menu)
 - ・ 一般利用用のメニュー画面を表示する。
- 4.3 語彙ファイル登録を押下する
 - ・ B-01 語彙定義登録画面に遷移する。
- 4.4 登録済語彙定義を押下する
 - ・ B-07 登録済語彙定義一覧画面に遷移する。
- 4.5 記述規則ファイル登録を押下する
 - ・ C-01 記述規則ファイル登録画面に遷移する。
- 4.6 記述規則登録を押下する
 - ・ C-08 記述規則バージョン一覧画面に遷移する。
- 4.7 語彙定義検索を押下する
 - ・ D-05 語彙定義検索一覧画面に遷移する。
- 4.8 記述規則検索を押下する
 - ・ D-01 記述規則検索一覧画面に遷移する。
- 4.9 キーワード検索を押下する
 - ・ D-09 キーワード検索画面に遷移する。
- 4.10 プロパティによる項目記述規則検索(記述規約)を押下する
 - ・ D-08 記述制約検索画面に遷移する。
- 4.11 語彙定義からのターム検索を押下する
 - ・ C-11 ターム検索画面に遷移する。

画面説明

画面No.	画面名称
B-01	語彙定義登録

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

2. 処理概要

語彙定義登録

メニューへ戻る

登録区分	☒ 新規登録 ☐ 更新
登録組織 ※	
語彙定義URI ※	
種類	☒ RDF/XML形式 ☐ Turtle形式
ファイル名	参照
	ファイルからの取込
取込語彙定義URL	
	URLからの取込
語彙定義入力	
	テキストからの取込

【新規登録時の表示】

語彙定義URI ※	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/
-----------	--

メタデータ基盤システムで利用する語彙定義を登録、更新します。
ファイル、URL、テキストから登録、更新可能です。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	登録区分	ラジオ	○	新規登録				新規登録 更新	「4.7」参照		選択肢は設定ファイルより取得
2	登録組織	プルダウン	○	ログイン者の 登録組織						グループ管理テーブル.グループ名	管理者の場合、選択 その他はログイン組織 でラベル表示
3	語彙定義URI	テキスト	○	ログイン情報 の基底URI		1000	URLチェック			ログイン情報の基底URI	基底URIをデフォルト 表示 「新規登録」時のみテ キスト
4	語彙定義URI	プルダウン	○							語彙定義管理テーブル.語彙 定義URI	「更新」時のみプルダ ウン
5	種類	ラジオ	○	RDF/XML形式				RDF/XML形 式 Turtle形式			選択肢は設定ファイル より取得する
6	ファイル名	ファイル	△		文字		ファイルパス		ファイルダイアロ グを表示		ファイル名は256文字 以上はエラーとする
7	取込語彙定義URL	テキスト	△		文字		URLチェック				
8	語彙定義入力	テキスト エリア	△		文字						

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	登録組織		文字	管理者ユーザでない場合のみラベルで表示します。	グループ管理テーブル.グループ名	ラベル表示

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	ファイルからの取込	アクティブ				「4.3」参照	VocabularyAction.doFileUpload	
2	URIからの取込	アクティブ				「4.4」参照	VocabularyAction.doUriUpload	
3	テキストからの取込	アクティブ				「4.5」参照	VocabularyAction.doTextUploa	
4	メニューへ戻る	アクティブ				「4.6」参照	/menu	javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示 (/index)

- ・ 各選択肢を設定する(項目説明参照)。
- ・ グループ管理テーブルから、登録組織名のリストを取得する。
- ・ ログイン情報からログインユーザに管理権限がない場合は、登録組織をラベルとし、ログインユーザの登録組織で固定。
- ・ 語彙定義管理テーブルから、登録組織のレコードを取得する。(条件: 語彙URI、登録組織ID(登録組織プルダウンで指定)、登録日時最新)
- ・ 登録区分が新規登録の場合、語彙定義URIをテキスト表示し、登録組織ドメインを表示する。更新の場合は、プルダウン表示する。

4.2 参照ボタンを押下する

- ・ ファイル選択ダイアログ表示する。

4.3 ファイルからの取込を押下する (/doFileUpload)

- ・ バリデータチェックを行う。(ファイル名が未入力の場合)
- ・ アップロードするファイルが取得できない場合は、エラーメッセージを表示する。
「指定ファイルがアップロードできません。」
- ・ アップロードするファイルのサイズが上限を超えた場合は、エラーメッセージを表示する。(設定ファイルにて1MB)
「指定ファイルのサイズが上限を超えました。」
- ・ 新規登録の場合、すでに登録されているURIである場合は、エラーメッセージを表示する。
「すでに登録されているURIのため、登録できません。(XXX※XXX)には「語彙定義」か「記述規則」かを明示する。
※語彙定義管理テーブルの語彙定義URIと、記述規則管理テーブルの記述規則URIで同一のものがあれば、エラーとする。
(URIの語尾が/、#,は、同一のものと判断する)
- ・ **更新の場合、語彙定義プルダウンが未設定の場合、エラーメッセージを表示する。**
**「登録組織で登録した語彙定義が存在しません。
登録区分を「新規作成」にして、語彙定義登録を行ってください。」**
- ・ 文字コードがUTF-8以外の場合は、確認メッセージを設定する。
「ファイルの文字コードがUTF-8ではありません。文字コードを自動判定して取り込みを実行しました。
変換エラー、文字化けが発生した場合は、語彙定義入力エリアにファイルの内容を貼り付けて、再度、取り込みを実施して下さい。」
エラーの場合は、B-02 語彙定義登録エラー画面に表示する。
エラーがなければ、B-03 語彙定義登録確認画面に表示する。
- ・ Jenaの読み込みでエラーが発生した場合は、jenaのエラーメッセージを設定し、B-02 語彙定義登録エラー画面に遷移する。
- ・ 読み込んだデータのメタデータ、クラス、プロパティ、その他が全てない場合、エラーメッセージを表示する。
「入力されたデータから語彙定義情報が取得できません。語彙定義URIと入力されたデータを再確認してください。」
- ・ エラーがなければ、B-03 語彙定義登録確認画面に遷移する。

4. 処理詳細

4.4 URLからの取込を押下する(/doUriUpload)

- ・バリデータチェックを行う。(URLが未入力の場合)
- ・URLからファイルをダウンロードし、取得する。
- ・URLからファイルが取得できない場合は、エラーメッセージを表示する。
「URLからファイルが取得できません。」
- ・新規登録の場合、すでに登録されているURIである場合は、エラーメッセージを表示する。
「すでに登録されているURIのため、登録できません。(XXX※XXXには「語彙定義」か「記述規則」かを明示する。
※語彙定義管理テーブルの語彙定義URIと、記述規則管理テーブルの記述規則URIで同一のものがあれば、エラーとする。
(URIの語尾が/, #, スペースは、同一のものと判断する)
- ・更新の場合、語彙定義プルダウンが未設定の場合、エラーメッセージを表示する。
「登録組織で登録した語彙定義が存在しません。
登録区分を「新規作成」にして、語彙定義登録を行ってください。」
- ・文字コードがUTF-8以外の場合は、確認メッセージを表示する。
「ファイルの文字コードがUTF-8ではありません。文字コードを自動判定して取り込みを実行しました。
変換エラー、文字化けが発生した場合は、語彙定義入力エリアにファイルの内容を貼り付けて、再度、取り込みを実施して下さい。」
エラーの場合は、B-02 語彙定義登録エラー画面に表示する。
エラーがなければ、B-03 語彙定義登録確認画面に表示する。
- ・Jenaの読み込みでエラーが発生した場合は、jenaのエラーメッセージを設定し、B-02 語彙定義登録エラー画面に遷移する。
- ・読み込んだデータのメタデータ、クラス、プロパティ、その他が全てない場合、エラーメッセージを表示する。
「入力されたデータから語彙定義情報が取得できません。語彙定義URIと入力されたデータを再確認してください。」
- ・エラーがなければ、B-03 語彙定義登録確認画面に遷移する。

4.5 テキストからの取込を押下する(/doTextUpload)

- ・バリデータチェックを行う。(テキストが未入力の場合)
- ・新規登録の場合、すでに登録されているURIである場合は、エラーメッセージを表示する。
「すでに登録されているURIのため、登録できません。(XXX※XXXには「語彙定義」か「記述規則」かを明示する。
※語彙定義管理テーブルの語彙定義URIと、記述規則管理テーブルの記述規則URIで同一のものがあれば、エラーとする。
(URIの語尾が/, #, スペースは、同一のものと判断する)
- ・更新の場合、語彙定義プルダウンが未設定の場合、エラーメッセージを表示する。
「登録組織で登録した語彙定義が存在しません。
登録区分を「新規作成」にして、語彙定義登録を行ってください。」
- ・Jenaの読み込みでエラーが発生した場合は、jenaのエラーメッセージを設定し、B-02 語彙定義登録エラー画面に遷移する。
- ・読み込んだデータのメタデータ、クラス、プロパティ、その他が全てない場合、エラーメッセージを表示する。
「入力されたデータから語彙定義情報が取得できません。語彙定義URIと入力されたデータを再確認してください。」
- ・エラーがなければ、B-03 語彙定義登録確認画面に遷移する。

4.6 メニューへ戻るを押下する

- ・A-02 メニューへ戻る。

4.7 登録区分を選択する

- ・登録区分が新規登録の場合、語彙定義URIをテキスト表示し、更新の場合は、プルダウン表示する。

画面説明

画面No.	画面名称
B-02	語彙定義登録エラー

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

語彙定義登録エラー

[戻る](#)

エラー内容

FatalError: Open quote is expected for attribute "xmlns:dc" associated with an element type "rdf:RDF".[Line = 3, Column = 12]

2. 処理概要

語彙定義登録でアップロードされたデータで、エラーが発生した場合にエラーメッセージを表示します。
エラーがある場合は、再度、アップロードを語彙定義登録画面で行います。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	エラー内容			語彙定義登録で設定されたエラー内容を表示		入力不可

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	戻る	アクティブ				「4.2」参照	VocabularyAction.doBackUpload	

4.処理詳細

4.1 初期表示 (/error)

- ・ B-01 語彙定義登録で設定されたフォーム内容を画面表示する

4.2 戻るを押下する

- ・ 語彙定義登録画面の各項目を再設定する。(入力されていた内容を再表示)
- ・ B-01 語彙定義登録画面に遷移する。

画面説明

画面No.	画面名称
B-03	語彙定義登録確認

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

【新規登録】

語彙定義登録確認

登録

戻る

名前空間(接頭辞)	dcndl	※標準の接頭辞
名前空間(URI)	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/	
バージョン	過去のバージョン	
	☒ バージョンを変更する ☐ バージョンを変更しない	
バージョン情報	初版	※バージョン変更時に編集可
タイトル ※	DC-NDLに関するお問い合わせは、～までお願いいたします。	
コメント		
作成者	国立国会図書館	
作成日	2010-06-01	
その他	dcterms:creator foaf:Agent rdf:value 国立国会図書館 dcndl:transcription コクリツ コッカイ トショカン dcterms:issued	

クラス

ローカル名	ラベル	上位クラス	コメント
datarange	date range		2つの日付によって示される期間
period	period	http://aa/XX#DateRange	期間とその文字列表現をもつクラス

2. 処理概要

メタデータ基盤システムで利用する語彙定義を登録、更新します。

プロパティ

ローカル名	ラベル	上位プロパティ	定義域	値域	DCとの関連
seriestitle	SeriesTitle				
creator	creator	dcterms:creator			dc:title
subject	subject				
dateGranted	dateGranted	dcterms:date	dc:Agent	rdfs:Literal	dc:date

その他

ローカル名	ラベル	タイプ	コメント
BSH	BSH	http://purl.org/dc/dcam/VocabularyEncodingScheme	基本件名標目表
BRNO	BRNO	http://purl.org/dc/dcam/VocabularyEncodingScheme	基本件名標目表

【更新】

語彙定義登録確認

更新

戻る

名前空間(接頭辞)	dcndl ※標準の接頭辞
名前空間(URI)	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/
バージョン	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/?20101001 過去のバージョン
	☒ バージョンを変更する ☐ バージョンを変更しない
バージョン情報	1.1版 ※バージョン変更時に編集可
タイトル ※	国立国会図書館が定めたメタデータ記述語彙
コメント	DC-NDLに関するお問い合わせは、～までお願いいたします。
作成者	国立国会図書館
作成日	2010-06-01
その他	dcterms:creator foaf:Agent rdf:value 国立国会図書館 dcndl:transcription コクリツ コッカイ トショカン dcterms:issued

クラス

ローカル名	ラベル	上位クラス	コメント
datarange	date range		2つの日付によって示される期間
period	period	http://aa/XX#DateRange	期間とその文字列表現をもつクラス

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	名前空間(接頭辞)	テキスト	○			64	NCNameで、 正規表現 ¥p[Graph]			名前空間URIの接頭辞	
2	バージョン(変更)	ラジオ		バージョンを 変更する				バージョンを 変更する/ バージョンを 変更しない	「4.10」参照		ファイルでの更新時 のみ有効
3	バージョン情報	テキスト			文字					reg:version	バージョン情報を変更 しないに場合は 利用不可 更新の場合、存在し ない場合は、語彙定 義メタデータスキーマ から、マージする
4	タイトル	テキスト	○		文字					rdfs:label dc:title dcterms:title ⇒reg:label	更新の場合、存在し ない場合は、語彙定 義メタデータスキーマ から、マージする
5	コメント	テキスト			文字					rdfs:comment ⇒reg:comment	更新の場合、存在し ない場合は、語彙定 義メタデータスキーマ から、マージする

3.項目説明

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	名前空間(URI)		文字	語彙定義のベースURI	名前空間URI	
2	バージョン		文字	語彙定義のベースURIのバージョン	新規登録の場合は空 更新の場合は、語彙定義バージョンURI	語彙URIに?20101011で日付管理
3	作成者		文字	語彙定義の作成者	reg:creator 存在しない場合は、登録組織名	更新の場合、存在しない場合は、 語彙定義メタデータスキーマから、マージする
4	作成日		文字	語彙定義の作成日	reg:created 存在しない場合は、システム日付	更新の場合、存在しない場合は、 語彙定義メタデータスキーマから、マージする
5	その他		文字	特定以外のメタデータ記述	その他の記述	
クラス						
6	ローカル名	○	文字	URIのローカル名を表示する	ローカル名	
7	ラベル		文字	クラスのラベルを表示する	rdfs:label	
8	上位クラス	○	文字	クラスの上位クラスを表示する	rdfs:subClassOf	
9	コメント		文字	クラスのコメントを表示する	rdfs:comment	
プロパティ						
10	ローカル名	○	文字	URIのローカル名を表示する	ローカル名	
11	ラベル		文字	プロパティのラベルを表示する	rdfs:label	
12	上位プロパティ	○	文字	プロパティの上位プロパティを表示する	rdfs:subPropertyOf	
13	定義域	○	文字	プロパティの定義域を表示する	rdfs:domain	
14	値域	○	文字	プロパティの値域を表示する	rdfs:range	
15	DCとの関連		文字	dcのプロパティを表示する		上位プロパティの関連を検索
その他						
16	ローカル名	○	文字	URIのローカル名を表示する	ローカル名	
17	ラベル		文字	クラス、プロパティ以外の項目のラベルを表示する	rdfs:label	
18	タイプ	○	文字	その項目のタイプを表示する	rdf:type	
19	コメント		文字	クラス、プロパティ以外の項目のコメントを表示する	rdfs:comment	

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	過去バージョン	新規登録時は 非アクティブ				「4.11」参照	(/show/vocabulary/version/ [URI])	javascript
2	クラス／ローカル名	アクティブ				「4.2」参照	VocabularyAction.termDetail	javascript
3	クラス／上位クラス	アクティブ				「4.3」参照	VocabularyAction.termDetail	javascript
4	プロパティ／ローカル名	アクティブ				「4.4」参照	VocabularyAction.termDetail	javascript
5	プロパティ／上位プロパティ	アクティブ				「4.5」参照	VocabularyAction.termDetail	javascript
6	プロパティ／定義域	アクティブ				「4.6」参照	VocabularyAction.termDetail	javascript
7	プロパティ／値域	アクティブ				「4.7」参照	VocabularyAction.termDetail	javascript
8	その他／ローカル名	アクティブ				「4.8」参照	VocabularyAction.termDetail	javascript
9	その他／タイプ	アクティブ				「4.9」参照	VocabularyAction.termDetail	javascript
10	登録	更新時は表示 しない				「4.17」参照	VocabularyAction.doRegist	
11	更新	新規登録時は 表示しない				「4.18」参照	VocabularyAction.doUpdate	
12	戻る	アクティブ				「4.16」参照	VocabularyAction.doUpdate	

4. 処理詳細

4.1 初期表示(/confirm)

【新規登録の場合】

- ・ ファイルアップロードしたファイルをjenaで読み込む。
- ・ バージョン(変更)の「バージョンを変更する」、「バージョンを変更しない」は利用不可とする。
- ・ 登録ボタンを表示する。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
reg:titleは、なければrdfs:label、dc:title、dcterms:titleからマージする。
reg:commentは、なければrdfs:commentからマージする。
作成者は、管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織、それ以外はログイン者の登録組織を表示する。作成日は、なければ、システム日付を表示する。
- ・ jenaからクラスデータ(typeの値が以下のもの)を取得する。
rdfs:Class、owl:Class、owl:Restriction、owl:DeprecatedClass
- ・ jenaからプロパティデータ(typeの値がrdf:Propertyを継承するもの)を取得する。
rdf:Property、owl:ObjectProperty、owl:DatatypeProperty、owl:FunctionalProperty、owl:OntologyProperty
owl:AnnotationProperty、owl:SymmetricProperty、owl:TransitiveProperty、owl:InverseFunctionalProperty、owl:DeprecatedProperty
- ・ プロパティがシンプルDCに関連があれば、dcのプロパティ名を表示する。
- ・ jenaからその他の情報を取得する。
- ・ 名前空間(接頭辞)は、名前空間(URI)の接頭辞を設定する。
- ・ ターム詳細のリンクは、語彙定義に登録されている場合は、参照パスにURLパラメータを付加する。
- ・ 参照設定に以下を追加する(同一接頭辞がある場合は追加しない)
reg:http://purl.org/metainfo/terms/registry#
- ・ 画面を表示する。

【更新の場合】

- ・ ファイルアップロードしたファイルをjenaで読み込む。
- ・ バージョン(変更)の「バージョンを変更する」、「バージョンを変更しない」は利用可とする。
- ・ 更新ボタンを表示する。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
reg:titleは、なければrdfs:label、dc:title、dcterms:titleからマージする。
reg:commentは、なければrdfs:commentからマージする。
ファイルからマージ後、reg:titleがなければ、語彙定義メタデータスキーマからreg:titleを取得する。
ファイルからマージ後、reg:commentがなければ、語彙定義メタデータスキーマからreg:commentを取得するらマージする。
作成者は、語彙定義メタデータスキーマからreg:creatorを表示する。作成日は、なければ、システム日付を表示する。
- ・ jenaからクラスデータ(typeの値が以下のもの)を取得する。
rdfs:Class、owl:Class、owl:Restriction、owl:DeprecatedClass
- ・ jenaからプロパティデータ(typeの値がrdf:Propertyを継承するもの)を取得する。
rdf:Property、owl:ObjectProperty、owl:DatatypeProperty、owl:FunctionalProperty、owl:OntologyProperty
owl:AnnotationProperty、owl:SymmetricProperty、owl:TransitiveProperty、owl:InverseFunctionalProperty、owl:DeprecatedProperty
- ・ プロパティがシンプルDCに関連があれば、有を設定し、dcのプロパティ名を表示する。
- ・ jenaからその他の情報を取得する。
- ・ 名前空間(接頭辞)は、語彙定義管理テーブルのデフォルト接頭辞を設定する。
- ・ ターム詳細のリンクは、語彙定義に登録されている場合は、参照パスにURLパラメータを付加する。
- ・ 参照設定に以下を追加する(同一接頭辞がある場合は追加しない)
reg:http://purl.org/metainfo/terms/registry#
- ・ 画面を表示する。

4.2 クラス: ローカル名リンクを押下する

- ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。(target属性の値を、「termDetail」にする。)

4.処理詳細

- 4.3 クラス:上位クラスを押下する
 - ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。(target属性の値を、「termDetail」にする。)
- 4.4 プロパティ:ローカル名を押下する
 - ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。(target属性の値を、「termDetail」にする。)
- 4.5 プロパティ:上位プロパティを押下する
 - ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。(target属性の値を、「termDetail」にする。)
- 4.6 プロパティ:定義域を押下する
 - ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。(target属性の値を、「termDetail」にする。)
- 4.7 プロパティ:値域を押下する
 - ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。(target属性の値を、「termDetail」にする。)
- 4.8 その他:ローカル名を押下する
 - ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。(target属性の値を、「termDetail」にする。)
- 4.9 その他:タイプを押下する
 - ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。(target属性の値を、「termDetail」にする。)
- 4.10 バージョンを選択する
 - ・ 「バージョンを変更しない」を選択した場合、バージョン情報は入力不可にする
 - ・ 「バージョンを変更する」を選択した場合、バージョン情報は入力可にする
- 4.11 過去のバージョンを押下する
 - ・ B-06 語彙定義バージョン一覧画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「vocVersion」にする。
- 4.12 戻るを押下する
 - ・ B-01 語彙定義登録画面へ戻る
- 4.13 登録(新規登録の場合)を押下する
 - ・ 入力チェックを行う
 - ・ デフォルト接頭辞がすでに登録されていた場合は、エラーメッセージを表示する。
「デフォルト接頭辞が、すでに別の語彙定義で登録されています。」
 - ・ DCとの関連がない場合は、確認メッセージを表示する。
「DCとの関連がないプロパティが存在します。登録しますか？」
「いいえ」の場合は、画面に戻る。
 - ・ 排他制御チェック
語彙定義管理テーブルの基底URIのレコードの更新日付が変更されていた場合は、排他エラーとする。
「他のユーザにより、すでに更新されています。」
 - ・ 登録処理を行う。(5. 更新定義(1))
jenaで語彙定義スキーマテーブルにRDFを登録する
jenaでメタデータ部分を語彙定義メタデータテーブルにRDFを登録する
オリジナルファイルとファイル名、ファイル種別、RDF/XMLファイルを語彙定義管理テーブルに新規登録する。
 - ・ B-04 語彙定義登録完了画面に遷移する

4.処理詳細

4.14 更新(更新の場合)を押下する

- ・ 入力チェックを行う。
- ・ デフォルト接頭辞がすでに登録されていた場合は、エラーメッセージを表示する。
「デフォルト接頭辞が、すでに別の語彙定義で登録されています。」
- ・ DCとの関連がない場合は、確認メッセージを表示する。
「DCとの関連がないプロパティが存在します。登録しますか？」
「いいえ」の場合は、画面に戻る。
- ・ 登録しているバージョン日付と同一日に、「バージョンを変更する」で更新した場合、確認メッセージを表示する。
「前回、登録した日と同じです。同一バージョンに上書きされます。」
「いいえ」の場合は、画面に戻る。
- ・ 排他制御チェック
語彙定義管理テーブルの基底URIのレコードの更新日付が変更されていた場合は、排他エラーとする。
「他のユーザにより、すでに更新されています。」
- ・ 更新処理を行う。(5. 更新定義(2))
(バージョンを変更する場合)
jenaで語彙定義スキーマテーブルにRDFを更新する
jenaでメタデータ部分を語彙定義メタデータテーブルにRDFを更新する
オリジナルファイルとファイル名、ファイル種別、RDF/XMLファイルをバージョン日付で語彙定義管理テーブルに登録新規する。
(バージョンを変更しない場合)
jenaで語彙定義スキーマテーブルにRDFを更新する
オリジナルファイルとファイル名、ファイル種別、RDF/XMLを語彙定義管理テーブル(バージョン日付)で更新する
- ・ B-04 語彙定義登録完了画面に遷移する

5.DB更新定義

(1) 登録時

・語彙定義管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【登録】
1	バージョンURI(pk)	varchar	語彙定義URIにシステム日付(?20101010)を付加
2	語彙定義URI	varchar	語彙定義URI
3	デフォルト接頭辞	varchar	入力された接頭辞
4	ファイル種別	varchar	入力されたファイル種別(01:RDF/XML、02:Turtle)
5	オリジナルファイル名	varchar	オリジナルのファイル名
6	オリジナルファイル	bytea	オリジナルのファイルをバイナリ
7	RDF/XMLファイル	text	RDF/XMLファイルに変換
8	アップロード日時	timestamp	システム日付
9	登録組織ID	varchar	登録組織ID(管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織)
10	登録ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
11	登録日時	timestamp	システム日付
12	更新ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
13	更新日時	timestamp	システム日付

・語彙定義スキーマテーブル

Jenaで新規登録

(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

・語彙定義メタデータスキーマテーブル

Jenaで新規登録

(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

5.DB更新定義

(2) 更新時

(バージョンを変更する場合)

・語彙定義管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【登録】
1	バージョンURI(pk)	varchar	語彙定義URIにシステム日付(?20101010)を付加
2	語彙定義URI	varchar	語彙定義URI
3	デフォルト接頭辞	varchar	入力された接頭辞
4	ファイル種別	varchar	入力されたファイル種別(01:RDF/XML、02:Turtle)
5	オリジナルファイル名	varchar	オリジナルのファイル名
6	オリジナルファイル	bytea	オリジナルのファイルをバイナリ
7	RDF/XMLファイル	text	RDF/XMLファイルに変換
8	アップロード日時	timestamp	システム日付
9	登録組織ID	varchar	登録組織ID(管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織)
10	登録ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
11	登録日時	timestamp	システム日付
12	更新ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
13	更新日時	timestamp	システム日付

・語彙定義スキーマテーブル

バージョンURIでJenaで新規登録(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

・語彙定義メタデータスキーマテーブル

バージョンURIでJenaで新規登録(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

(バージョンを変更しない場合)

・語彙定義管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【更新】
1	バージョンURI(pk)	varchar	取得条件:バージョンURIでレコード取得
2	語彙定義URI	varchar	—
3	デフォルト接頭辞	varchar	入力された接頭辞
4	ファイル種別	varchar	入力されたファイル種別(01:RDF/XML、02:Turtle)
5	オリジナルファイル名	varchar	オリジナルのファイル名
6	オリジナルファイル	bytea	オリジナルのファイルをバイナリ
7	RDF/XMLファイル	text	RDF/XMLファイルに変換
8	アップロード日時	timestamp	システム日付
9	登録組織ID	varchar	登録組織ID
10	登録ユーザID	varchar	—
11	登録日時	timestamp	—
12	更新ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
13	更新日時	timestamp	システム日付

・語彙定義スキーマテーブル

バージョンURIでJenaで更新(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

・語彙定義メタデータスキーマテーブル

バージョンURIでJenaで更新(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

画面説明

画面No.	画面名称
B-04	語彙定義登録完了

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

語彙定義登録完了

[メニューへ戻る](#)

<http://ndl.go.jp/dcndl/terms>を更新しました。

旧バージョンは、

<http://ndl.go.jp/dcndl/terms?20101001>
です。

2. 処理概要

語彙定義登録確認画面で登録完了のメッセージを表示します。
バージョンを変更した場合は、旧バージョンを表示します。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	登録／更新メッセージ		文字	登録／更新メッセージを表示する		
2	旧バージョンメッセージ		文字	バージョン変更した場合のみ表示する		バージョン変更有の場合

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	メニューへ戻る	アクティブ				「4.3」参照	/menu	javascript 語彙定義登録の場合のみ
2	閉じる	アクティブ				「4.4」参照	VocabularyAction.doCloseComplete	未登録語彙の場合のみ表示

4.処理詳細

4.1 初期表示(/complete)

- ・ 登録／更新した語彙定義の名前空間(URI)を表示する。
登録時
「～を登録しました。」
更新時
「～を更新しました。」
- ・ バージョンを変更した場合は、旧バージョンの名前空間(URI)を表示する。
- ・ メニューへ戻るボタンとする。

4.2 未登録語彙初期表示(/nonVocCcomplete)

- ・ 登録／更新した語彙定義の名前空間(URI)を表示する。
登録時
「～を登録しました。」
更新時
「～を更新しました。」
- ・ バージョンを変更した場合は、旧バージョンの名前空間(URI)を表示する。
- ・ 閉じるボタンとする。

4.3 メニューへ戻るを押下する

- ・ A-02 メニュー画面に遷移する。

4.4 閉じるを押下する

- ・ jenaで未登録語彙の基底URIを登録した語彙定義のURIに変更して、C-03 記述規則編集へパラメータとして引き継ぐ。
- ・ 画面を閉じる。

画面説明

画面No.	画面名称
B-05	ターム詳細表示

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

ターム詳細表示

閉じる

DateGranted

名前空間 (URI)	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/dateGranted
バージョン	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/?20101120
ラベル	DateGranted
コメント	博士号の授与年月日
上位プロパティ	http://purl.org/dc/terms/date 詳細表示
定義域	http://purl.org/dc/terms/Agent 詳細表示
値域	http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#Literal 詳細表示
タイプ	http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#Property 詳細表示
その他	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/
その他	2010-6-21

2. 処理概要

指定されたURIのターム詳細を表示します。
タームの詳細を確認することができます。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	タイトル		文字	ラベルを表示する。ない場合は、ローカル名を表示する。		
2	名前空間(URI)		文字	指定された名前空間(URI)を表示する		
3	バージョン		文字	指定された基底(URI)のバージョンを表示する		
4	ラベル		文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
5	コメント		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	
6	上位プロパティ	○	文字	上位プロパティを表示する	rdfs:subPropertyOf	
7	上位クラス	○	文字	上位クラスを表示する	rdfs:subClassOf	
8	定義域	○	文字	定義域を表示する	rdfs:domain	
9	値域	○	文字	値域を表示する	rdfs:range	
10	タイプ	○	文字	タイプを表示する	rdf:type	
11	その他		文字	その他のプロパティを表示する		

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	閉じる	アクティブ				「4.3」参照 「4.6」参照		javascript
2	(各項目リンク)	アクティブ				「4.2」参照 「4.5」参照	TermAction.view (/reference/term/view/{URI})	javascript

4.処理詳細

【語彙定義登録確認の場合】

4.1 初期表示(/regist/term/view)

- ・ 遷移元の画面からフォーム設定された基底URIがnullの場合
語彙定義スキーマからURLパラメータのURIをjenaで、検索する。
(検索にヒットした場合)
該当データをjenaから取得し、画面に設定する。
画面を表示する。
(検索にヒットしない場合)
「該当データが本システムに登録されていません(XXX)」XXXはURI
画面に表示する。
- ・ 遷移元の画面からフォーム設定された基底URIが存在する場合
(URL/パラメータの基底URLと一致した場合)
 - ・ フォームに設定されているRDF/XMLから、URLパラメータのURIをjenaで、該当データを取得し、画面に設定する。
画面を表示する。
(URL/パラメータの基底URLと一致しない場合)
 - ・ 語彙定義スキーマからURL/パラメータのURIをjenaで、検索する。
(検索にヒットした場合)
該当データをjenaから取得し、画面に設定する。
画面を表示する。
(検索にヒットしない場合)
「該当データが本システムに登録されていません(XXX)」XXXはURI
画面に表示する。

4.3 リンクを押下する

- ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する(。target属性の値を、「termDetail」にする。(/regist/term/view/{URI})

4.3 閉じるを押下する

- ・ 画面を閉じる

4.処理詳細

【語彙定義参照の場合】

4.4 参照用初期表示

【初期表示(/reference/term/view)】

- ・ 語彙定義スキーマからURLパラメータのURIをjenaで、検索する。
(検索にヒットした場合)
該当データをjenaから取得し、画面に設定する。
画面を表示する。
(検索にヒットしない場合)
「該当データが本システムに登録されていません(XXX)」XXXはURI
画面に表示する。

【初期表示(過去バージョン)】

- ・ 遷移元の画面からフォーム設定された基底URIを取得。
(URLパラメータの基底URLと一致した場合)
 - ・ フォームに設定されているRDF/XMLから、URLパラメータのURIをjenaで、該当データを取得し、画面に設定する。
画面を表示する。
- ・ (URLパラメータの基底URLと一致しない場合)
 - ・ 語彙定義スキーマからURLパラメータのURIをjenaで、検索する。
(検索にヒットした場合)
該当データをjenaから取得し、画面に設定する。
画面を表示する。
(検索にヒットしない場合)
「該当データが本システムに登録されていません(XXX)」XXXはURI
画面に表示する。
- ・ リンクは、再度、初期表示(過去バージョン)を呼び出す。
- ・ プロパティ以外は、プロパティ利用一覧を利用不可とする。
- ・ 取得したデータを画面に表示する。

4.5 リンクを押下する

- ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する(。target属性の値を、「termDetail」にする。(/reference/term/view/{URI}))

4.6 閉じるを押下する

- ・ 画面を閉じる

画面説明

画面No.	画面名称
B-06	語彙定義バージョン一覧

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

語彙定義バージョン一覧

閉じる

名前空間 (URI)	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/
最新バージョン	http://ndl.go.jp/dcndl/terms?20101201
過去バージョン	http://ndl.go.jp/dcndl/terms?20091101 http://ndl.go.jp/dcndl/terms?20091001

2. 処理概要

名前空間 (URI) のバージョン一覧を表示します。
過去バージョンを選択すると、過去バージョンの
語彙定義参照画面を表示します。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	名前空間(URI)		文字	指定された名前空間(URI)を表示する		
2	最新バージョン		文字	名前空間(URI)の最新バージョンURIを表示する	語彙定義管理テーブル.語彙定義バージョンURI	
3	過去バージョン	○	文字	名前空間(URI)の過去バージョンURIを表示する	語彙定義管理テーブル.語彙定義バージョンURI	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	過去バージョン	アクティブ				「4.2」参照	(</reference/vocabulary/view History/{URI})	javascript
2	閉じる	アクティブ				「4.3」参照		javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ パラメータで渡されたURIより、語彙定義管理テーブルからデータを取得する。
取得できない場合は、パラメータエラーとして、エラー画面に遷移する。
- ・ 過去バージョンには、リンクを設定する。
- ・ 画面を表示する。

4.2 過去バージョンを押下する

- ・ D-06 語彙定義参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refVocabularyI」にする。

4.3 閉じるを押下する

- ・ 画面を閉じる

画面説明

画面No.	画面名称
B-07	登録済語彙定義一覧

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

登録済語彙定義一覧

メニューへ戻る

登録組織 ※

〇〇図書館 ▼

削除

選択	語彙定義名	コメント	URI	作成日
☐	国立国会図書館メタデータ記述語彙	DC-NDLに関するお問い合わせは～	http://ndl.go.jp/dcnl/term	2010-06-01
☐	××図書館メタデータ記述語彙		http://AAA/terms/	2010-07-01
☐	△△図書館メタデータ記述語彙		http://BBB/terms/	2010-08-01

2. 処理概要

登録済みの語彙定義を一覧で表示します。
 ログインユーザが所属する登録組織の場合は、
 語彙定義名をクリックすると、語彙定義の
 メタデータ等を編集することが可能です。
 また、選択して削除した場合、旧バージョンが
 存在する場合は、旧バージョンに置き換えます。
 旧バージョンが存在しない場合は、完全に語彙定義
 を削除します。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ	必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢	動作	DB/Jena項目	備考
1	登録組織	プルダウン	○	ログイン者の登録組織管理者、語彙定義管理テーブルない場合は、標準語彙					「4.2」参照	グループ管理テーブル.グループ名 語彙定義管理テーブル.登録組織ID	語彙定義管理テーブルにある登録組織IDの登録組織。
2	選択	チェック									語彙定義削除用

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	語彙定義名	○	文字	登録済の語彙定義名を表示します。 リンクをクリックすると、語彙定義の内容を表示します。	語彙定義メタデータ reg:label	
2	コメント		文字	登録済のコメント表示します。	語彙定義メタデータ reg:comment	
3	URI		文字	登録済の語彙定義の名前空間URIを表示します。	語彙定義管理テーブル.語彙定義URI	
4	作成日		文字	登録済の語彙定義の作成日付を表示します。	語彙定義メタデータ reg:created	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	語彙定義名	アクティブ				「4.4」参照	/reference/vocabulary/view/{URI}	javascript
2	メニューへ戻る	アクティブ				「4.5」参照	/menu	javascript
3	削除	1行もない場合、他組織の場合は、非アクティブ		Confirm	本当に削除してよろしいですか？ 旧バージョンが存在する場合は、旧バージョンに置き換えます。	「4.3」参照	VocabularyAction.doDelete	

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ グループ管理テーブルからグループ情報を取得する
- ・ 語彙定義管理テーブルを検索し、登録組織IDの一覧を取得し、グループ情報で、登録組織を表示する。
- ・ ログインユーザの登録組織がない場合、管理者の場合は、標準語彙定義を登録した組織を検索し、登録済み語彙定義の最新バージョンを取得する。
- ・ ログインユーザの登録組織がある場合、登録組織で、語彙定義管理テーブルを検索し、登録済み語彙定義の最新バージョンを取得する。
- ・ 語彙定義名にリンクを設定する。
D-06 語彙定義参照(reference)のリンクを設定
- ・ 登録組織の語彙定義一覧を表示する(vocabulary_uri の昇順)

4.2 登録組織を選択する

- ・ 登録組織プルダウンを選択した場合、選択した登録組織で、語彙定義管理テーブルを検索し、登録済み語彙定義の最新バージョンを取得する。
- ・ 語彙定義名にリンクを設定する。
D-06 語彙定義参照のリンクを設定
- ・ 登録組織の語彙定義一覧を表示する
- ・ 管理者以外の場合、他組織が選択された場合は、削除ボタンを押下不可とする。

4.3 削除を押下する(5. 更新定義(1))

- ・ チェックボックスが未選択の場合、エラーメッセージを表示する。
「登録済み語彙定義が選択されていません。」
- ・ 選択した語彙定義を削除する。1行もない場合は、押下不可。
- ・ 確認メッセージを表示する。
「本当に削除してよろしいですか？
旧バージョンが存在する場合は、旧バージョンに置き換えます。」
- ・ 「はい」を押下した場合
語彙定義スキーマから選択した登録済み語彙定義(名前空間URI)を削除する。
語彙定義メタデータスキーマから選択した登録済み語彙定義(名前空間URI)を削除する。
語彙定義管理テーブルから選択した登録済み語彙定義(名前空間URI)の最新バージョンを削除する。
語彙定義管理テーブルから選択した登録済み語彙定義(名前空間URI)の前バージョンを取得する。
取得できた場合は、RDF/XMLを取得し、語彙定義スキーマに最新として登録する。また、メタデータ部分を語彙定義メタデータスキーマに登録する。
取得できない場合は、そのまま。
- ・ 登録組織の語彙定義一覧を再描画する。

4.4 語彙定義名を押下する

- ・ 登録組織でなければ、D-06 語彙定義参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refvocabularyI」にする。

4.5 メニューへ戻る

- ・ メニューへ戻る

5.DB更新定義

(1) 削除時

(旧バージョンが存在する場合)

・語彙定義管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【削除】
1	バージョンURI(pk)	varchar	取得条件:バージョンURIでレコード取得

・語彙定義スキーマテーブル

バージョンURIでJenaで削除

語彙定義管理テーブルから、旧バージョンレコードを取得する。

旧バージョンレコードでJenaで新規登録

・語彙定義メタデータスキーマテーブル

バージョンURIでJenaで削除

語彙定義管理テーブルから、旧バージョンレコードを取得する。

旧バージョンレコードでJenaで新規登録

(旧バージョンが存在しない場合)

・語彙定義管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【削除】
1	バージョンURI(pk)	varchar	取得条件:バージョンURIでレコード取得

・語彙定義スキーマテーブル

バージョンURIでJenaで削除

・語彙定義メタデータスキーマテーブル

バージョンURIでJenaで削除

画面説明

画面No.	画面名称
C-01	記述規則ファイル登録

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

2. 処理概要

記述規則ファイル登録

メニューへ戻る

登録区分	☒ 新規登録 ☐ 更新
登録組織 ※	
記述規則URI ※	
種類	☒ タブ区切テキスト形式 ☐ RDF/XML形式 ☐ Turtle形式
ファイル名	参照
	ファイルからの取込
記述規則入力	
	テキストからの取込

【新規登録時の表示】

記述規則URI	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample
※ タブ区切テキスト形式の場合のみ、@base指定があれば記述規則URIとして@baseが優先されます。	

ログインユーザの登録組織の記述規則ファイルを登録、更新します。管理者権限の場合は、登録組織を選択し、登録することが可能です。ファイル、テキストから登録、更新可能です。タブ区切テキスト形式、RDF/XML形式、Turtle形式で登録、更新することが可能です。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ	必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢	動作	DB/Jena項目	備考
1	登録区分	ラジオ	○	新規登録				新規登録 更新	「4.6」参照		選択肢は設定ファイルより取得する
2	登録組織	プルダウン	○	ログイン者の登録組織、ない場合は、先頭						グループ管理テーブル.グループ名	管理者の場合、選択 その他はログイン組織でラベル表示
3	記述規則URI	テキスト	△			1000	タブ区切以外は必須 URLチェック			ログイン情報の基底URI	基底URIをデフォルト表示 「新規登録」時のみテキスト
4	記述規則URI	プルダウン	○							記述規則管理テーブル.記述規則URI	「更新」時のみプルダウン
5	種類	ラジオ	○	タブ区切テキスト形式				タブ区切テキスト形式 RDF/XML形式 Turtle形式			選択肢は設定ファイルより取得する
6	ファイル名	ファイル	△		文字		ファイルパス		ファイルダイアログを表示		ファイル名は256文字以上はエラーとする
7	記述規則入力	テキストエリア	△		文字						

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	登録組織		文字	管理者ユーザでない場合のみラベルで表示します。	グループ管理テーブル.グループ名	ラベル表示

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	ファイルからの取込	アクティブ				「4.3」参照	DescriptionAction.doFileUpload	
2	テキストからの取込	アクティブ				「4.4」参照	DescriptionAction.doTextUpload	
3	メニューへ戻る	アクティブ				「4.5」参照	/menu	javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示 (/index)

- ・ 各選択肢を設定する(項目説明参照)。
- ・ グループ管理テーブルから、登録組織名のリストを取得する。
- ・ ログイン情報からログインユーザに管理権限がない場合は、登録組織をラベルとし、ログインユーザの登録組織で固定。
- ・ 記述規則管理テーブルから、登録組織のレコードを取得する。(条件: 記述規則URI、登録組織ID(登録組織プルダウンで指定)、登録日時最新)
- ・ 登録区分が新規登録の場合、記述規則URIをテキスト表示し、登録組織ドメインを表示する。更新の場合は、プルダウン表示する。

4.2 参照を押下する

- ・ ファイル選択ダイアログ表示する。

4.3 ファイルからの取込を押下する (/doFileUpload)

- ・ バリデータチェックを行う。(ファイル名が未入力の場合)
新規登録で、タブ区切テキスト形式以外で、記述規則URIが未入力の場合
「タブ区切テキスト形式以外は、記述規則URIは、必須です。」
- ・ アップロードするファイルが取得できない場合は、エラーメッセージを表示する。
「指定ファイルがアップロードできません。」
- ・ アップロードするファイルのサイズが上限を超えた場合は、エラーメッセージを表示する。(設定ファイルにて1MB)
「指定ファイルのサイズが上限を超えました。」
- ・ 新規登録の場合、すでに登録されているURIである場合は、エラーメッセージを設定し、C-02 記述規則登録エラー画面に遷移する。
「すでに登録されているURIのため、登録できません。(XXX※XXXには「語彙定義」か「記述規則」かを明示する。
※語彙定義管理テーブルの語彙定義URIと、記述規則管理テーブルの記述規則URIで同一のものがあれば、エラーとする。
(URIの語尾が/、#, は、同一のものと判断する)
- ・ 更新の場合、記述規則プルダウンが未設定の場合、エラーメッセージを表示する。
「登録組織で登録した記述規則が存在しません。
登録区分を「新規作成」にして、記述規則登録を行ってください。」
- ・ 文字コードがUTF-8以外の場合は、確認メッセージを表示する。
「ファイルの文字コードがUTF-8ではありません。文字コードを自動判定して取り込みを実行しました。
変換エラー、文字化けが発生した場合は、記述規則入力エリアにファイルの内容を貼り付けて、再度、取り込みを実施して下さい。」
エラーの場合は、C-02 記述規則登録エラー画面に表示する。
エラーがなければ、C-03 記述規則編集画面に表示する。
- ・ タブ区切テキスト形式の場合
簡易DSPファイル記述の入力チェックを行い、エラーがある場合(エラー行数とエラー内容)は、エラーメッセージを設定し、C-02 記述規則登録エラー画面に遷移する。
簡易DSPファイル記述からOWLファイルに変換し、jenaで読み込む。
※簡易DSP記述方法に基づいて、変換する
- ・ Jenaの読み込みでエラーが発生した場合は、jenaのエラーメッセージを設定し、C-02 記述規則登録エラー画面に遷移する。
- ・ 読み込んだデータのメタデータ、記述規則が全でない場合、エラーメッセージを表示する。
「入力されたデータから記述規則情報が取得できません。記述規則URIと入力されたデータを再確認してください。」
- ・ エラーがなければ、C-03 記述規則編集画面に遷移する。

4. 処理詳細

4.4 テキストからの取込を押下する(/doTextUpload)

- バリデータチェックを行う。(テキストが未入力の場合)
新規登録で、タブ区切テキスト形式以外で、記述規則URIが未入力の場合
「タブ区切テキスト以外は、記述規則URIは、必須です。」
- 新規登録の場合、すでに登録されているURIである場合は、エラーメッセージを設定し、C-02 記述規則登録エラー画面に遷移する。
「すでに登録されているURIのため、登録できません。(XXX※XXXには「語彙定義」か「記述規則」かを明示する。
※語彙定義管理テーブルの語彙定義URIと、記述規則管理テーブルの記述規則URIで同一のものがあれば、エラーとする。
(URIの語尾が/.#.は、同一のものと判断する)
- 更新の場合、記述規則プルダウンが未設定の場合、エラーメッセージを表示する。
「登録組織で登録した記述規則が存在しません。
登録区分を「新規作成」にして、記述規則登録を行ってください。」
- タブ区切テキスト形式の場合
簡易DSPファイル記述の入力チェックを行い、エラーがある場合(エラー行数とエラー内容)は、エラーメッセージを設定し、C-02 記述規則登録エラー画面に遷移する。
簡易DSPファイル記述からOWLファイルに変換し、jenaで読み込む
※簡易DSP記述方法に基づいて、変換する
- 読み込んだデータのメタデータ、記述規則が全てない場合、エラーメッセージを表示する。
「入力されたデータから記述規則情報が取得できません。
記述規則URIと入力されたデータ内の基底URIが同じかどうかを再確認してください。」
- 読み込んだデータにreg:primaryDescriptionが指定がされていないか、<#MAIN>が存在していない場合は、エラーメッセージを表示。
「入力されたデータから処理の開始位置が判断できません。
reg:primaryDescriptionが指定がされているか、<#MAIN>が存在しているかを確認してください。」
- Jenaの読み込みでエラーが発生した場合は、jenaのエラーメッセージを設定し、C-02 記述規則登録エラー画面に遷移する。
- エラーがなければ、C-03 記述規則編集画面に遷移する。

4.5 メニューへ戻るを押下する

- A-02 メニューへ戻る。

4.6 登録区分を選択する

- 登録区分が新規登録の場合、記述規則URIをテキスト表示し、更新の場合は、プルダウン表示する。

4. 処理詳細

4.7 入力チェック

【タブ区切テキスト形式】

[@NS]

#接頭辞	名前空間URI
dcndl	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/
ndlsh	http://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/
bsh	http://id.ndl.go.jp/auth/bsh/
ndlbooks	http://iss.ndl.go.jp/books/
@base	http://ndl.go.jp/dcndl/dsp/biblio

[MAIN]

#項目規則名	プロパティ	最小回数	最大回数	値タイプ	値制約	説明
書誌ID	foaf:Document	1	1	ID	ndlbiblio:	文書のID
タイトル	dcterms:title	1	1	構造化	#構造化タイトル	文書の表題
著者	dcterms:creator	0	1	構造化	foaf:Agent	文書の作者
発行日	dcterms:issued	1	1	文字列	dcterms:W3CDTF	文書の発行日
主題	dcterms:subject	0	-	参照値	ndlsh: bsh:	文書の主題

[構造化タイトル]

#項目規則名	プロパティ	最小回数	最大回数	値タイプ	値制約	説明
リテラル値	xl:literalForm	1	1	文字列		タイトル自身

- ・ ファイルを読み込む
- ・ 空白行、#行(コメント行)は読み飛ばす。
- ・ [@NS][MAIN]の記述がない場合は、項目規則名(MAIN)の部分として読み込む。
- ・ 接頭辞ヘッダ項目[@NS]を読み込む
 - ・ 接頭辞ヘッダ項目が見つからない場合は、項目規則名を読み込むへ
 - ・ 接頭辞項目が正しいかどうかをチェックする。正しくない場合は、エラー用データに設定。
 - ・ 接頭辞、名前空間を読み込む(項目規則名がになるまで読み込み)
 - エラーでなければ、@prefixに変換、新規の場合、@baseがあれば、baseを基底URIとする。(ただし、更新の場合は、異なる場合はエラーとする。)
 - 記述規則URIが設定されていない場合で、@baseが指定されていない場合は、エラーとする。
 - 「@baseが指定されていません。記述規則URIを画面で指定してください。」
 - エラーの場合は、エラー用データに設定。
- ・ @prefixに設定されていない標準語彙を設定する
 - 以下も追加する。
 - dsp:http://purl.org/metainfo/terms/dsp
 - reg:http://purl.org/metainfo/terms/registry#

4.処理詳細

- 項目規則名ヘッダ[MAIN]を読み込む
 - 項目規則名ヘッダが見つからない場合は、エラー用データに設定。
 - 項目規則名が正しいかどうかをチェックする。正しくない場合は、エラー用データに設定。
 - 項目規則名 プロパティ/クラス 最小出現回数 最大出現回数 値タイプ 値制約 説明を読み込む(項目が無くなるまで読み込み)
 - IDが2件以上ある場合は、エラー
 - IDがMAIN以外にある場合は、エラー
 - IDの項目は、必須
 - ID項目のプロパティは、空白以外で、接頭辞がなくURIでない場合は、エラー(未登録クラスは指定できない)
 - 項目規則名、プロパティ(ID項目は除く)は、必須
 - 値タイプが構造化の場合は必須
 - 出現回数の相関チェック
 - 同一プロパティが重複している場合はエラー
 - 同一ラベルが重複している場合はエラー
- エラーでなければ、
 - owlに変換する(変換方法は、簡易DSPを参照)
 - 接頭辞がないプロパティは、独自プロパティとして、独自用基底URIを設定する。
 - エラーの場合は、エラー用データに設定。
- 作成したowlをjenaで読み込む
 - 項目規則名(label)でIDを作成
 - 項目規則名(label)は、NCNameでない場合、-は、エンコード。また、スペースは、_に変換する。
 - prefixで設定されていない接頭辞を利用していた場合は、jenaのエラー
 - 内部的にreg:primaryDescription付与
 - 独自プロパティは、プロパティチェックは行わない
 - プロパティチェック
 - プロパティの値域がリテラル ⇒ 値制約がリテラルでない場合はエラー
 - プロパティの値域がクラス ⇒ 値制約がクラスでない場合はエラー
 - プロパティのowl:DatatypeProperty ⇒ 値制約がリテラルでない場合はエラー
 - プロパティのowl:ObjectProperty ⇒ 値制約がクラスでない場合はエラー
 - 出現回数相関チェック
 - 最小と最大が入力値チェック
 - ID 型項目規則がある場合、dsp:valueURIOccurrence プロパティ値を”mandatory”とする。

【RDF/XML形式、Turtle形式】

- ファイルを読み込む
- jenaで読み込む
 - 項目規則名(label)でIDを作成
 - 項目規則名(label)は、NCNameでない場合、-は、エンコード。また、スペースは、_に変換する。
 - prefixで設定されていない接頭辞を利用していた場合は、jenaのエラー
 - reg:primaryDescriptionがない場合で、MAINがある場合は、内部的にreg:primaryDescription付与
 - 独自プロパティは、プロパティチェックは行わない
 - プロパティチェック
 - プロパティの値域がリテラル ⇒ 値制約がリテラルでない場合はエラー
 - プロパティの値域がクラス ⇒ 値制約がクラスでない場合はエラー
 - プロパティのowl:DatatypeProperty ⇒ 値制約がリテラルでない場合はエラー
 - プロパティのowl:ObjectProperty ⇒ 値制約がクラスでない場合はエラー
 - 出現回数相関チェック
 - 最小と最大が入力値チェック

画面説明

画面No.	画面名称
C-02	記述規則登録エラー

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

2. 処理概要

記述規則登録エラー



エラー内容

FatalError: Open quote is expected for attribute "xmlns:dc" associated with an element type "rdf:RDF".[Line = 3, Column = 12]

【例：CSV形式】

2行目：ラベルは必須入力です。
 2行目：プロパティは必須入力です。
 3行目：プロパティXXXの値制約がクラスではありません。
 4行目：プロパティXXXの値制約がリテラルではありません。

【例：RDF形式】

FatalError: Open quote is expected for attribute "xmlns:dc" associated with an element type "rdf:RDF".[Line = 3, Column = 12]

記述規則ファイル登録でアップロードされたデータで、エラーが発生した場合にエラーメッセージを表示します。
 エラーがある場合は、再度、アップロードを記述規則ファイル登録画面で行います。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	エラー内容			記述規則登録で設定されたエラー内容を表示		入力不可

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	戻る	アクティブ				「4.2」参照	DescriptionAction.doBackUpload	javascript

4.処理詳細

4.1 初期表示 (/error)

- ・ C-01 記述規則ファイル登録で設定されたフォーム内容を画面表示する

4.2 戻るを押下する

- ・ 記述規則ファイル登録画面の各項目を再設定する。(入力されていた内容を再表示)
- ・ C-01 記述規則ファイル登録画面に遷移する。

画面説明

画面No.	画面名称
C-03	記述規則編集

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1.レイアウト

【C-01 記述規則ファイル登録画面の新規登録の場合】

記述規則編集

RDF/XML出力	Turtle出力	TopicMaps出力	登録	戻る
メタデータRDF生成(GSV)	メタデータ変換(DC)			
名前空間 (URI)	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample			
バージョン	☒ バージョンを変更する ☐ バージョンを変更しない 過去のバージョン			
バージョン情報	初版 ※バージョン変更時に編集可			
タイトル ※	〇〇図書館スキーマ			
コメント	文書の記述に用いる。			
作成者	国立国会図書館			
作成日	2010-06-01			
参照設定	参照設定			

未登録語彙登録

ラベル	プロパティ/クラス	値域	記述内容	出現回数制		値制約
書誌ID	foaf:Document		文書のID	1	1	ndbooks:
タイトル	dc:title	rdfs:Literal	作品のタイトル	0	—	rdfs:Literal
作者	foaf:creator	dcterms:Agent	作品の作者	1	1	#Agent

記述規則(構造化)項目

ID	タイトル	コメント
#Agent	著者情報	著者情報(子レコード記述規則を表示)

2.処理概要

メタデータ基盤システムで利用する記述規則を登録、更新します。
記述規則のRDF/XML形式、Turtle形式、TopicMaps形式の出力を行うことができます。
また、現在の表示内容の記述規則でCSV形式で作成されたメタデータインスタンスの確認、RDF生成、メタデータ変換(DC)を行うことができます。

【C-12 記述規則一覧画面の「新規記述規則作成」、「流用して記述規則作成」の場合】

記述規則編集

RDF/XML出力	Turtle出力	TopicMaps出力	登録	戻る
メタデータRDF生成(CSV)		メタデータ変換(DC)		
名前空間 (URI)	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample			
バージョン	☒ バージョンを変更する ☐ バージョンを変更しない 過去のバージョン			
バージョン情報	初版 ※バージョン変更時に編集可			
タイトル ※	〇〇図書館スキーマ			
コメント	文書の記述に用いる。			
作成者	国立国会図書館			
作成日	2010-06-01			
参照設定	参照設定			

記述制約ID追加		記述制約追加		既存記述制約コピー		未登録語彙登録		項目削除	
選択	ラベル	プロパティ／クラス	値域	記述内容	出現回数制		値制約	移動	
	(レコードIDなし)								
☐	タイトル	dc:title	rdfs:Literal	作品のタイトル	0	—	rdfs:Literal	 	
☐	作者	未:creator	dcterms:Agent	作品の作者	1	1	#Agent	 	

記述規則(構造化)項目

構造化項目追加		構造化項目削除	
選択	ID	タイトル	コメント
☐	#Agent	著者情報	著者情報(子レコード記述規則を表示)

C-01 記述規則ファイル登録画面の更新の場合

記述規則編集

RDF/XML出力	Turtle出力	TopicMaps出力	更新	戻る
メタデータRDF生成(CSV)		メタデータ変換(DC)		
名前空間 (URI)	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample			
バージョン	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample?20101011			
	☒ バージョンを変更する ☐ バージョンを変更しない 過去のバージョン			
バージョン情報	1.1版 ※バージョン変更時に編集可			
タイトル ※	〇〇図書館スキーマ			
コメント	文書の記述に用いる。			
作成者	国立国会図書館			
作成日	2010-06-01			
参照設定	参照設定			

未登録語彙登録

ラベル	プロパティ/クラス	値域	記述内容	出現回数制		値制約
書誌ID	foaf:Document		文書のID	1	1	ndlbooks:
タイトル	dc:title	rdfs:Literal	作品のタイトル	0	—	rdfs:Literal
作者	未:creator	dcterms:Agent	作品の作者	1	1	#Agent

記述規則(構造化)項目

ID	タイトル	コメント
#Agent	著者情報	著者情報(子レコード記述規則を表示)

【C-12 記述規則一覧画面の記述規則リンクの場合(オリジナルファイルがない場合)】

記述規則編集

RDF/XML出力	Turtle出力	TopicMaps出力	更新	戻る
メタデータRDF生成(CSV)		メタデータ変換(DC)		
名前空間 (URI)	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample			
バージョン	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample?20101011			
	☒ バージョンを変更する ☐ バージョンを変更しない 過去のバージョン			
バージョン情報	1.1版 ※バージョン変更時に編集可			
タイトル ※	〇〇図書館スキーマ			
コメント	文書の記述に用いる。			
作成者	国立国会図書館			
作成日	2010-06-01			
参照設定	参照設定			

記述制約ID追加		記述制約追加		既存記述制約コピー		未登録語彙登録		項目削除	
選択	ラベル	プロパティ/クラス	値域	記述内容	出現回数制		値制約	移動	
	書誌ID	foaf:Document		文書のID	1	1	ndlbooks:		
☐	タイトル	dc:title	rdfs:Literal	作品のタイトル	0	—	rdfs:Literal		
☐	作者	未:creator	dcterms:Agent	作品の作者	1	1	#Agent		

記述規則(構造化)項目

構造化項目追加			構造化項目削除	
選択	ID	タイトル	コメント	
☐	#Agent	著者情報	著者情報(子レコード記述規則を表示)	

【C-12 記述規則一覧画面の記述規則リンクの場合(オリジナルファイルがある場合)】

D-02 記述規則参照画面に遷移

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	バージョン(変更)	ラジオ		バージョンを 変更する				バージョンを 変更する／ バージョンを 変更しない	「4.2」参照		
2	バージョン情報	テキスト			文字					reg:version	バージョン情報を変更 しないにした場合は利用不可 更新の場合、存在しない場合は、記述規則メ タデータスキーマか ら、マージする
3	タイトル	テキスト	○		文字					rdfs:label dc:title dcterms:title ⇒reg:label	更新の場合、存在しない場合は、記述規則メ タデータスキーマか ら、マージする
4	コメント	テキスト			文字					rdfs:comment ⇒reg:comment	更新の場合、存在しない場合は、記述規則メ タデータスキーマか ら、マージする
記述規則											
5	選択	チェック									記述規則ファイル登録 の場合は、非表示 IDの場合は、選択 チェックボックスを表示 しない。
記述規則(構造化)											
6	選択	チェック									記述規則ファイル登録 の場合は、非表示

3.項目説明

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	名前空間(URI)		文字	記述規則のベースURI	名前空間URI	
2	バージョン		文字	記述規則のベースURIのバージョン	新規登録の場合は空 更新の場合は、記述規則バージョンURI	記述規則URIに?20101011で日付管理
3	作成者		文字	記述規則の作成者	reg:creator 存在しない場合は、登録組織名	更新の場合、存在しない場合は、 記述規則メタデータスキーマから、 マージする
4	作成日		文字	記述規則の作成日	reg:created 存在しない場合は、システム日付	更新の場合、存在しない場合は、 記述規則メタデータスキーマから、 マージする
5	その他		文字	特定以外のメタデータ記述	その他の記述	
記述規則						
6	ラベル(ID)	△	文字	reg:idFieldを表示する reg:idFieldない場合は、(レコードIDなし)を表示し、リンクにしない。	reg:idField	タイプがIDの場合のみ
7	プロパティ/クラス(ID)	○	文字	IDのクラスを表示する	dsp:resourceClass	タイプがIDの場合のみ
8	値域(ID)		文字	空白		
9	記述内容(ID)		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	タイプがIDの場合のみ
10	出現回数制約(最小)(ID)		文字	1を表示する IDがない場合は、空		タイプがIDの場合のみ
11	出現回数制約(最大)(ID)		文字	1を表示する IDがない場合は、空		タイプがIDの場合のみ
12	値制約(ID)		文字	名前空間を表示する	reg:resourceNsURI	タイプがIDの場合のみ
13	ラベル	○	文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
14	プロパティ/クラス	○	文字	プロパティを語彙登録されている接頭辞付で表示する 未登録プロパティの場合、接頭辞を「未」として表示する	owl:onProperty	未登録プロパティの場合は、リンクにしない
15	値域	○	文字	プロパティの値域を表示する	rdfs:range	
16	記述内容		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	

3.項目説明

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
記述規則						
17	出現回数制約(最小)		文字	出現回数の最小値を設定	owl:minQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality dsp:cardinalityNote	①dsp:cardinalityNoteの場合、「あれば必須」、「推奨」のリテラルを表示 以下よりも優先で表示。 ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:minQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
18	出現回数制約(最大)		文字	出現回数の最大値を設定	owl:maxQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality	①dsp:cardinalityNoteの場合表示なし ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:maxQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
19	値制約	○		リテラル値、実体値の内容を表示する。	値制約がリテラル値の場合は、 owl:onDataRange 実体値の場合は、owl:onClass	
記述規則構造化						
20	ID	○	文字	プロパティのラベルを表示する	dsp:descriptionTemplate	
21	タイトル		文字	構造化のタイトルを表示する	rdfs:label	
22	コメント		文字	構造化のコメントを表示する	rdfs:comment	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	RDF/XML出力	アクティブ				「4.22」参照	DescriptionAction.doDownloadRdfXml	入力チェックを行い、画面表示
2	Trurtle出力	アクティブ				「4.21」参照	DescriptionAction.doDownloadTrurtle	入力チェックを行い、画面表示
3	TopicMaps出力	アクティブ				「4.20」参照	DescriptionAction.doDownloadTopicMaps	入力チェックを行い、画面表示
4	メタデータRDF生成(CSV)	アクティブ				「4.18」参照	DescriptionAction.doMakeMeta	入力チェックを行い、画面表示
5	メタデータ変換(DC)	アクティブ				「4.19」参照	DescriptionAction.doChangeMetaDc	入力チェックを行い、画面表示
6	過去バージョン	新規登録時は非アクティブ				「4.3」参照	/reference/description/version/{URI}	javascript
7	参照設定	アクティブ				「4.4」参照	DescriptionAction.reference	javascript

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
記述規則								
8	記述制約ID追加	すでに登録されている場合は、非アクティブ	記述規則ファイル登録の場合は、非表示			「4.5」参照	DescriptionAction.addId	javascript
9	記述制約追加	アクティブ	記述規則ファイル登録の場合は、非表示			「4.6」参照	DescriptionAction.add	javascript
10	既存記述制約コピー	アクティブ	記述規則ファイル登録の場合は、非表示			「4.7」参照	DescriptionAction.copyStatement	javascript
11	未登録語彙登録	アクティブでない場合は、非アクティブ	設定時に、未登録語彙がある場合は、文字を赤にする。			「4.8」参照	DescriptionAction.registTerm	javascript
12	項目削除	1行もない場合は、非アクティブ	記述規則ファイル登録の場合は、非表示			「4.9」参照	DescriptionAction.delete	javascript
13	ラベル	アクティブ				「4.11」参照	記述制約IDの場合 DescriptionAction.editId (/editId/{URI(MAIN)}) それ以外 DescriptionAction.edit (/edit/{URI})	javascript
14	プロパティ/クラス	未登録プロパティ時は非アクティブ				「4.12」参照	(/reference/term/view/{URI})	
15	値域	未登録プロパティ時は非アクティブ				「4.13」参照	(/reference/term/view/{URI})	
16	値制約	アクティブ				「4.14」参照	(/reference/term/view/{URI}) 記述規則(構造化)の場合 DescriptionAction.editStructure (/editStructure/{URI})	

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
記述規則構造化								
17	移動(上)	最上位の場合は、非アクティブ	記述規則ファイル登録の場合は、非表示			「4.10」参照		タイプがIDの場合、表示しない javascript
18	移動(下)	最下位の場合は、非アクティブ	記述規則ファイル登録の場合は、非表示			「4.10」参照		タイプがIDの場合、表示しない javascript
19	構造化項目追加	アクティブ	記述規則ファイル登録の場合は、非表示			「4.15」参照	DescriptionAction.addStructure	javascript
20	構造化項目削除	1行もない場合は、非アクティブ	記述規則ファイル登録の場合は、非表示			「4.16」参照	DescriptionAction.deleteStructure	javascript
21	ID	アクティブ				「4.17」参照	DescriptionAction.editStructure (/editStructure/{URI})	javascript
22	登録	更新時は表示しない				「4.23」参照	DescriptionAction.doRegist	
23	更新	新規登録時は表示しない				「4.24」参照	DescriptionAction.doUpdate	
24	戻る	アクティブ				「4.25」参照	DescriptionAction.doBackUpload	javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示

【C-01 記述規則ファイル登録画面の新規登録の場合】

- ・ アップロードしたデータをjenaで読み込む。
- ・ バージョン(変更)の「バージョンを変更する」、「バージョンを変更しない」は利用不可とする。
- ・ 登録ボタンを表示する。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
reg:titleは、なければrdfs:label、dc:title、dcterms:titleからマージする。
reg:commentは、なければrdfs:commentからマージする。
作成者は、管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織、それ以外はログイン者の登録組織を表示する。作成日は、なければ、システム日付を表示する。
- ・ jenaから参照設定(名前空間)情報を取得する。
- ・ jenaから記述規則情報を取得する。
DCマッピングには、プロパティがシンプルDCに関連があれば、該当するプロパティを設定する(内部的にもつ)
該当しない場合は、リテラルの場合は、dc:description リソースの場合は、dc:relationを設定する
2つ見つかった場合は、階層が浅いほうをDCマッピングとする。
- ・ jenaから記述規則(構造化)情報を取得する。
- ・ 記述規則ファイル登録の場合、メタデータおよび未登録語彙登録のみ利用可能。
参照設定に以下を追加する(同一接頭辞がある場合は追加しない)
dsp:http://purl.org/metainfo/terms/dsp
reg:http://purl.org/metainfo/terms/registry#
- ・ 画面を表示する

【C-12 記述規則一覧画面の「新規記述規則作成」、「流用して記述規則作成」の場合】

- ・ バージョン(変更)の「バージョンを変更する」、「バージョンを変更しない」は利用不可とする。
- ・ 登録ボタンを表示する。
- ・ 「新規記述規則作成」の場合は、新規モデルをjenaに設定する。
- ・ 「流用して記述規則作成」の場合は、流用したモデルをjenaに設定する。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
作成者は、管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織、それ以外はログイン者の登録組織を表示する。作成日は、システム日付を表示する。
- ・ jenaから参照設定(名前空間)情報を取得する。
- ・ jenaから記述規則情報を取得する。
DCマッピングには、プロパティがシンプルDCに関連があれば、該当するプロパティを設定する(内部的にもつ)
該当しない場合は、リテラルの場合は、dc:description リソースの場合は、dc:relationを設定する
2つ見つかった場合は、階層が浅いほうをDCマッピングとする。
- ・ jenaから記述規則(構造化)情報を取得する。
参照設定に以下を追加する(同一接頭辞がある場合は追加しない)
dsp:http://purl.org/metainfo/terms/dsp
reg:http://purl.org/metainfo/terms/registry#
- ・ 画面を表示する

【C-01 記述規則ファイル登録画面の更新の場合】

- ・ アップロードしたデータをjenaで読み込む。
- ・ バージョン(変更)の「バージョンを変更する」、「バージョンを変更しない」は利用可とする。
- ・ 更新ボタンを表示する。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
reg:titleは、なければrdfs:label、dc:title、dcterms:titleからマージする。
reg:commentは、なければrdfs:commentからマージする。
ファイルからマージ後、reg:titleがなければ、記述規則メタデータスキーマからreg:titleを取得する。
ファイルからマージ後、reg:commentがなければ、記述規則メタデータスキーマからreg:commentを取得する。なければrdfs:commentからマージする。
作成者は、管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織、それ以外はログイン者の登録組織を表示する。作成日は、なければ、システム日付を表示する。
- ・ jenaから参照設定(名前空間)情報を取得する。
- ・ jenaから記述規則情報を取得する。
記述規約管理テーブルから、記述規則バージョンURIをキーにレコードをすべて取得する
DCマッピングには、プロパティがシンプルDCに関連があれば、該当するプロパティを設定する(内部的にもつ)
該当しない場合は、リテラルの場合は、dc:description リソースの場合は、dc:relationを設定する
2つ見つかった場合は、階層が浅いほうをDCマッピングとする。
関連記述規則バージョンURI、関連記述制約URIも記述規則情報に設定する
- ・ jenaから記述規則(構造化)情報を取得する。
- ・ 記述規則ファイル登録の場合、メタデータおよび未登録語彙登録のみ利用可能。
参照設定に以下を追加する(同一接頭辞がある場合は追加しない)
dsp:http://purl.org/metainfo/terms/dsp
reg:http://purl.org/metainfo/terms/registry#
- ・ 画面を表示する

【C-12 記述規則一覧画面の記述規則リンクの場合】(オリジナルファイルがない場合のみ)

- ・ バージョン(変更)の「バージョンを変更する」、「バージョンを変更しない」は利用可とする。
- ・ オリジナル出力ボタンは、利用不可とする。
- ・ 更新ボタンを表示する。
- ・ 記述規則管理テーブルから、RDF/XMLファイルを取得し、jenaで読み込む。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
※(更新時に変更する。作成者は、管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織、それ以外はログイン者の登録組織を設定する。作成日は、システム日付を設定する。)
- ・ jenaから参照設定(名前空間)情報を取得する。
- ・ jenaから記述規則情報を取得する。
記述規約管理テーブルから、記述規則バージョンURIをキーにレコードをすべて取得する
DCマッピングには、プロパティがシンプルDCに関連があれば、該当するプロパティを設定する(内部的にもつ)
関連記述規則バージョンURI、関連記述制約URIも記述規則情報に設定する
- ・ jenaから記述規則(構造化)情報を取得する。
参照設定に以下を追加する(同一接頭辞がある場合は追加しない)
dsp:http://purl.org/metainfo/terms/dsp
reg:http://purl.org/metainfo/terms/registry#
- ・ 画面を表示する

4.処理詳細

4.2 バージョンラジオボタンを選択する

- ・ 「バージョンを変更しない」を選択した場合、バージョン情報は入力不可にする
- ・ 「バージョンを変更する」を選択した場合、バージョン情報は入力可にする

4.3 過去のバージョンを押下する

- ・ C-08 記述規則バージョン一覧画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「desVersion」にする。

4.4 参照設定を押下する

- ・ C-07 参照設定画面をモーダルダイアログで表示する。

4.5 記述制約ID追加を押下する

- ・ C-04 記述制約追加編集画面(記述制約IDモード)をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、記述制約IDを一番上に追加。記述制約IDボタンを利用不可にする。

4.6 記述制約追加を押下する

- ・ C-04 記述制約追加編集画面(新規モード)をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、新たな記述制約を一番下に追加(移動ボタンで変更可能)

4.7 既存記述制約コピーを押下する

- ・ C-05 記述制約検索画面をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、検索画面で選択した既存の記述制約を一番下に追加(移動ボタンで変更可能)

4.8 未登録語彙登録を押下する

- ・ C-09 未登録語彙登録画面をモーダルダイアログで表示する。
※未登録プロパティが追加された場合のみ利用可

4.9 項目削除を押下する

- ・ チェックボックスが未選択の場合、エラーメッセージを表示する。
「記述制約が選択されていません。」
- ・ 選択した記述制約を削除する。1行もない場合は、押下不可。

4.10 移動を押下する

- ・ javascriptで、記述制約の表示順の入替を行う。

4.11 ラベルを押下する

【記述制約IDの場合】

【C-01 記述規則ファイル登録画面の新規登録、更新の場合】

- ・ D-04 記述制約参照画面(記述制約IDモード)をモーダルダイアログで表示する。

【C-12 記述規則一覧画面の「新規記述規則作成」、「流用して記述規則作成」の場合】

【C-12 記述規則一覧画面の記述規則リンクの場合】(オリジナルファイルがない場合のみ)

- ・ C-04 記述制約追加編集画面(記述制約IDモード)をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、最上部に表示する。

【それ以外】

【C-01 記述規則ファイル登録画面の新規登録、更新の場合】

- ・ D-04 記述制約参照画面をモーダルダイアログで表示する。

【C-12 記述規則一覧画面の「新規記述規則作成」、「流用して記述規則作成」の場合】

【C-12 記述規則一覧画面の記述規則リンクの場合】(オリジナルファイルがない場合のみ)

- ・ C-04 記述制約追加編集画面(編集モード)をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、編集結果を反映

4.処理詳細

4.12 プロパティを押下する

- ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.13 値域を押下する

- ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.14 値制約を押下する

- ・ 記述制約(構造化)エンティティの場合
 - 【C-01 記述規則ファイル登録画面の新規登録、更新の場合】
 - ・ D-03 記述規則(構造化)参照画面をモーダルダイアログで表示する。
 - 【C-12 記述規則一覧画面の「新規記述規則作成」、「流用して記述規則作成」の場合】
 - 【C-12 記述規則一覧画面の記述規則リンクの場合】(オリジナルファイルがない場合のみ)
 - ・ C-06 記述規則(構造化)追加編集画面(編集モード)をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、記述規則(構造化)に反映
- ・ クラスプロパティの場合
 - B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.15 構造化項目追加を押下する

- ・ C-06 記述規則(構造化)追加編集画面(新規モード)をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、新たな記述規則(構造化)を追加

4.16 構造化項目削除を押下する

- ・ チェックボックスが未選択の場合、エラーメッセージを表示する。
「記述規則(構造化)が選択されていません。」
- ・ 選択した記述規則を(構造化)を削除する。1行もない場合は、押下不可。
- ・ 削除する記述制約(構造化)が、記述制約の値制約に利用されていた場合は、エラーメッセージを表示する。
「記述規則(構造化)が値制約に設定されているため削除できません。記述制約追加編集で編集後、削除してください。(XXX)」 XXX:#MAIN-タイトル

4.17 IDを押下する

- 【C-01 記述規則ファイル登録画面の新規登録、更新の場合】
 - ・ D-03 記述規則(構造化)参照画面をモーダルダイアログで表示する。
- 【C-12 記述規則一覧画面の「新規記述規則作成」、「流用して記述規則作成」の場合】
- 【C-12 記述規則一覧画面の記述規則リンクの場合】(オリジナルファイルがない場合のみ)
 - ・ C-06 記述規則(構造化)追加編集画面(編集モード)をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、記述規則(構造化)に反映

4.18 メタデータRDF生成(CSV)を押下する

- ・ 4.26の入力チェックを行う。エラーがなければ以下、処理を行う。
- ・ E-03 メタデータRDF生成(CSV)画面をモーダルダイアログで表示する。
※入力CSVからメタデータインスタンスを生成

4.19 メタデータ変換(DC)を押下する

- ・ 4.26の入力チェックを行う。エラーがなければ以下、処理を行う。
- ・ F-03 メタデータ変換(DC)画面をモーダルダイアログで表示する。
※指定形式の入力メタデータインスタンスを指定形式の出力メタデータインスタンス(DC)に変換します。

4.20 TopicMaps出力を押下する

- ・ 4.26の入力チェックを行う。エラーがなければ以下、処理を行う。
- ・ 画面情報をjenaに設定し、記述規則をTopicMapsで出力する

4.処理詳細

4.21 Turtle出力を押下する

- ・ 4.26の入力チェックを行う。エラーがなければ以下、処理を行う。
- ・ 画面情報をjenaに設定し、記述規則をTopicMapsで出力する

4.22 XML/RDF出力を押下する

- ・ 4.26の入力チェックを行う。エラーがなければ以下、処理を行う。
- ・ 画面情報をjenaに設定し、記述規則をRDFで出力する

4.23 登録を押下する

- ・ 登録しているバージョン日付と同一日に、「バージョンを変更する」で更新した場合、確認メッセージを表示する。
「前回、登録した日と同じです。同一バージョンに上書きされます。」
「いいえ」の場合は、画面に戻る。
- ・ 4.26の入力チェックを行う。エラーがなければ以下、処理を行う。
- ・ RDF/XMLを作成する。
- ・ **XMLスキーマを作成する。(4.27)** 3rd対応
- ・ 登録処理を行う。(5. 更新定義(1))
- ・ jenaでRDF登録処理を行う。
記述規則スキーマにRDFを登録する。
記述規則メタデータスキーマにRDFを登録する。
- ・ 記述規則管理テーブルに登録する。
C-01 記述規則ファイル登録画面の場合
ファイル種別、オリジナルファイル名、オリジナルファイル、ファイルアップロード日時を登録する
RDF/XML、**XMLスキーマ**を登録する。
- ・ 記述制約管理テーブルに登録する。
DCマッピング、関連記述規則バージョンURI、関連記述制約URIを登録する。
- ・ C-10 記述規則編集完了画面へ遷移する

4.24 更新を押下する

- ・ 登録しているバージョン日付と同一日に、「バージョンを変更する」で更新した場合、確認メッセージを表示する。
「前回、登録した日と同じです。同一バージョンに上書きされます。」
「いいえ」の場合は、画面に戻る。
- ・ 4.26の入力チェックを行う。エラーがなければ以下、処理を行う。
- ・ RDF/XMLを作成する。
- ・ **XMLスキーマを作成する。(4.27)** 3rd対応
- ・ 更新処理を行う。(5. 更新定義(1))
- ・ jenaでRDF登録処理を行う。
記述規則スキーマにRDFを登録する。
記述規則メタデータスキーマにRDFを登録する。
(バージョンを変更する場合)
- ・ 記述規則管理テーブルに新規登録する。
C-01 記述規則ファイル登録画面の場合
ファイル種別、オリジナルファイル名、オリジナルファイル、ファイルアップロード日時を登録する
RDF/XML、**XMLスキーマ**を登録する。
- ・ 記述制約管理テーブルに新規登録する。
DCマッピング、関連記述規則バージョンURI、関連記述制約URIを登録する。

4.処理詳細

(バージョンを変更しない場合)

- ・ 記述規則管理テーブルを更新する。
C-01 記述規則ファイル登録画面の場合
ファイル種別、オリジナルファイル名、オリジナルファイル、ファイルアップロード日時を更新する
記述規則更新日時はnullで更新する
RDF/XML、XMLスキーマを登録する。
- ・ 記述制約管理テーブルを更新する。
DCマッピング、関連記述規則バージョンURI、関連記述制約URIを更新する。
(すべて削除してから、登録する)
- ・ C-10 記述規則編集完了画面へ遷移する

4.25 戻るを押下する

【C-01 記述規則ファイル登録画面から遷移してきた場合】

- ・ C-01 記述規則ファイル登録画面へ戻る

【C-12 記述規則一覧画面から遷移してきた場合】

- ・ C-12 記述規則一覧画面へ戻る

4.26 入力チェックを行う

- ・ バリデータチェックを行う。エラーがある場合は、エラーメッセージを表示する。
 - ・ 「記述制約」が設定されていない場合、エラーメッセージを表示する
「記述制約が設定されていません。記述制約追加で設定してください。」
- ・ 同一プロパティが重複している場合、エラーメッセージを表示する
「同一プロパティが既に指定されています。」
- ・ 同一ラベルが重複している場合、エラーメッセージを表示する
「同一ラベル名が指定されています。ラベル名はキーとなるため、同一ラベル名は指定できません。」
- ・ 未登録語彙が存在する場合、エラーメッセージを表示し、未登録語彙登録ボタンのラベルを赤くする。
「未登録語彙が存在します。未登録語彙登録で登録してから、処理を実行してください。」
- ・ 排他制御チェック
記述制約管理テーブルの基底URIのレコードの更新日付が変更されていた場合は、排他エラーとする。
「他のユーザにより、すでに更新されています。」

4.27 XMLスキーマ変換を行う

3rd案件

- ・ 記述規則をXMLスキーマに変換する。
(メタデータインスタンス変換に利用)
elementnameが、owl:Propertyになる
回数制限は、
minOccurs,maxOccursに設定
値制約は、
xsdは、そのままXMLスキーマでチェック
owl:oneOfは、xsd:choice

5.DB更新定義

(1) 登録時

・記述規則管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【登録】
1	バージョンURI(pk)	varchar	記述規則URIにシステム日付(?20101010)を付加
2	記述規則URI(pk)	varchar	記述規則URI
3	ファイル種別	varchar	入力された01:RDF/XML、02:Turtle、03:タブ区切テキスト(C-01 記述規則ファイル登録時以外はnull)
4	オリジナルファイル名	varchar	オリジナルのファイル名(C-01 記述規則ファイル登録時以外はnull)
5	オリジナルファイル	bytea	オリジナルのファイルをバイナリ(C-01 記述規則ファイル登録時以外はnull)
6	RDF/XMLファイル	text	RDF/XMLファイルに変換
7	XMLスキーマ	text	記述規則のXMLスキーマ作成し、設定
8	アップロード日時	timestamp	システム日付
9	登録組織ID	varchar	登録組織ID(管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織)
10	登録ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
11	登録日時	timestamp	システム日付
12	更新ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
13	更新日時	timestamp	システム日付

・記述制約管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【登録】
1	記述規則バージョンURI(pk)	varchar	記述規則URIにシステム日付(?20101010)を付加
2	記述制約URI(pk)	varchar	記述制約URI(記述規則+#MAIN-タイトル)
3	DCマッピング	varchar	DCにマッピングした値
4	関連記述規則バージョンURI	varchar	コピーした場合に、コピー元の記述規則バージョンURI(C-01 記述規則ファイル登録時はnull)
5	関連記述制約URI	varchar	コピーした場合に、コピー元の記述制約URI(C-01 記述規則ファイル登録時はnull)

・記述規則スキーマテーブル

Jenaで新規登録(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

・記述規則メタデータスキーマテーブル

Jenaで新規登録(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

5.DB更新定義

(2) 更新時

(バージョンを変更する場合)

・記述規則管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【登録】
1	バージョンURI(pk)	varchar	記述規則URIにシステム日付(?20101010)を付加
2	記述規則URI(pk)	varchar	記述規則URI
3	ファイル種別	varchar	入力された01:RDF/XML、02:Turtle、03:タブ区切テキスト(C-01 記述規則ファイル登録時以外はnull)
4	オリジナルファイル名	varchar	オリジナルのファイル名(C-01 記述規則ファイル登録時以外はnull)
5	オリジナルファイル	bytea	オリジナルのファイルをバイナリ(C-01 記述規則ファイル登録時以外はnull)
6	RDF/XMLファイル	text	RDF/XMLファイルに変換
7	XMLスキーマ	text	記述規則のXMLスキーマ作成し、設定
8	アップロード日時	timestamp	システム日付
9	登録組織ID	varchar	登録組織ID(管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織)
10	登録ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
11	登録日時	timestamp	システム日付
12	更新ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
13	更新日時	timestamp	システム日付

・記述制約管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【登録】
1	記述規則バージョンURI(pk)	varchar	記述規則URIにシステム日付(?20101010)を付加
2	記述制約URI(pk)	varchar	記述制約URI(記述規則+#MAIN-タイトル)
3	DCマッピング	varchar	DCにマッピングした値
4	関連記述規則バージョンURI	varchar	コピーした場合に、コピー元の記述規則バージョンURI(C-01 記述規則ファイル登録時はnull)
5	関連記述制約URI	varchar	コピーした場合に、コピー元の記述制約URI(C-01 記述規則ファイル登録時はnull)

・記述規則スキーマテーブル

バージョンURIでJenaで新規登録(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

・記述規則メタデータスキーマテーブル

バージョンURIでJenaで新規登録(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

5.DB更新定義

(バージョンを変更しない場合)

・記述規則管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【更新】
1	バージョンURI(pk)	varchar	取得条件:バージョンURIでレコード取得
2	記述規則URI(pk)	varchar	—
3	ファイル種別	varchar	入力された01:RDF/XML、02:Turtle、03:タブ区切テキスト(C-01 記述規則ファイル登録時以外はnull)
4	オリジナルファイル名	varchar	オリジナルのファイル名(C-01 記述規則ファイル登録時以外はnull)
5	オリジナルファイル	bytea	オリジナルのファイルをバイナリ(C-01 記述規則ファイル登録時以外はnull)
6	RDF/XMLファイル	text	RDF/XMLファイルに変換
7	XMLスキーマ	text	記述規則のXMLスキーマ作成し、設定
8	アップロード日時	timestamp	システム日付
9	登録組織ID	varchar	登録組織ID
10	登録ユーザID	varchar	—
11	登録日時	timestamp	—
12	更新ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
13	更新日時	timestamp	システム日付

・記述制約管理テーブル(削除⇒登録)

No.	項目名	属性	処理内容【削除】
1	記述規則バージョンURI(pk)	varchar	取得条件:バージョンURIでレコード取得

No.	項目名	属性	処理内容【登録】
1	記述規則バージョンURI(pk)	varchar	記述規則URIにシステム日付(?20101010)を付加
2	記述制約URI(pk)	varchar	記述制約URI(記述規則+#MAIN-タイトル)
3	DCマッピング	varchar	DCにマッピングした値(元データにあればそのデータを入れる)
4	関連記述規則バージョンURI	varchar	コピーした場合に、コピー元の記述規則バージョンURI(元データにあればそのデータを入れる)
5	関連記述制約URI	varchar	コピーした場合に、コピー元の記述制約URI(元データにあればそのデータを入れる)

・記述規則スキーマテーブル

バージョンURIでJenaで更新(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

・記述規則メタデータスキーマテーブル

バージョンURIでJenaで更新(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

画面説明

画面No.	画面名称
C-04	記述制約追加編集

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

記述制約追加編集

追加

閉じる

ラベル ※	タイトル	
プロパティ ※	dc ▼	title ▼
タイプ ※	文字列 ▼	
値制約		
出現回数制約	推奨 ▼	
	最小:	最大: 1
記述内容	作品のタイトル	

※【記述規則ID追加】ボタンからの場合

クラス	foaf ▼	document ▼
タイプ ※	ID	
URIリソース		

※【記述制約追加】ボタンからの場合

選択したプロパティの値域がクラスでない場合

タイプ ※	文字列 ▼
	数値 日付 統制語彙 記述規則(構造化) 参照値(URI)

2. 処理概要

記述規則の項目の制約を追加編集を行います。

【記述規則ID追加】からの遷移の場合

記述規則のIDを追加します。

【記述制約追加】からの場合

プロパティは、登録されている語彙定義、

および未登録プロパティから選択可能です。

プロパティ選択時に、

プロパティの値域によって、記述制約の値制約を決定します。

rangeの値のtypeがクラスの場合

(rdfs:Class、owl:Class、

owl:Restriction、owl:DeprecatedClass)

記述制約の値制約に「rangeの値」を出力し、

入力不可項目にする

それ以外、未登録プロパティの場合

タイプを選択タイプにします。

数値の場合は、

記述内容に「(input number format)」と表示し、

入力は文字列として扱います。

日付の場合は、

記述内容に「(input date format)」と表示し、

入力は文字列として扱います。

1. レイアウト		2. 処理概要	
文字列の場合			
タイプ ※	文字列 ▼		
値制約	 ※空白は、任意の文字列。複数入力は、「バナナ りんご みかん」は、いずれか一つ。複数区切りは		
数値の場合			
タイプ ※	数値 ▼		
値制約	※入力 は 文字列として扱います。		
記述内容に自動的に以下を追加			
記述内容	(input number format)		
日付の場合			
タイプ ※	日付 ▼		
値制約	※入力 は 文字列として扱います。		
記述内容に自動的に以下を追加			
記述内容	(input date format)		
統制語彙の場合			
タイプ ※	統制語彙 ▼		
値制約	☐ NDC ☒ NDLSH ☒ BSH		
	その他(URI)	http://aaa.aaa/	削除
	その他(URI)	http://aaa.aaa/	削除
	追加		
記述規則（構造化）の場合			
タイプ ※	記述規則(構造化) ▼		
値制約 ※	#Agent 著者情報 ▼		

1. レイアウト	2. 処理概要																										
参照値の場合 <table> <tr> <td>タイプ ※</td><td>参照値 ▼</td></tr> <tr> <td rowspan="3">値制約</td><td>参照値(URI) http://aaa.aaa/ 削除 </td></tr> <tr> <td>参照値(URI) http://aaa.aaa/ 削除 </td></tr> <tr> <td> 追加 </td></tr> </table> 制約なしの場合 <table> <tr> <td>タイプ ※</td><td>制約なし ▼</td></tr> <tr> <td>値制約</td><td></td></tr> </table> ※【記述制約追加】ボタンからの場合 選択したプロパティの値域がクラスの場合 <table> <tr> <td>プロパティ ※</td><td>foaf ▼ homepage ▼</td></tr> <tr> <td>タイプ ※</td><td>その他(クラス)</td></tr> <tr> <td>値制約</td><td>foaf:Document</td></tr> </table> ※ 2 つあった場合 <table> <tr> <td>値制約</td><td>owl:unionOf(foaf:Person fda:Family)</td></tr> </table> ※コピーした記述制約の場合（ファイルから読み込みことが可能）、上記に該当しないパターンで、遷移することがある。 【owl:onClassの場合】 <table> <tr> <td>タイプ ※</td><td>その他(クラス)</td></tr> <tr> <td>値制約</td><td>foaf:Document</td></tr> </table> 【owl:onDataRangeの場合】 <table> <tr> <td>タイプ ※</td><td>その他(リテラル)</td></tr> <tr> <td>値制約</td><td>dcterms:W3CDTF</td></tr> </table>	タイプ ※	参照値 ▼	値制約	参照値(URI) http://aaa.aaa/ 削除	参照値(URI) http://aaa.aaa/ 削除	追加	タイプ ※	制約なし ▼	値制約		プロパティ ※	foaf ▼ homepage ▼	タイプ ※	その他(クラス)	値制約	foaf:Document	値制約	owl:unionOf(foaf:Person fda:Family)	タイプ ※	その他(クラス)	値制約	foaf:Document	タイプ ※	その他(リテラル)	値制約	dcterms:W3CDTF	
タイプ ※	参照値 ▼																										
値制約	参照値(URI) http://aaa.aaa/ 削除																										
	参照値(URI) http://aaa.aaa/ 削除																										
	追加																										
タイプ ※	制約なし ▼																										
値制約																											
プロパティ ※	foaf ▼ homepage ▼																										
タイプ ※	その他(クラス)																										
値制約	foaf:Document																										
値制約	owl:unionOf(foaf:Person fda:Family)																										
タイプ ※	その他(クラス)																										
値制約	foaf:Document																										
タイプ ※	その他(リテラル)																										
値制約	dcterms:W3CDTF																										

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ						動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約			
1	ラベル	テキスト	○		文字				rdfs:label	
2	プロパティ(接頭辞)	プルダウン	○	dc	文字			「4.5」参照	語彙定義管理テーブル.デフォルト接頭辞	タイプがIDの場合は非表示 「未登録プロパティ」を先頭に指定。標準語彙、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙とする
3	プロパティ	プルダウン	○		文字			「4.7」参照	指定された語彙定義のプロパティ一覧を表示 プロパティ名の昇順でソート	タイプがIDの場合は非表示 未登録プロパティが選択された場合は非表示。
4	プロパティ	テキスト	○		文字					未登録プロパティが選択された場合に表示。
5	クラス(接頭辞)	プルダウン		未選択	文字			先頭に未選択を追加 「4.6」参照	語彙定義管理テーブル.デフォルト接頭辞	タイプがIDの場合のみ表示 標準語彙、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙とする
6	クラス	プルダウン			文字				指定された語彙定義のクラス一覧を表示 クラス名の昇順でソート	タイプがIDの場合のみ表示
7	タイプ	プルダウン	○	文字列	文字			文字列 数値 日付 統制語彙 記述規則(構造化) 参照値(URI) 制約なし 「4.8」参照 記述規則(構造化)は、存在しない場合は、選択肢に表示しない		記述制約ID追加の場合は、IDと表示 プロパティ選択時(rangeがある場合)は、その他と表示 選択肢は設定ファイルより取得する javascript
8	URIリソース(ID)	テキスト			文字		URIチェック		dsp:resourceNsURI	タイプの選択によって表示、非表示
9	値制約(文字列)	テキスト			文字				owl:onDataRange	タイプの選択によって表示、非表示

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
10	値制約(統制語彙)	チェック		NDC	文字			NDC NDLSH BSH		owl:onClass dsp:inScheme [owl:unionOf([dsp:inSchemeで、 NDC,NDLSH,BSHの場合	タイプの選択によって 表示、非表示 選択肢は設定ファイル より取得する
11	値制約(統制語彙)	テキスト			文字		URIチェック			owl:onClass dsp:inScheme [owl:unionOf([dsp:inScheme で、NDC,NDLSH,BSH以外の 場合	タイプの選択によって 表示、非表示
12	値制約(記述規則(構造化))	プルダウン		先頭	文字			記述規則(構 造化)を設定		owl:onClass #MAIN以外の記述規則(構造 化)を取得	タイプの選択によって 表示、非表示
14	値制約(参照)	テキスト			文字		URIチェック			owl:onClass[owl:one of]	タイプの選択によって 表示、非表示
13	出現回数制約	プルダウン	○	指定	文字			指定 あれば必須 推奨	「4.9」参照	dsp:cardinalityNote あれば必須、推奨	タイプがIDの場合は、 必須。 選択肢は設定ファイル より取得する
14	出現回数制約(最小)	テキスト			数字					owl:minQualifiedCardinality	出現回数制約が指定 以外の場合は利用不 可
15	出現回数制約(最大)	テキスト			数字					owl:maxQualifiedCardinality	出現回数制約が指定 以外の場合は利用不 可
16	記述内容	テキスト			文字					rdfs:comment	「数値」「日付」が選択 された場合は、固定文 字列を追加表示。

3.項目説明

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	値制約(文字列)		文字	※空白は、任意の文字列。複数入力は、「バナナ りんご みかん」は、いずれか一つ。複数区切りは		
2	値制約(数値)		文字	※入力 は文字列として扱います。を表示		
3	値制約(日付)		文字	※入力 は文字列として扱います。を表示		
4	値制約(制約なし)		文字	空白		
5	値制約(その他(クラス))		文字	プロパティ選択時は、プロパティの値域によって、「range の値」を出力する。 それ以外は、owl:onClassに値があればそのまま表示。		
6	値制約(その他(リテラル))		文字	owl:onDataRangeに値があればそのまま表示。		

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	追加	更新時は表示 しない				「4.10」参照	StatementAction.doAdd	
2	更新	追加時は表示 しない				「4.11」参照	StatementAction.doUpdate	
3	閉じる	アクティブ				「4.12」参照		javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示(/addId)

【記述規則編集画面で記述制約ID追加が押下された場合(記述規則IDモード)】

- ・ **タイトルを「記述制約ID追加編集」と表示する。**
- ・ ラベルをクラスにする。(IDに関しては、クラスは必須ではない)
- ・ 語彙定義管理テーブルから登録されている最新の語彙定義を取得する。
標準語彙(登録組織ID=標準語彙)、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙の順でプルダウンを表示する。(各接頭辞の昇順でソート)
- ・ クラス(接頭辞)に選択されたクラス一覧(typeがClass設定ファイル)を語彙定義スキーマから取得し、プルダウンに表示する。
- ・ タイプをID固定とする
- ・ 出現回数制約を利用不可
- ・ 出現回数制約(最小を1、最大を1)を固定
- ・ 画面を表示する。

4.2 初期表示(/editId)

【記述規則編集画面でラベル(記述規則IDのラベル)が押下された場合(記述規則IDモード)】

- ・ **タイトルを「記述制約ID追加編集」と表示する。**
- ・ 選択されたURI(MAIN、reg:primaryDescription)から記述規約情報を取得する。
- ・ ラベルをクラスにする。(IDに関しては、クラスは必須ではない)
- ・ 語彙定義管理テーブルから登録されている最新の語彙定義を取得する。
標準語彙(登録組織ID=標準語彙)、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙の順でプルダウンを表示する。(各接頭辞の昇順でソート)
- ・ **記述規約IDのクラスの接頭辞を設定する。**
- ・ クラス(接頭辞)に選択されたクラス一覧(typeがClass設定ファイル)を語彙定義スキーマから取得し、プルダウンに表示する。
記述規約IDのクラス名を設定する。
- ・ タイプをID固定とする
- ・ **URIリソースを設定する。**
- ・ 出現回数制約を利用不可
- ・ 出現回数制約(最小を1、最大を1)を固定
- ・ 記述内容を設定する。
- ・ 画面を表示する。

4.3 初期表示(/add)

【記述規則編集画面で記述制約追加が押下された場合(追加モード)】

- ・ **タイトルを「記述制約追加編集」と表示する。**
- ・ ラベルをプロパティにする。
- ・ 語彙定義管理テーブルから登録されている最新の語彙定義を取得する。
「未登録プロパティ」を先頭に追加。標準語彙(登録組織ID=標準語彙)、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙の順でプルダウンを表示する。(各接頭辞の昇順でソート)
dcをデフォルト表示する。
- ・ プロパティ(接頭辞)に選択されたプロパティ一覧(typeがProperty設定ファイル)を語彙定義スキーマから取得し、プルダウンに表示する。
- ・ タイプを設定ファイルから取得し、プルダウンを表示する。
記述規則(構造化)は、存在しない場合は、表示しない。
- ・ 記述規則(構造化)があれば、プルダウンに設定する。
- ・ 出現回数制約を設定ファイルから取得し、プルダウンを表示する。
- ・ 画面を表示する。

4. 処理詳細

4.4 初期表示(/edit)

【記述規則編集画面でラベルが押下された場合(編集モード)】

- ・ **タイトルを「記述制約追加編集」と表示する。**
- ・ 選択されたURIから記述規約情報を取得する。
- ・ ラベルをプロパティにする。
- ・ 語彙定義管理テーブルから登録されている最新の語彙定義を取得する。
「未登録プロパティ」を先頭に追加。標準語彙(登録組織ID=管理者)、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙の順でプルダウンを表示する。(各接頭辞の昇順でソート)
記述規約情報のプロパティの接頭辞を設定する。
- ・ (未登録プロパティの場合)
プロパティ(ターム)をテキストに変更し、記述規約情報のプロパティ名を設定する。
- ・ (未登録プロパティ以外の場合)
プロパティ(接頭辞)に選択されたプロパティ一覧(typeがProperty設定ファイル)を語彙定義スキーマから取得し、プルダウンに表示する。
記述規約情報のプロパティ名を設定する。
- ・ タイプを設定ファイルから取得し、プルダウンを表示する。(その他の場合は、固定表示)
記述規則(構造化)は、存在しない場合は、表示しない。
owl:oneOfの場合 ... 文字列
owl:oneOfで、文字列でない場合 ... その他(リテラル)を固定で表示
owl:Classで、dsp:inSchemeの場合 ... 統制語彙
owl:Classで、owl:unionOf(dsp:inScheme の場合 ... 統制語彙
owl:Classで、記述規則(構造化)の場合 ... 記述規則(構造化)
owl:Classで、URIの場合(クラス以外) ... 参照値
owl:Classで、クラスの場合 ... その他(クラス)を固定で表示
owl:Class、owl:oneOfがない場合 ... 「制約なし」で表示
※「数値、日付」として入力されたデータは、「文字列」になる。
記述規約情報のタイプを上記で設定する。
- ・ 記述規則(構造化)があれば、プルダウンに設定する。
- ・ 値制約を設定する。
文字列 owl:one ofの場合は、「|」で区切る
文字列 rdfs:Literalの場合は、空白
統制語彙 NDC NDLSH BSHのURIの場合は、チェックを付ける。それ以外は、別フィールド
記述規則(構造化) 該当する記述規則(構造化)のプルダウンを選択
参照値 URIをそのまま表示
参照値 owl:one ofの場合は、フィールドを分けて表示
その他(クラス) そのまま表示
その他(リテラル) そのまま表示
- ・ 出現回数制約を設定ファイルから取得し、プルダウンを表示する。
記述規約情報の出現回数制約から出現回数制約を設定する。
- ・ 出現回数制約(最小、最大)を設定する。
- ・ 画面を表示する。

4.5 プロパティ(接頭辞)を選択する

- ・ プロパティ(接頭辞)に「未選択プロパティ」以外を選択した場合、
Ajaxでプロパティ(接頭辞)に選択されたプロパティの一覧を語彙定義スキーマから取得し、プルダウンを再表示する。
- ・ プロパティ(接頭辞)に「未選択プロパティ」を選択した場合、
プロパティ(ターム)をテキストに変更し、プロパティ名を入力できるようにする。

4.6 クラス(接頭辞)を選択する

- ・ Ajaxでクラス(接頭辞)に選択されたクラス一覧を語彙定義スキーマから取得し、プルダウンを再表示する。

4. 処理詳細

4.7 プロパティ(ターム)を選択する

- ・ Ajaxでプロパティ(ターム)の値域(range)を取得し、記述制約の値制約を決定する。
rangeの値のtypeがクラスの場合(rdfs:Classを継承しているもの)
記述制約のタイプを「その他(クラス)」にし、選択不可項目にする。
記述制約の値制約に「rangeの値」を出力し、入力不可項目にする。
それ以外の場合
タイプを選択タイプにします。

4.8 タイプを選択する

【タイプが文字列の場合】

- ・ 値制約をテキストフィールドにする

【タイプが数値の場合】

- ・ 値制約を入力不可にする。
- ・ 記述内容の語尾に「(input number format)」を追加する。

【タイプが日付の場合】

- ・ 値制約を入力不可にする。
- ・ 記述内容の語尾に「(input date format)」を追加する。

【タイプが統制語彙の場合】

- ・ 統制語彙チェックボックスを設定する。
- ・ 値制約をテキストフィールドと追加ボタン、削除ボタンを設定する。

【タイプが記述規則(構造化)の場合】

- ・ 値制約に記述規則(構造化)プルダウンを設定する。

【タイプが参照値の場合】

- ・ 値制約をテキストフィールドと追加ボタン、削除ボタンを設定する。

【タイプが制約なしの場合】

- ・ 値制約は入力不可で、空白表示する。

4.処理詳細

4.9 出現回数制約を選択する

- 「あれば必須」「推奨」であれば、最小、最大を空にして、編集不可にする。

4.10 追加を押下する

- バリデータチェックを行う。エラーがある場合は、エラーメッセージを表示する。
- 入力チェックを行う
※構造化の場合は、構造化内に対してチェックを行う。
- 出現回数制約の最大より、最小のほうが大きい場合
「出現回数制約(最小、最大)が不正です。」
- 同一プロパティが重複している場合、エラーメッセージを表示する
「同一プロパティが既に指定されています。」
- 同一ラベルが重複している場合、エラーメッセージを表示する
「同一ラベル名が指定されています。ラベル名はキーとなるため、同一ラベル名は指定できません。」
- 語彙定義の接頭辞が設定されていない場合は、参照設定に設定する。
参照設定に接頭辞が同じものがある場合は、参照設定に追加しない。
- 入力内容をRDF変換行う。
簡易DSP記述規則に基づいて変換する
値制約

タイプ	値制約入力値	RDF変換	
ID	http://aaaa/XXX	dsp:resourceNsURI	<http://aaaa/XXX>
文字列	空白	owl:onDataRange	rdfs:Literal
文字列	aaaaa	owl:onDataRange	[owl:one of("aaaa")]
文字列	バナナりんごみかん	owl:onDataRange	[owl:one of("バナナ" "りんご" "みかん")]
数値		owl:onDataRange	rdfs:Literal
日付		owl:onDataRange	rdfs:Literal
統制語彙	NDLSH(チェックあり)	owl:onClass	[dsp:inSchem ndlsh:]
統制語彙	NDLSH.BSH(チェックあり)	owl:onClass	[owl:unionOf([dsp:inSchem ndlsh:] [dsp:inSchem bsh:])]
統制語彙	http://aaaa/XXX	owl:onClass	[dsp:inSchem <http://aaaa/XXX>]
記述規則(構造化)	#Agent	owl:onClass	<#Agent>
参照値	空白	owl:onClass	owl:Thing
参照値	http://aaaa/XXX	owl:onClass	[owl:one of(http://aaaa/XXX)]
参照値	card:VISA card:AMEX	owl:onClass	[owl:one of(card:VISA card:AMEX)]
その他(クラス)	foaf:Person	owl:onClass	foaf:Person
その他(クラス)	[owl:unionOf(foaf:Person rda:Family)]	owl:onClass	[owl:unionOf(foaf:Person rda:Family)]
その他(リテラル)	xsd:decimal	owl:onDataRange	xsd:decimal
その他(リテラル)	dcterms:W3CDTF	owl:onDataRange	dcterms:W3CDTF
制約なし			

出現回数制約

owl:minQualifiedCardinality 最小
 owl:maxQualifiedCardinality 最大
 owl:qualifiedCardinality 最小、最大が同値の場合
 owl:qualifiedCardinality 1
 dsp:cardinalityNote あれば必須、推奨

- ID 型項目規則がある場合、dsp:valueURIOccurrence プロパティ値を"mandatory"とする。
- C-03 記述規則編集から遷移した場合は、
画面を閉じて、設定内容をC-03 記述規則編集画面へ反映する
- C-06 記述規則(構造化)追加編集から遷移した場合は、
画面を閉じて、設定内容をC-06 記述規則(構造化)追加編集画面へ反映する

4.処理詳細

4.11 更新を押下する

- ・バリデータチェックを行う。エラーがある場合は、エラーメッセージを表示する。
- ・入力チェックを行う
※構造化の場合は、構造化内に対してチェックを行う。
- ・出現回数制約の最大より、最小のほうが大きい場合
「出現回数制約(最小、最大)が不正です。」
- ・同一プロパティが重複している場合、エラーメッセージを表示する
「同一プロパティが既に指定されています。」
- ・同一ラベルが重複している場合、エラーメッセージを表示する
「同一ラベル名が指定されています。ラベル名はキーとなるため、同一ラベル名は指定できません。」
- ・語彙定義の接頭辞が設定されていない場合は、参照設定に設定する。
参照設定に接頭辞が同じものがある場合は、参照設定に追加しない。
- ・入力内容をRDF変換行う。
ラベル名が、変更された場合、プロパティのURIも変更する。
簡易DSP記述規則に基づいて変換する
- ・ID 型項目規則がある場合、dsp:valueURIOccurrence プロパティ値を”mandatory”とする。
- ・C-03 記述規則編集から遷移した場合は、
画面を閉じて、設定内容をC-03 記述規則編集画面へ反映する
- ・C-06 記述規則(構造化)追加編集から遷移した場合は、
画面を閉じて、設定内容をC-06 記述規則(構造化)追加編集画面へ反映する

4.12 閉じるを押下する

- ・画面を閉じる

画面説明

画面No.	画面名称
C-05	記述制約検索

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

2. 処理概要

記述制約検索(使用プロパティ)

閉じる

語彙名前空間 (URI) ※	dc : http://purl.org/dc/elements/1.1/ ▼
プロパティ ※	title ▼ ☒ 下位プロパティも含める

検索

記述制約一覧

登録組織	記述規則名	ラベル	プロパティ	記述内容	出現回数制約		値制約	
〇〇美術館	〇〇記述規則	タイトル	dc:title	作品のタイトル	1	1	rdfs:Literal	追加
××図書館	××記述規則	タイトル	dc:title	タイトル	0	1	<#StructTitle>	追加
インフォコム	インフォ記述規則	書名	jwest:title	書名	1		rdfs:Literal	追加

既存の記述規則から利用したい記述制約 (StatementTemplate) をコピーすることができます。プロパティ名で既存の記述規則を検索し、該当する記述制約を一覧で表示します。利用したい記述制約を選択し、記述規則に追加することが可能です。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	語彙名前空間(URI)	プルダウン	○	dc	文字				「4.10」参照	語彙定義管理テーブル.デフォルト接頭辞 語彙定義管理テーブル.語彙定義URI	標準語彙、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙とする
2	プロパティ	プルダウン	○	先頭	文字					指定された語彙定義のプロパティ一覧を表示 プロパティ名の昇順でソート	
3	下位プロパティも含める	チェック		なし						rdfs:subPropertyOfに上記のプロパティが設定されているものを含める	
4	選択	チェック		なし							項目追加用

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	登録組織		文字	記述規則を登録した組織名を表示	記述規則URIより、記述規則メタデータスキーマから作成者を取得 (グループ情報から組織名を取得)	
2	記述規則名	○	文字	ラベルを表示する	記述規則URIより、記述規則メタデータスキーマから記述規則名を取得	
2	ラベル	○	文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
3	プロパティ	○	文字	プロパティを語彙登録されている接頭辞付で表示する	owl:onProperty	
4	記述内容		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	
5	出現回数制約(最小)		文字	出現回数の最小値を設定	owl:minQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality dsp:cardinalityNote	①dsp:cardinalityNoteの場合、「あれば必須」、「推奨」のリテラルを表示(検証時は任意) ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:minQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
6	出現回数制約(最大)		文字	出現回数の最大値を設定	owl:maxQualifiedCardinality dsp:cardinalityNote	①dsp:cardinalityNoteの場合表示なし ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:maxQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定

3.項目説明

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
7	値制約	○		リテラル値、実体値の内容を表示する。	値制約がリテラル値の場合は、 owl:onDataRange 実体値の場合は、owl:onClass	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	(テーブルヘッダ)	アクティブ						ajaxソート
2	閉じる	アクティブ				「4.9」参照		javascript
3	検索	アクティブ				「4.2」参照	StatementAction.doSerch	
4	追加	アクティブ				「4.8」参照	StatementAction.doAddCopy	
5	記述規則名	アクティブ				「4.4」参照	(/reference/description/view/{URI})	javascript
6	ラベル	アクティブ				「4.5」参照	(/reference/statement/view/{URI})	javascript
7	プロパティ	アクティブ				「4.6」参照	(/regist/term/view/{URI})	
8	値制約	アクティブ				「4.7」参照	(/regist/term/view/{URI}) 記述規則(構造化)の場合 (/reference/description/view/Structure/{URI})	javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ 語彙定義管理テーブルから登録されている最新の語彙定義を取得する。
標準語彙(登録組織ID=管理者)、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙の順でプルダウンを表示する。(各URIの昇順でソート)
dcをデフォルト表示する。
- ・ 語彙名前空間(URI) に選択された語彙定義のスキーマからプロパティを取得し、プルダウンに設定する。
- ・ 画面を表示する。(登録組織の昇順)

4.2 検索を押下する

- ・ 条件で指定されたプロパティ利用している記述制約を記述規則スキーマから取得し、一覧に表示する。
- ・ 下位プロパティも含めるチェックがありの場合、選択したプロパティのsubPropertyOfで参照しているプロパティを含める

4.3 テーブルヘッダリンクを押下する

- ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。

4.4 記述規則名を押下する

- ・ D-02 記述規則参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refDescription」にする。

4.5 ラベルを押下する

- ・ D-04 記述制約参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refStatement」にする。

4.6 プロパティを押下する

- ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.7 値制約を押下する

- ・ 記述制約(構造化)エンティティの場合
D-03 記述規則(構造化)参照画面を別ダイアログで表示する。「refStructure」にする。
- ・ クラスプロパティの場合
B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.8 追加を押下する

- ・ 同一プロパティが重複している場合、エラーメッセージを表示する
「同一プロパティが既に記述規則に指定されているため、追加できません。」
- ・ 同一ラベルが重複している場合、エラーメッセージを表示する
「同一ラベルが既に記述規則に指定されているため、追加できません。」
- ・ 値制約が構造化の場合、同一の記述規則(構造化)IDが存在する場合、エラーメッセージを表示する
「同一の記述規則(構造化)IDが存在するため、追加できません。」
- ・ 記述規則に選択した記述制約を基底URIを変更して、C-03 記述規則編集のデータに追加する
この際に記述規約管理テーブル用に関連記述規則バージョンURI、関連記述制約URIも保存する。
選択したプロパティが構造化の中のプロパティの場合は、MAINにプロパティを追加する
選択したプロパティの値制約が記述規則(構造化)だった場合は、記述規則(構造化)ごとのデータを追加する
該当する語彙定義が接頭辞に設定されていない場合は、参照設定に設定する。参照設定に接頭辞が同じものがある場合は、参照設定に追加しない。
- ・ 画面を閉じて、設定内容をC-03 記述規則編集画面へ反映する

4.9 閉じるを押下する

画面を閉じる

4.10 語彙名前空間(URI)を選択する

- ・ 語彙名前空間(URI)を選択した場合、Ajaxで語彙名前空間(URI)に選択されたプロパティの一覧を語彙定義スキーマから取得し、プルダウンを再表示する。

画面説明

画面No.	画面名称
C-06	記述規則(構造化)追加編集

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

記述規則(構造化)追加編集

追加

閉じる

ID ※	Agent	※URIとして使用できない文字はエンコードされます。
タイトル	著者情報	
コメント	著者記述	

記述制約追加

項目削除

選択	ラベル	プロパティ	値域	記述内容	出現回数制	値制約	移動
☐	作者	dc:creator	dcterms:Agent	作者	0	rdfs:Literal	↓↑
☐	作者タイトル	dc:title		作者タイトル	1	rdfs:Literal	↓↑
☐	テーマ	dc:subject		作者テーマ	0	rdfs:Literal	↓↑

2. 処理概要

記述規則の構造化項目の制約を追加編集を行います。
プロパティは、登録されている語彙定義から
選択可能です。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ	必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢	動作	DB/Jena項目	備考
1	ID	テキスト	○		文字		MAIN以外			owl:Class	更新時は入力不可
2	タイトル	テキスト			文字					rdfs:label	
3	コメント	テキスト			文字					rdfs:comment	
記述規則											
4	選択	チェック									項目削除用

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
記述規則						
1	ラベル	○	文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
2	プロパティ	○	文字	プロパティを語彙登録されている接頭辞付で表示する 未登録プロパティの場合、接頭辞を「未」として表示する	owl:onProperty	未登録プロパティの場合は、リンクにしない
3	値域	○	文字	プロパティの値域を表示する		語彙定義スキーマのプロパティのrangeから取得
4	記述内容		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	
5	出現回数制約(最小)		文字	出現回数の最小値を設定	owl:minQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality dsp:cardinalityNote	①dsp:cardinalityNoteの場合、「あれば必須」、「推奨」のリテラルを表示(検証時は任意) ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:minQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
6	出現回数制約(最大)		文字	出現回数の最大値を設定	owl:maxQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality	①dsp:cardinalityNoteの場合表示なし ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:maxQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
7	値制約	○		リテラル値、実体値の内容を表示する。	値制約がリテラル値の場合は、owl:onDataRange 実体値の場合は、owl:onClass	

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
記述規則								
1	記述制約追加	アクティブ				「4.6」参照	DescriptionAction.addStructureStatement	javascript
2	項目削除	1行もない場合は、非アクティブ				「4.3」参照	DescriptionAction.deleteStructureStatement	javascript
3	ラベル	アクティブ				「4.4」参照	DescriptionAction.edit(/edit/{URI})	javascript
4	プロパティ	未登録プロパティ時は非アクティブ				「4.5」参照	(/regist/term/view/{URI})	
5	値制約	未登録プロパティ時は非アクティブ				「4.10」参照	(/regist/term/view/{URI})	
6	値制約	アクティブ				「4.6」参照	(/regist/term/view/{URI}) 記述規則(構造化)の場合 DescriptionAction.refStructure (/editStructure/{URI})	javascript
7	移動(上)	最上位の場合は、非アクティブ				「4.7」参照		javascript
8	移動(下)	最下位の場合は、非アクティブ				「4.7」参照		javascript
9	追加	更新時は表示しない				「4.8」参照	DescriptionAction.doRegisterStructure	
10	更新	追加時は表示しない				「4.9」参照	DescriptionAction.doUpdateStructure	
11	閉じる	アクティブ				「4.11」参照		javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ C-03 記述規則編集画面の「構造化項目追加」から呼ばれた場合は、追加ボタンを表示する。
リンクから呼ばれた場合は、更新ボタンを表示する。
- ・ **更新時は、IDの変更は不可。**
- ・ C-03 記述規則編集画面の構造化項目データを取得し、jenaに設定する。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
- ・ jenaから記述規則情報(構造化)を取得する。
- ・ 画面を表示する
- ・ メタデータを画面上部に表示する
メタデータが存在しない場合は、空を表示
- ・ 構造化内の記述制約(StatementTemplate)一覧を表示する

4.2 記述制約追加を押下する

- ・ C-04 記述制約追加編集画面(新規モード)をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、新たな記述制約を一番下に追加(移動ボタンで変更可能)

4.3 項目削除を押下する

- ・ チェックボックスが未選択の場合、エラーメッセージを表示する。
「記述制約が選択されていません。」
- ・ 選択した記述制約を削除する。1行もない場合は、押下不可。

4.4 ラベルを押下する

- ・ C-04 記述制約追加編集画面(編集モード)をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、編集結果を反映

4.5 プロパティを押下する

- ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.6 値制約を押下する

- ・ 記述制約(構造化)エンティティの場合
(現在、編集集中の記述制約(構造化)の場合)
「現在編集集中の記述制約(構造化)のため、編集することができません。」を表示する。
C-06 記述規則(構造化)追加編集画面(編集モード)をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、記述規則(構造化)に反映
(他の記述制約(構造化)の場合)
「現在編集集中の記述制約(構造化)を追加編集後、記述規則編集画面にて、選択した記述制約(構造化)を編集してください。」を表示する。
- ・ クラスプロパティの場合
B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.7 移動を押下する

- ・ javascriptで、記述制約の表示順の入替を行う。

4.処理詳細

4.8 追加を押下する

- ・バリデータチェックを行う。エラーがある場合は、エラーメッセージを表示する。
- ・入力チェックを行う
- ・同一の記述規則(構造化)IDが存在する場合、エラーメッセージを表示する
「同一の記述規則(構造化)IDが存在するため、追加できません。」
- ・「記述制約」が設定されていない場合、エラーメッセージを表示する
「記述制約が設定されていません。記述制約追加で設定してください。」
- ・入力内容をRDF変換行う。
簡易DSP記述規則に基づいて変換する
IDはエンコーディングする
- ・C-03 記述規則編集から遷移した場合は、
画面を閉じて、設定内容をC-03 記述規則編集画面へ反映する

4.9 更新を押下する

- ・バリデータチェックを行う。エラーがある場合は、エラーメッセージを表示する。
- ・入力チェックを行う
- ・~~同一の記述規則(構造化)IDが存在する場合、エラーメッセージを表示する~~
~~「同一の記述規則(構造化)IDが存在するため、追加できません。」~~
- ・「記述制約」が設定されていない場合、エラーメッセージを表示する
「記述制約が設定されていません。記述制約追加で設定してください。」
- ・入力内容をRDF変換行う。
簡易DSP記述規則に基づいて変換する
- ・C-03 記述規則編集から遷移した場合は、
画面を閉じて、設定内容をC-03 記述規則編集画面へ反映する
- ・C-06 記述規則(構造化)追加編集から遷移した場合は、
画面を閉じて、設定内容をC-06 記述規則(構造化)追加編集画面へ反映する

4.10 値域を押下する

- ・B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.11 閉じる

- ・画面を閉じる

画面説明

画面No.	画面名称
C-07	参照設定

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

参照設定

設定

閉じる

名前空間URI	接頭辞 ※
http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#	rdf
http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#	rdfs
http://purl.org/dc/terms/	dcterms
http://xmlns.com/foaf/0.1/	foaf

2. 処理概要

記述規則の参照設定を行います。
記述規則に記述されている名前空間と接頭辞を表示します。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	接頭辞	テキスト	○			64	NCNameで、 正規表現 ¥p{Graph}			語彙定義管理テーブル.デフォルト接頭辞	参照モード時は入力不可。

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	名前空間URI		文字	記述規則の接頭辞の名前空間を表示する	#PrefixURI	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	設定	アクティブ				「4.2」参照		参照モード時は表示しない。
2	閉じる	アクティブ				「4.3」参照		javascript

4.処理詳細

4.1 初期表示

【C-03 記述規則編集画面の場合】

- ・ C-03 記述規則編集画面から引き継いだRDFから、記述規則で登録されている語彙の一覧と接頭辞を取得する。

【D-02 記述規則参照画面の場合】

- ・ D-02 記述規則参照画面から引き継いだRDFから、記述規則で登録されている語彙の一覧と接頭辞を取得する。
設定ボタンを表示しない。接頭辞は、入力不可。
- ・ 画面を表示する。

4.2 設定を押下する

- ・バリデータチェックを行う。
- ・入力チェックを行う。
同一接頭辞が重複している場合、エラーメッセージを表示する
「同一接頭辞が指定されています。同一接頭辞は指定できません。」
- ・jenaで接頭辞の変更を行い、設定内容を記述規則編集画面に反映し、画面を再描画する。

4.3 閉じるを押下する

- ・画面を閉じる

画面説明

画面No.	画面名称
C-08	記述規則バージョン一覧

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

記述規則バージョン一覧

閉じる

名前空間 (URI)	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/
最新バージョン	http://ndl.go.jp/dcndl/terms?20101201
過去バージョン	http://ndl.go.jp/dcndl/terms?20091101 http://ndl.go.jp/dcndl/terms?20091001

2. 処理概要

名前空間 (URI) のバージョン一覧を表示します。
過去バージョンを選択すると、過去バージョンの
記述規則参照画面を表示します。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	名前空間(URI)		文字	指定された名前空間(URI)を表示する		
2	最新バージョン		文字	名前空間(URI)の最新バージョンURIを表示する	記述規則管理テーブル.記述規則バージョンURI	
3	過去バージョン	○	文字	名前空間(URI)の過去バージョンURIを表示する	記述規則管理テーブル.記述規則バージョンURI	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	過去バージョン	アクティブ				「4.2」参照	(/show/description/viewHistory/{URI})	javascript
2	閉じる	アクティブ				「4.3」参照		javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ パラメータで渡されたURIより、記述規則管理テーブルからデータを取得する。
取得できない場合は、パラメータエラーとして、エラー画面に遷移する。
- ・ 過去バージョンには、リンクを設定する。
- ・ 画面を表示する。

4.2 過去バージョンを押下する

- ・ D-02 記述規則参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refDescription」にする。

4.3 閉じるを押下する

- ・ 画面を閉じる

画面説明

画面No.	画面名称
C-09	未登録語彙登録

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

未登録語彙登録	
	登録 閉じる
登録区分	☒ 新規登録 ☐ 更新
名前空間(接頭辞)	org ※標準の接頭辞
名前空間(URI) ※	http://ndl.go.jp/dcndl/terms
バージョン	
	☒ バージョンを変更する ☐ バージョンを変更しない 過去のバージョン
バージョン情報	初版
タイトル ※	
コメント	
作成者	国立国会図書館
作成日	2010-06-01

プロパティ		
プロパティ	ラベル ※	上位プロパティ (DC)
subtitle	サブタイトル	dc:title ▼
subcreator	共著	dc:creator ▼

2. 処理概要

記述規則で「未登録プロパティ」を設定した場合語彙定義の新規登録、更新を行います。新規登録時は、新たに語彙定義を登録します。追加更新時は、登録組織で登録されている語彙定義の名前空間から選択し、登録します。ただし、B-01 語彙定義登録のファイルアップロードで登録されている語彙定義については、更新できません。※ファイル管理で行われているため、ここでの語彙追加はできません。

語彙定義の上位プロパティは、DCのみ設定可能とします。登録した語彙定義の修正は、protégé等を利用し、B-01 語彙定義登録のファイルアップロード等で行います。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	登録区分	ラジオ	○	新規登録				新規登録 更新	「4.2」参照		選択肢は設定ファイルより取得する
2	名前空間(接頭辞)	テキスト	○			64	NCNameで、 正規表現 ¥p{Graph}			名前空間URIの接頭辞	更新時は、利用不可
3	名前空間(URI)	テキスト	○			1000	URLチェック			語彙定義のベースURI	「新規登録」時のみテキスト
4	名前空間(URI)	プルダウン	○						「4.7」参照	語彙定義管理テーブル.語彙定義URI	「更新追加」時のみプルダウン
5	バージョン(変更)	ラジオ		バージョンを 変更する				バージョンを 変更する/ バージョンを 変更しない	「4.3」参照		
6	バージョン情報	テキスト			文字					reg:version	バージョン情報を変更しないに場合は利用不可
7	タイトル	テキスト	○		文字					reg:title	
8	コメント	テキスト			文字					reg:comment	
プロパティ											
9	ラベル	ラベル	○	未登録プロパ ティ名						rdfs:label	
10	上位プロパティ(DC)	プルダウン	○					DCのプロパ ティ一覧		rdfs:subPropertyOf	語彙定義管理テーブルからDCのプロパティを取得

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	バージョン		文字	語彙定義のベースURIのバージョン	新規登録の場合は空 更新の場合は、語彙定義バージョンURI	語彙URIに?20101011で日付管理
2	作成者		文字	語彙定義の作成者	reg:creator 存在しない場合は、登録組織名	
3	作成日		文字	語彙定義の作成日	reg:created 存在しない場合は、システム日付	
プロパティ						
4	プロパティ		文字	未登録プロパティ名を表示する	owl:onProperty	

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	過去バージョン	新規登録時は 非アクティブ				「4.4」参照	(/show/vocabulary/version/ {URI})	javascript
2	登録	追加更新時は 表示しない				「4.5」参照	DescriptionAction.doRegistTe rm	
3	更新	新規登録時は 表示しない				「4.6」参照	DescriptionAction.doUpdateTe rm	
4	閉じる					「4.8」参照	画面を閉じる	javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・登録区分を「新規登録」に設定
- ・バージョン(変更)の「バージョンを変更する」、「バージョンを変更しない」は利用不可とする。
- ・名前空間(URI)をテキスト表示し、ログインしたユーザの登録組織の登録組織ドメインを表示する。
- ・C-03 記述規則編集画面から引き継いだ未登録プロパティ画面に設定する
- ・語彙定義管理テーブルからDCの語彙定義を取得し、上位プロパティに設定する。
- ・記述規則の値制約が文字列型であればDatatypeProperty、参照値、構造型であればObjectPropertyとする。(保持しておく)
2つ以上の同一プロパティ(MAINと構造化の中)の場合、異なる場合は、DatatypeProperty、ObjectPropertyどちらかを入れる。
不明の場合は、rdf:Property。

4.2 登録区分を選択する

- ・登録区分が「更新」の場合
ログインしたユーザの登録組織から、語彙定義管理テーブルの最新の語彙定義URIを取得する
ただし、オリジナルファイルがnullのもののみ取得。
※オリジナルファイルをアップロードした場合は、語彙定義の更新はしない。ファイルで管理されているため。
取得したデータをプルダウン表示する。
選択された語彙定義管理テーブルの語彙定義を取得し、メタデータを画面に表示する。
バージョン(変更)の「バージョンを変更する」、「バージョンを変更しない」は利用可とする。
- ・登録区分が登録の場合
名前空間(URI)をテキスト表示し、ログインしたユーザの登録組織の登録組織ドメインを表示する。
メタデータは、初期状態にクリアする。
バージョン(変更)の「バージョンを変更する」、「バージョンを変更しない」は利用不可とする。

4.3 バージョンを選択する

- ・「バージョンを変更しない」を選択した場合、バージョン情報は入力不可にする
- ・「バージョンを変更する」を選択した場合、バージョン情報は入力可にする

4.4 過去のバージョンを押下する

- ・B-06 語彙定義バージョン一覧画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「vocVersion」にする。

4.5 登録を押下する

- ・入力チェックを行う。
- ・デフォルト接頭辞がすでに登録されていた場合は、エラーメッセージを表示する。
「デフォルト接頭辞が、すでに別の語彙定義で登録されています。」
- ・すでに登録されているURIである場合は、エラーメッセージを表示する。
「すでに登録されているURIのため、登録できません。(XXX※XXXには「語彙定義」か「記述規則」かを明示する。
※語彙定義管理テーブルの語彙定義URIと、記述規則管理テーブルの記述規則URIで同一のものがあれば、エラーとする。
(URIの語尾が/、#, は、同一のものと判断する)
- ・参照設定に接頭辞を追加する。同じものがある場合は、参照設定に追加しない。
- ・登録処理を行う。(5. 更新定義(1))
jenaで語彙定義スキーマテーブルにRDFを登録する
jenaでメタデータ部分を語彙定義メタデータテーブルにRDFを登録する
オリジナルファイルとファイル名、ファイル種別、RDF/XMLファイルを語彙定義管理テーブルに新規登録する。
- ・jenaで未登録語彙の基底URIを登録した語彙定義のURIに変更して、パラメータとして引き継ぐ。
- ・B-04 語彙定義登録完了画面に遷移する

4. 処理詳細

4.6 更新を押下する

- ・ 入力チェックを行う。
- ・ デフォルト接頭辞がすでに登録されていた場合は、エラーメッセージを表示する。
「デフォルト接頭辞が、すでに別の語彙定義で登録されています。」
- ・ すでに登録済のプロパティの場合
【記述規則ファイル登録】の場合
「XXX:プロパティがすでに登録済です。画面を閉じて、タブ区切テキストファイルを見直し、プロパティに登録済の接頭辞を付与してください。」
【記述規則ファイル登録以外】の場合
「XXX:プロパティがすでに登録済です。画面を閉じて、記述規則編集画面で設定し直してください。」
- ・ すでに登録されているURIである場合は、エラーメッセージを表示する。
「すでに登録されているURIのため、登録できません。(XXX※XXXには「語彙定義」か「記述規則」かを明示する。
※語彙定義管理テーブルの語彙定義URIと、記述規則管理テーブルの記述規則URIで同一のものがあれば、エラーとする。
(URIの語尾が/.#|は、同一のものと判断する)」
- ・ 語彙定義ブルダウンが未設定の場合、エラーメッセージを表示する。
「登録組織で登録した語彙定義が存在しません。
登録区分を「新規作成」にして、語彙定義登録を行ってください。」
- ・ 登録しているバージョン日付と同一日に、「バージョンを変更する」で更新した場合、確認メッセージを表示する。
「前回、登録した日と同じです。同一バージョンに上書きされます。」
- ・ 参照設定に接頭辞を追加する。同じものがある場合は、参照設定に追加しない。
- ・ 排他制御チェック
語彙定義管理テーブルの基底URIのレコードの更新日付が変更されていた場合は、排他エラーとする。
「他のユーザにより、すでに更新されています。」
- ・ 更新処理を行う。(5. 更新定義(2))
(バージョンを変更する場合)
jenaで語彙定義スキーマテーブルにRDFを更新する
jenaでメタデータ部分を語彙定義メタデータテーブルにRDFを更新する
RDF/XMLファイルをバージョン日付で語彙定義管理テーブルに登録新規する。
(バージョンを変更しない場合)
jenaで語彙定義スキーマテーブルにRDFを更新する
RDF/XMLを語彙定義管理テーブル(バージョン日付)で更新する
- ・ jenaで未登録語彙の基底URIを登録した語彙定義のURIに変更して、パラメータとして引き継ぐ。
- ・ B-04 語彙定義登録完了画面に遷移する

4.7 名前空間(URI)選択時

- ・ 選択された語彙定義管理テーブルの語彙定義を取得し、メタデータを画面に表示する。

4.8 閉じる

- ・ 閉じる

5.DB更新定義

(1) 登録時

・語彙定義管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【登録】
1	バージョンURI(pk)	varchar	語彙定義URIにシステム日付(?20101010)を付加
2	語彙定義URI	varchar	語彙定義URI
3	デフォルト接頭辞	varchar	入力された接頭辞
4	ファイル種別	varchar	—
5	オリジナルファイル名	varchar	—
6	オリジナルファイル	bytea	—
7	RDF/XMLファイル	text	RDF/XMLファイルに変換
8	アップロード日時	timestamp	—
9	登録組織ID	varchar	登録組織ID(管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織)
10	登録ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
11	登録日時	timestamp	システム日付
12	更新ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
13	更新日時	timestamp	システム日付

・語彙定義スキーマテーブル

Jenaで新規登録

(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

・語彙定義メタデータスキーマテーブル

Jenaで新規登録

(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

5.DB更新定義

(2) 更新時

(バージョンを変更する場合)

・語彙定義管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【登録】
1	バージョンURI(pk)	varchar	語彙定義URIにシステム日付(?20101010)を付加
2	語彙定義URI	varchar	語彙定義URI
3	デフォルト接頭辞	varchar	—(変更しない)
4	ファイル種別	varchar	—
5	オリジナルファイル名	varchar	—
6	オリジナルファイル	bytea	—
7	RDF/XMLファイル	text	RDF/XMLファイルに変換
8	アップロード日時	timestamp	—
9	登録組織ID	varchar	登録組織ID(管理者の場合、プルダウンで選択した登録組織)
10	登録ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
11	登録日時	timestamp	システム日付
12	更新ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
13	更新日時	timestamp	システム日付

・語彙定義スキーマテーブル

バージョンURIでJenaで新規登録(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

・語彙定義メタデータスキーマテーブル

バージョンURIでJenaで新規登録(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

(バージョンを変更しない場合)

・語彙定義管理テーブル

No.	項目名	属性	処理内容【更新】
1	バージョンURI(pk)	varchar	取得条件:バージョンURIでレコード取得
2	語彙定義URI	varchar	—
3	デフォルト接頭辞	varchar	—(変更しない)
4	ファイル種別	varchar	—
5	オリジナルファイル名	varchar	—
6	オリジナルファイル	bytea	—
7	RDF/XMLファイル	text	RDF/XMLファイルに変換
8	アップロード日時	timestamp	—
9	登録組織ID	varchar	登録組織ID
10	登録ユーザID	varchar	—
11	登録日時	timestamp	—
12	更新ユーザID	varchar	ログイン者のユーザID
13	更新日時	timestamp	システム日付

・語彙定義スキーマテーブル

バージョンURIでJenaで更新(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

・語彙定義メタデータスキーマテーブル

バージョンURIでJenaで更新(登録者にログイン者の登録組織、登録日にシステム日付を付加)

画面説明

画面No.	画面名称
C-10	記述規則編集完了

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

記述規則編集完了

[メニューへ戻る](#)

記述規則

<http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample>
を更新しました。

旧バージョンは、

<http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample?20101001>
です。

2. 処理概要

記述規則編集画面の登録完了のメッセージを表示します。
バージョンを変更した場合は、旧バージョンを表示します。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	登録／更新メッセージ		文字	登録／更新メッセージを表示する		
2	旧バージョンメッセージ		文字	バージョン変更した場合のみ表示する		バージョン変更有の場合

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	メニューへ戻る					「4.2」参照		javascript

4.処理詳細

4.1 初期表示(/complete)

- ・ 登録／更新した記述規則の名前空間(URI)を表示する。
登録時
「～を登録しました。」
更新時
「～を更新しました。」
- ・ バージョンを変更した場合は、旧バージョンの名前空間(URI)を表示する。

4.2 メニューへ戻るを押下する

- ・ A-02 メニュー画面に遷移する。

画面説明

画面No.	画面名称
C-11	ターム検索

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

ターム検索

メニューへ戻る

タイプ	プロパティ ▼
語彙名前空間 (URI)	dc:http://purl.org/dc/terms/ ▼
クラス／プロパティ	
ラベル	

検索

名前空間(URI)	ラベル	タイプ	コメント
dc:title	タイトル	http://www.w3.org/XXX#Property	リソースに与えられた名前
dc:creator	作成者	http://www.w3.org/XXX#Property	リソースの内容に主たる責任を...
dc:subject	概要	http://www.w3.org/XXX#Property	リソースのトピック

2. 処理概要

語彙定義に登録されているタームを検索し、
検索条件に該当する一覧を表示します。
検索結果が100件を超える場合は、
検索条件の絞り込みのメッセージを表示する。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	タイプ	プルダウン		未選択			いずれか必須	(未選択) クラス プロパティ その他			選択肢は設定ファイル より取得する
2	語彙名前空間(URI)	プルダウン		未選択			いずれか必須	(未選択)も含める	「4.9」参照	語彙定義管理テーブル.デフォルト接頭辞 語彙定義管理テーブル.語彙定義URI	標準語彙、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙とする
3	クラス/プロパティ	テキスト					いずれか必須				完全一致
4	ラベル	テキスト					いずれか必須				部分一致

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	名前空間(URI)	○	文字	語彙の名前空間(URI)を表示する	rdf:resource	
2	ラベル		文字	語彙のラベルを表示する	rdfs:label	
3	タイプ		文字	語彙のタイプを表示する	rdf:type	
4	コメント		文字	語彙のコメントを表示する	rdfs:comment	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	(テーブルヘッダ)	アクティブ				「4.3」参照		Ajax
2	名前空間(URI)	アクティブ				「4.3」参照	(/show/term/view/{URI})	
3	検索	アクティブ				「4.4」参照	TermAction.search	
4	メニューへ戻る	アクティブ				「4.5」参照		

4.処理詳細

4.1 初期表示

- ・ 語彙定義管理テーブルから登録されている最新の語彙定義を取得する。
標準語彙(登録組織ID=標準語彙)、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙の順でプルダウンを表示する。(URI昇順でソート)
- ・ タイプを設定ファイルから取得し、設定する。

4.2 検索を押下する

- ・ 検索条件でjena検索し、検索結果を取得する。
- ・ 検索結果が100件を超える場合は、メッセージを表示し、100件のみ表示する。
「検索結果が100件を超えています。検索条件を指定し、検索結果を絞り込んでください。」
- ・ 検索結果を検索結果一覧に設定する。
デフォルトは、名前空間(URI)でソート(昇順)

4.3 テーブルヘッダリンクを押下する

- ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。

4.4 名前空間(URI)を押下する

- ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.5 メニューへ戻るを押下する

- ・ メニューへ戻る。

画面説明

画面No.	画面名称
C-12	記述規則一覧

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

記述規則一覧

[メニューへ戻る](#)

登録組織	〇〇図書館 ▼
利用語彙定義	dc:http://purl.org/dc/terms/ ▼ ※選択した語彙定義を利用している記述規則

[検索](#)
[新規記述規則作成](#)
[削除](#)

選択	記述規則名	記述内容	登録組織	作成日	
☐	〇〇文書館スキーマ	文書の記述に用いる	〇〇文書館	2010-06-01	流用して記述規則作成
☐	××図書館の蔵書スキーマ	蔵書の記述に用いる	××図書館	2010-07-01	流用して記述規則作成
☐	▲▲書店の雑誌スキーマ	雑誌の記述に用いる	▲▲書店	2010-08-01	流用して記述規則作成
☐	□□新聞社の記事スキーマ	記事の記述に用いる	□□新聞社	2010-09-01	流用して記述規則作成

2. 処理概要

登録済みの記述規則を一覧で表示します。
 新規に記述規則の作成、流用して記述規則の作成、
 ログインユーザが所属する登録組織の場合は、
 記述規則名をクリックすると、記述規則を
 編集することが可能です。
 また、選択して削除した場合、旧バージョンが
 存在する場合は、旧バージョンに置き換えます。
 旧バージョンが存在しない場合は、完全に記述規則
 を削除します。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	登録組織	プルダウン		ログイン者の登録組織、記述規則管理テーブルない場合は、未選択			登録組織と利用語彙定義のどちらか必須			グループ管理テーブル.グループ名 記述規則管理テーブル.登録組織ID	記述規則管理テーブルにある登録組織IDの登録組織。 先頭に「未選択」を追加
2	利用語彙定義	プルダウン		未選択			登録組織と利用語彙定義のどちらか必須			語彙定義管理テーブル.語彙定義URI	標準語彙、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙とする 先頭に「未選択」を追加
3	選択	チェック									記述規則削除用

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	記述規則名	○	文字	登録済の記述規則を表示します。 リンクをクリックすると、記述規則の内容を表示します。	reg:label	
2	記述内容		文字	登録済の記述規則の記述内容表示します。	reg:comment	
3	登録組織		文字	登録済の記述規則の登録組織を表示します。	reg:creator	グループ名を取得し、登録組織を表示する
4	作成日		文字	登録済の記述規則の作成日付を表示します。	reg:created	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	メニューへ戻る	アクティブ				「4.8」参照		javascript
2	検索	アクティブ				「4.2」参照	DescriptionAction.doSerch	
3	新規記述規則作成	アクティブ				「4.3」参照	DescriptionAction.doCreate	

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
4	削除	アクティブ		Confirm	本当に削除してよろしいですか？ 旧バージョンが存在する場合は、 旧バージョンに置き換えます。	「4.4」参照	DescriptionAction.doDelete (/doDelete/{URI})	
5	(ヘッダ)	アクティブ				「4.8」参照		Ajax
6	記述規則名	アクティブ				「4.5」参照	DescriptionAction.edit (/edit/{URI}) or (/show/description/view/{URI})	javascript
7	流用して記述規則作成	アクティブ				「4.6」参照	DescriptionAction.doCreateCopy	

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ グループ管理テーブルからグループ情報を取得する
- ・ 記述規則管理テーブルを検索し、登録組織IDの一覧を取得し、グループ情報で、登録組織を表示する。
- ・ ログインユーザの登録組織がない場合、未選択とする。
- ・ ログインユーザの登録組織がある場合、登録組織を選択済とする。
- ・ 語彙定義管理テーブルから登録されている最新の語彙定義を取得する。
「未選択」を先頭に追加。標準語彙(登録組織ID=標準語彙)、ログイン者の登録組織の語彙、その他の語彙の順で利用語彙定義プルダウンを表示する。(各URIの昇順でソート)
- ・ 記述規則管理テーブルからログイン者の登録されている最新の記述規則を取得する。
- ・ 記述規則をjenaで取込、一覧項目を表示する。(登録組織の昇順)
記述規則名にリンクを設定
自組織、管理者の場合
 オリジナルファイルがある場合 D-02 記述規則参照画面のリンクを設定
 オリジナルファイルがない場合 C-03 記述規則編集画面のリンクを設定
他組織の場合は、D-02 記述規則参照画面のリンクを設定

4.2 検索を押下する

- ・ 登録組織プルダウン、利用語彙定義プルダウンの検索条件で、登録済み記述規則の最新バージョンを取得する。
- ・ 記述規則をjenaで取込、一覧項目を表示する。(登録組織の昇順)
記述規則名にリンクを設定
自組織、管理者の場合
 オリジナルファイルがある場合 D-02 記述規則参照画面のリンクを設定
 オリジナルファイルがない場合 C-03 記述規則編集画面のリンクを設定
他組織の場合は、D-02 記述規則参照画面のリンクを設定

4.3 新規記述規則作成を押下する

- ・ C-13 記述規則名前空間設定画面へ遷移する。

4.4 削除を押下する

- ・ チェックボックスが未選択の場合、エラーメッセージを表示する。
「記述規則が選択されていません。」
- ・ チェックした記述規則が登録組織以外の場合は、エラーメッセージを表示する。
「選択した記述規則は、異なる登録組織が含まれるため、削除することができません。」
- ・ 確認メッセージを表示する。
「本当に削除してよろしいですか？」
旧バージョンが存在する場合は、旧バージョンに置き換えます。」
- ・ 「はい」を押下した場合
記述規則スキーマから選択した記述規則(名前空間URI)を削除する。
記述規則メタデータスキーマから選択した記述規則(名前空間URI)を削除する。
記述規則管理テーブルから選択した記述規則(名前空間URI)の最新バージョンを削除する。
記述制約管理テーブルから選択した記述規則(名前空間URI)の最新バージョンを削除する。
記述規則管理テーブルから選択した記述規則(名前空間URI)の前バージョンを取得する。
取得できた場合は、RDF/XMLを取得し、記述規則スキーマに最新として登録する。また、メタデータ部分を記述規則メタデータスキーマに登録する。
取得できない場合は、そのまま。
- ・ 記述規則一覧を再描画する。

4.5 記述規則名を押下する

- ・ ログインユーザの登録組織であれば、C-03 記述規則編集画面へ遷移する。
- ・ 登録組織でなければ、D-02 記述規則参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refDescription」にする。

4.処理詳細

4.6 流用して記述規則作成を押下する

- ・ C-13 記述規則名前空間設定画面へ遷移する。

4.7 テーブルヘッダリンクを押下

- ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。

4.8 メニューへ戻るを押下する

- ・ メニューへ戻る

画面説明

画面No.	画面名称
C-13	記述規則名前空間設定

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

記述規則名前空間指定

設定

戻る

登録組織 ※

〇〇図書館 ▼

記述規則URI ※

/http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample

2. 処理概要

C-12 記述規則一覧から、新規記述規則作成、流用して記述規則作成時に遷移します。
管理者の場合は、登録組織を選択すると登録組織の基底URIをデフォルト表示します。
ログイン者の場合は、ログイン者の基底URIをデフォルト表示します。
記述規則URIを入力し、設定します。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	登録組織	プルダウン	○							グループ管理テーブル.グループ名	管理者の場合、選択 その他はログイン組織 でラベル表示
2	記述規則URI	テキスト	○			1000	URLチェック			グループ管理テーブル.基底URI	登録組織の基底URIを デフォルト表示

(2) 出力項目

なし

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	設定	アクティブ				「4.2」参照		
2	戻る	アクティブ				「4.3」参照	history.back()	javascript

4.処理詳細

4.1 初期表示

- ・ グループ管理テーブルから、登録組織名のリストを取得する。
- ・ ログインユーザに管理権限がない場合は、登録組織プルダウンをログインユーザの登録組織で固定

4.2 設定を押下する

- ・ バリデータチェックを行う。(テキストが未入力の場合)
- ・ すでに登録されているURIである場合は、エラーメッセージを表示する。
「すでに登録されているURIのため、登録できません。」

【流用して記述規則作成】

- ・ 流用する記述規則のRDFをC-03 記述規則編集画面へ引き継ぐ。
- ・ エラーがなければ、C-03 記述規則編集画面に遷移する。

4.3 登録組織を選択する

- ・ 登録組織の基底URIを記述規則URIに設定する。

4.3 戻るを押下する

- ・ `history.back()`で、C-12 記述規則一覧に戻る。

画面説明

画面No.	画面名称
D-01	記述規則検索一覧

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

2. 処理概要

記述規則検索一覧

[メニューへ戻る](#)

登録組織	〇〇図書館 ▼
利用語彙定義	dc:http://purl.org/dc/elements/1.1 ▼ ※選択した語彙定義を利用している記述規則
検索	

記述規則名	記述内容	登録組織	作成日
〇〇文書館スキーマ	文書の記述に用いる	〇〇文書館	2010-08-10
××図書館の蔵書スキーマ	蔵書の記述に用いる	××図書館	2010-09-10
▲▲書店の雑誌スキーマ	雑誌の記述に用いる	▲▲書店	2010-10-10
□□新聞社の記事スキーマ	記事の記述に用いる	□□新聞社	2010-11-10

登録済みの記述規則を一覧で表示します。
記述規則を登録組織、利用語彙定義で検索し、
表示することが可能です。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	登録組織	プルダウン		未選択			登録組織と利用語彙定義のどちらか必須			グループ管理テーブル.グループ名 記述規則管理テーブル.登録組織ID	記述規則管理テーブルにある登録組織IDの登録組織。先頭に「未選択」を追加
2	利用語彙定義	プルダウン		未選択			登録組織と利用語彙定義のどちらか必須			語彙定義管理テーブル.語彙定義URI	標準語彙、その他の語彙とする 先頭に「未選択」を追加

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	記述規則名	○	文字	登録済の記述規則を表示します。 リンクをクリックすると、記述規則の内容を表示します。	reg:title	
2	記述内容		文字	登録済の記述規則の記述内容表示します。	reg:comment	
3	登録組織		文字	登録済の記述規則の登録組織を表示します。	reg:creator	グループ名を取得し、登録組織を表示する
4	作成日		文字	登録済の記述規則の作成日付を表示します。	reg:created	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	メニューへ戻る／戻る	アクティブ				「4.5」参照 「4.6」参照		javascript
2	検索	アクティブ				「4.2」参照	DescriptionAction.doSerch	
3	(ヘッダ)	アクティブ				「4.4」参照		Ajax
4	記述規則名	アクティブ				「4.3」参照	(/show/description/view/{URI})	javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ グループ管理テーブルからグループ情報を取得する
- ・ 記述規則管理テーブルを検索し、登録組織IDの一覧を取得し、グループ情報で、登録組織を表示する。
- ・ 語彙定義管理テーブルから登録されている最新の語彙定義を取得する。
「未選択」を先頭に追加。標準語彙(登録組織ID=標準語彙)、その他の語彙の順で利用語彙定義プルダウンを表示する。(各URIの昇順でソート)
- ・ メニューからの場合は、メニューへ戻るボタン、語彙定義検索一覧からの場合は、戻るボタンを表示。

4.2 検索を押下する

- ・ 登録組織プルダウン、利用語彙定義プルダウンの検索条件で、登録済み記述規則の最新バージョンを取得する。
- ・ 記述規則をjenaで取込、一覧項目を表示する。
記述規則名にリンクを設定
D-02 記述規則参照画面のリンクを設定

4.3 記述規則名を押下する

- ・ D-02 記述規則参照画面に遷移する。

4.4 テーブルヘッダリンクを押下

- ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。

4.5 メニューへ戻るを押下する

- ・ メニューへ戻る

4.6 戻るを押下する

- ・ `history.back()`で、D-05 語彙定義検索一覧へ戻る。

画面説明

画面No.	画面名称
D-02	記述規則参照

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

2. 処理概要

記述規則参照

RDF/XML出力	Turtle出力	TopicMaps出力	オリジナル出力
-----------	----------	-------------	---------

戻る

メタデータRDF生成(CSV)	メタデータ変換(DC)
-----------------	-------------

名前空間 (URI)	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample
バージョン	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample?20101101 過去のバージョン
バージョン情報	第1.1版
タイトル	〇〇図書館のスキーマ
コメント	文書の記述に用いる
作成者	国立国会図書館
作成日	2010-06-01
参照設定	参照設定

ラベル	プロパティ/クラス	値域	記述内容	出現回数制		値制約
書誌ID	foaf:Document		文書ID	1	1	nd books:
タイトル	dcterms:title	rdfs:Literal	作品のタイトル	0		rdfs:Literal
作者	dcterms:creator	dcterms:Agent	作品の作者	1	1	#Agent
テーマ	dcterms:subject		作品のテーマ	0	5	dcnd :NDLSH

記述規則(構造体)

ID	タイトル	コメント
Agent	著者情報	著者情報 (子レコード記述規則を表示)

メタデータ基盤システムで利用する記述規則を参照表示します。
 記述規則のRDF/XML形式、Turtle形式、TopicMaps形式オリジナルの出力を行うことができます。
 また、現在の表示内容の記述規則でCSV形式で作成されたメタデータインスタンスの確認、RDF生成、メタデータ変換(DC)を行うことができます。

3.項目説明

(1) 入力項目

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	名前空間(URI)		文字	記述規則のベースURI	名前空間URI	
2	バージョン		文字	記述規則のベースURIのバージョン		
3	過去のバージョン	○	文字	記述規則バージョン一覧へ遷移する		
4	バージョン情報		文字	記述規則のバージョン情報	reg:version	
5	タイトル		文字	記述規則のタイトル	reg:title	
5	コメント		文字	記述規則のコメント	reg:comment	
6	作成者		文字	記述規則の作成者	reg:creator	
7	作成日		文字	記述規則の作成日	reg:created	
記述規則						
8	ラベル(ID)	○	文字	reg:idFieldを表示する reg:idFieldない場合は、(レコードIDなし)を表示し、リンクにしない。	reg:idField	タイプがIDの場合のみ
9	プロパティ/クラス(ID)	○	文字	IDのクラスを表示する	dsp:resourceClass	タイプがIDの場合のみ
10	値域(ID)		文字	空白		
11	記述内容(ID)		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	タイプがIDの場合のみ
12	出現回数制約(最小)(ID)		文字	1を表示する IDがない場合は、空		タイプがIDの場合のみ
13	出現回数制約(最大)(ID)		文字	1を表示する IDがない場合は、空		タイプがIDの場合のみ
14	値制約(ID)		文字	名前空間を表示する	reg:resourceNsURI	タイプがIDの場合のみ

3.項目説明

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
15	ラベル	○	文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
16	プロパティ/クラス	○	文字	プロパティを接頭辞付で表示する	owl:onProperty	
17	値域	○	文字	プロパティの値域を表示する。		
18	記述内容		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	
19	出現回数制約(最小)		文字	出現回数の最小値を設定	owl:minQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality dsp:cardinalityNote	①dsp:cardinalityNoteの場合、「あれば必須」、「推奨」のリテラルを表示(検証時は任意) ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:minQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
20	出現回数制約(最大)		文字	出現回数の最大値を設定	owl:maxQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality	①dsp:cardinalityNoteの場合表示なし ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:maxQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
21	値制約	○	文字	リテラル値、実体値の内容を表示する。	値制約がリテラル値の場合は、 owl:onDataRange 実体値の場合は、owl:onClass	
記述規則構造化						
22	ID	○	文字	プロパティのラベルを表示する	owl:Class	
23	タイトル		文字	構造化のタイトルを表示する	rdfs:label	
24	コメント		文字	構造化のコメントを表示する	rdfs:comment	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	RDF/XML出力	アクティブ				「4.14」参照	DescriptionAction.doDownload RdfXml	
2	Trurtle出力	アクティブ				「4.13」参照	DescriptionAction.doDownload Trurtle	
3	TopicMaps出力	アクティブ				「4.12」参照	DescriptionAction.doDownload TopicMaps	
4	オリジナル出力	アクティブ	オリジナルファイルがある場合は押下可			「4.11」参照	DescriptionAction.doDownload Original	

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
5	メタデータRDF生成(CSV)	アクティブ				「4.9」参照	DescriptionAction.doMakeMeta	
6	メタデータ変換(DC)	アクティブ				「4.10」参照	DescriptionAction.doChangeMetaDc	
7	過去バージョン	新規登録時は 非アクティブ				「4.2」参照	(/show/description/version/{URI})	javascript
8	参照	アクティブ				「4.3」参照	DescriptionAction.reference	javascript
記述規則								
9	ラベル	アクティブ				「4.4」参照	記述制約IDの場合 DescriptionAction.editId (/editId/{URI(MAIN)}) それ以外 DescriptionAction.edit (/edit/{URI})	javascript
10	プロパティ/クラス	アクティブ				「4.5」参照	(/regist/term/view/{URI})	
11	値域	アクティブ				「4.6」参照	(/regist/term/view/{URI})	
12	値制約	アクティブ				「4.7」参照	(/regist/term/view/{URI}) 記述規則(構造化)の場合 DescriptionAction.editStructure (/editStructure/{URI})	
13	ID	アクティブ				「4.8」参照	DescriptionAction.editStructure (/editStructure/{URI})	javascript
14	閉じる／戻る	アクティブ				「4.15」参照 「4.16」参照		一般公開は、戻る。 それ以外は閉じる。

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ 記述規則管理テーブルから、RDF/XMLファイルを取得し、jenaで読み込む。
- ・ オリジナルファイルがない場合は、オリジナル出力ボタンを押下不可。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
- ・ jenaから参照設定(名前空間)情報を取得する。
- ・ jenaから記述規則情報を取得する。
- ・ jenaから記述規則(構造化)情報を取得する。
- ・ 一般公開メニューからの場合は、戻るボタン、それ以外の場合は、閉じるボタンを表示。
- ・ 画面を表示する

4.2 過去のバージョンを押下する

- ・ C-08 記述規則バージョン一覧画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「desVersion」にする。

4.3 参照設定を押下する

- ・ C-07 参照設定画面をモーダルダイアログ(参照モード)で表示する。

4.4 ラベルを押下する

【記述制約IDの場合】

- ・ D-04 記述制約参照画面(記述制約IDモード)をモーダルダイアログで表示する。

【それ以外】

- ・ D-04 記述制約参照画面をモーダルダイアログで表示する。

4.5 プロパティ/クラスを押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.6 プロパティ/クラスを押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.7 値制約を押下する

- ・ 記述制約(構造化)エンティティの場合
D-03 記述規則(構造化)参照画面をモーダルダイアログで表示する。
- ・ クラスプロパティの場合
D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.8 IDを押下する

- ・ D-03 記述規則(構造化)参照画面をモーダルダイアログで表示する。
※設定後、記述規則(構造化)に反映

4.9 メタデータRDF生成(CSV)を押下する

- ・ E-03 メタデータRDF生成(CSV)画面をモーダルダイアログで表示する。
※入力CSVからメタデータインスタンスを生成

4.10 メタデータ変換(DC)を押下する

- ・ F-03 メタデータ変換(DC)画面をモーダルダイアログで表示する。
※指定形式の入力メタデータインスタンスを指定形式の出力メタデータインスタンス(DC)に変換します。

4.11 オリジナル出力を押下する

- ・ 語彙定義管理テーブルからオリジナルファイルを取得し、ファイル出力する。

4. 処理詳細

4.12 TopicMaps出力を押下する

- ・ 画面情報をjenaに設定し、記述規則をTopicMapsで出力する。

4.13 Turtle出力を押下する

- ・ 画面情報をjenaに設定し、記述規則をTopicMapsで出力する。

4.14 XML/RDF出力を押下する

- ・ 画面情報をjenaに設定し、記述規則をRDFで出力する。

4.15 閉じるを押下する

- ・ 画面を閉じる。

4.16 戻るを押下する

- ・ `history.back()`で戻る。

画面説明

画面No.	画面名称
D-03	記述規則(構造化)参照

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

記述規則(構造化)参照

戻る

ID	Agent
タイトル	著者
コメント	著者記述

ラベル	プロパティ	値域	記述内容	出現回数制		値制約
作者	dcterms:creator	dcterms:Agent	作者	0		rdfs:Literal
作者タイトル	dcterms:title		作者タイトル	1	1	#Agent
テーマ	dcterms:subject		作者テーマ	0	1	dcnd1:NDLSH

2. 処理概要

記述規則の構造化項目の記述制約
(Statement Template)を参照します。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	ID		文字	IDを表示する	owl:Class	
2	タイトル		文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
3	コメント		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	
記述規則						
4	ラベル	○	文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
5	プロパティ	○	文字	プロパティを表示する	owl:onProperty	
6	値域	○	文字	プロパティの値域を表示する		語彙定義スキーマのプロパティのrangeから取得
7	記述内容		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	
8	出現回数制約(最小)		文字	出現回数の最小値を設定	owl:minQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality dsp:cardinalityNote	①dsp:cardinalityNoteの場合、「あれば必須」、「推奨」のリテラルを表示(検証時は任意) ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:minQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
9	出現回数制約(最大)		文字	出現回数の最大値を設定	owl:maxQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality	①dsp:cardinalityNoteの場合表示なし ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:maxQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
10	値制約	○		リテラル値、実体値の内容を表示する。	値制約がリテラル値の場合は、owl:onDataRange 実体値の場合は、owl:onClass	

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	閉じる／戻る	アクティブ				「4.6」参照 「4.7」参照		一般公開は、戻る。 それ以外は閉じる。
記述規則								
1	ラベル	アクティブ				「4.2」参照	DescriptionAction.edit (/edit/{URI})	javascript
2	プロパティ	アクティブ				「4.3」参照	(/regist/term/view/{URI})	
3	値域	アクティブ				「4.4」参照	(/regist/term/view/{URI})	
4	値制約	アクティブ				「4.5」参照	(/regist/term/view/{URI}) 記述規則(構造化)の場合 DescriptionAction.refStructure (/refStructure{URI})	javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ D-02 記述規則参照画面の構造化項目データを取得し、jenaに設定する。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
- ・ jenaから記述規則情報(構造化)を取得する。
- ・ 画面を表示する
- ・ メタデータを画面上部に表示する
メタデータが存在しない場合は、空を表示
- ・ 構造化内の記述制約(StatementTemplate)一覧を表示する

4.2 ラベルを押下する

- ・ D-04 記述制約参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refStatement」にする。

4.3 プロパティを押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.4 値域を押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.5 値制約を押下する

- ・ 記述制約(構造化)エンティティの場合
D-03 記述規則(構造化)参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refStructure」にする。
- ・ クラスプロパティの場合
D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.6 閉じる

- ・ 画面を閉じる

4.7 戻るを押下する

- ・ history.back()で戻る。

画面説明

画面No.	画面名称
D-04	記述制約参照

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

記述制約参照

[戻る](#)

記述制約URI	http://sample.co.jp/aaa#MAIN-著者		
ラベル	著者		
プロパティ	dc:creator		
値制約	foaf:Agent		
出現回数制約	推奨		
	最小:0	最大:	1
記述内容	作品の著者		
DCマッピング	dc:creator		
関連記述制約バー	http://sample.co.jp/xxx?20101206		
関連記述制約URI	http://sample.co.jp/xxx#MAIN-著者		

2. 処理概要

記述制約 (Statement Template) の詳細を参照表示します。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	記述制約URI		文字	記述制約のURIを表示する		
2	ラベル		文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
3	プロパティ		文字	プロパティを表示する(接頭辞:プロパティ)	owl:Property	記述制約の場合
4	クラス		文字	クラスを表示する		記述制約IDの場合
5	値制約		文字	値制約を表示する	owl:onClass owl:onDataRange	内容をそのまま表示する
6	URIリソース		文字	URIリソースを表示する	dsp:resourceNsURI	内容をそのまま表示する
7	出現回数制約		文字	出現回数を表示する	dsp:cardinalityNote 最小: owl:minQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality 最大: owl:maxQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality	記述制約IDの場合場合は、1,1
8	記述内容		文字	記述内容を表示する	rdfs:comment	
9	DCマッピング		文字	DCマッピングを表示する 記述制約IDの場合は表示しない	記述制約管理テーブル.DCマッピング	
10	関連記述制約バージョンURI		文字	関連記述制約バージョンURIを表示する 記述制約IDの場合は表示しない	記述制約管理テーブル.関連記述制約バージョンURI	
11	関連記述制約URI		文字	関連記述制約URIを表示する 記述制約IDの場合は表示しない	記述制約管理テーブル.関連記述制約URI	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	閉じる／戻る	アクティブ				「4.2」参照 「4.3」参照		一般公開は、戻る。 それ以外は閉じる。

4. 処理詳細

4.1 初期表示

【記述制約】

- ・ タイトルを「記述制約参照」と表示する。

【記述制約ID】

- ・ タイトルを「記述制約ID参照」と表示する。
- ・ 選択されたURIから、jenaより記述規約情報を取得する。
- ・ 画面を表示する。

4.2 閉じるを押下する

- ・ 画面を閉じる

4.3 戻るを押下する

- ・ `history.back()`で戻る。

画面説明

画面No.	画面名称
D-05	語彙定義検索一覧

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

2. 処理概要

語彙定義検索一覧

メニューに戻る

登録組織	〇〇図書館 ▼
クラス／プロパティ	プロパティ ▼ title ※クラス／プロパティが含まれる語彙定義

検索

選択したRDF/XMLを出力

選択	語彙定義名	コメント	URI	語彙定義利 用	作成日
☐	国立国会図書館が定めたメタデータ記述語彙	DC-NDLに関するお問い合わせは	http://ndl.go.jp/dcndl/term	15	2010-06-01
☐	××図書館が定めたメタデータ記述語彙		http://XXX/terms/	10	2010-06-01
☐	▲▲図書館が定めたメタデータ記述語彙		http://YYY/terms/	5	2010-06-01
☐					
☐					
☐					
☐					
☐					
☐					
☐					
☐					
☐					
☐					
☐					
☐					
☐					

検索条件のクラス／プロパティを利用している語彙定義の一覧を表示します。
また、その語彙定義を利用している記述規則の利用数を表示します。
チェックボックスで選択した語彙定義をRDF/XML出力します。
(オリジナルファイルではない)

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	登録組織	プルダウン		未選択						ユーザ管理テーブル.グループ名	登録組織すべて表示先頭に「未選択」を追加
2	クラス／プロパティ(タイプ)	プルダウン		未選択			未選択以外の場合のみ、クラス／プロパティを入力可	(未選択)すべてクラスプロパティ			選択肢は設定ファイルより取得する
3	クラス／プロパティ	テキスト									未選択の場合は、非アクティブ
4	選択	チェック									RDF/XML出力用

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	語彙定義名	○	文字	登録済の語彙定義名を表示します。 リンクをクリックすると、語彙定義の内容を表示します。	reg:label	
2	コメント		文字	登録済のコメント表示します。	reg:comment	
3	URI		文字	登録済の語彙定義の名前空間URIを表示します。	語彙定義管理テーブル.語彙定義URI	
4	語彙定義利用記述規則数	○	数字	語彙定義を利用している記述規則の数を表示します。 リンクをクリックすると、選択された語彙定義で、D-01 記述規則検索一覧を表示します。	該当語彙定義が、記述規則スキーマの接頭辞設定されている数	
5	作成日		文字	登録済の語彙定義の作成日付を表示します。	reg:created	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	(ヘッダ)	アクティブ				「4.7」参照		Ajax
2	語彙定義名	アクティブ				「4.3」参照	/show/vocabulary/view/{URI})	javascript
3	語彙定義利用記述規則数	アクティブ				「4.4」参照	/show/vocabulary/view/{URI})	javascript

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
4	メニューに戻る	アクティブ				「4.8」参照		javascript
5	検索	アクティブ				「4.5」参照	VocabularyAction.doSearch	
6	選択したRDF/XMLを出力	1行もない場合は、非アクティブ				「4.6」参照	VocabularyAction.doSelectDownload	zipファイルでダウンロードする

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ ユーザ管理情報テーブルから登録組織情報を取得し、登録組織に設定する。
- ・ 画面を表示する。

4.2 クラス／プロパティ(タイプ)を選択する

- ・ 未選択の場合は、クラス／プロパティの入力フィールドを非アクティブ
- ・ 未選択以外の場合は、クラス／プロパティの入力フィールドをアクティブ

4.3 語彙定義名を押下する

- ・ D-06 語彙定義参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refvocabulary」にする。

4.4 語彙定義利用記述規則数を押下する

- ・ 選択された語彙定義のURIをhiddenに設定する
- ・ D-01 記述規則検索一覧を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「descriptionList」にする。

4.5 検索

- ・ 検索条件の登録組織で語彙定義管理テーブルを検索する。
該当する語彙定義URIの語彙定義スキーマから該当するクラス／プロパティを保持する語彙定義を一覧に表示する
検索条件に該当するクラス／プロパティを保持する語彙定義を一覧に表示する。
(クラス／プロパティは完全一致検索)
- ・ 記述規則スキーマから、上記で該当した語彙定義を利用している記述規則の利用数を取得する。
- ・ 画面を表示する。

4.6 選択したRDF/XMLを出力

- ・ 選択した語彙定義のURIから、語彙定義管理テーブルを検索し、RDF/XMLファイルを取得する。
ファイル名をデフォルト接頭辞.rdfとして、ファイル出力し、zipファイルとする。
zipファイル名は、設定ファイル(vocabulary.zip)から取得する。
- ・ zipファイルを出力する。

4.7 テーブルヘッダリンクを押下

- ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。

4.8 メニューへ戻るを押下する

- ・ メニューへ戻る

画面説明

画面No.	画面名称
D-06	語彙定義参照

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

2. 処理概要

語彙定義参照

RDF/XML出力	Turtle出力	TopicMaps出力	オリジナル出力	戻る
名前空間(接頭辞)	dcndl ※標準の接頭辞			
名前空間(URI)	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/			
バージョン	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/?20101001 過去のバージョン			
バージョン情報	第1.1版			
タイトル	国立国会図書館が定めたメタデータ記述語彙			
コメント	DC-NDLに関するお問い合わせは、～までお願いいたします。			
作成者	国立国会図書館			
作成日	2010-06-01			
その他	dcterms:creator foaf:Agent rdf:value 国立国会図書館 dcndl:transcription コクリツ コッカイ トショカン dcterms:issued			

クラス

ローカル名	ラベル	上位クラス	コメント
datarange	date range		2つの日付によって示される期間
period	period	http://aa/XX#DateRange	期間とその文字列表現をもつクラス
actor	actor		一般(個人、グループ)クラス

メタデータ基盤システムで利用する語彙定義を参照表示します。
 語彙定義のRDF/XML形式、Turtle形式、TopicMaps形式の出力を行うことができます。
 また、ファイルアップロード後、変更がない場合はオリジナルファイルの出力を行うことができます。

プロパティ

ローカル名	ラベル	上位プロパティ	定義域	値域	DCとの関連
seriestitle	SeriesTitle				
creator	creator	dcterms:creator			dc:title
subject	subject				
dateGranted	dateGranted	dcterms:date	dc:Agent	rdfs:Literal	dc:date

その他

ローカル名	ラベル	タイプ	コメント
BSH	BSH	http://purl.org/dc/dcam/VocabularyEncodingScheme	基本件名標目表
BRNO	BRNO	http://purl.org/dc/dcam/VocabularyEncodingScheme	基本件名標目表

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	名前空間(接頭辞)		文字	語彙定義のデフォルト接頭辞	デフォルト接頭辞	
2	名前空間(URI)		文字	語彙定義のベースURI	名前空間URI	
3	バージョン		文字	語彙定義のベースURIのバージョン		
4	バージョン情報		文字	語彙定義のバージョン情報	reg:version	
5	タイトル		文字	語彙定義のタイトル	reg:title	
6	コメント		文字	語彙定義のコメント	reg:comment	
7	作成者		文字	語彙定義の作成者	reg:creator	
8	作成日		文字	語彙定義の作成日	reg:created	
9	その他		文字	特定以外のメタデータ記述	その他の記述	

クラス

10	ローカル名	○	文字	URIのローカル名を表示する	ローカル名	
11	ラベル		文字	クラスのラベルを表示する	rdfs:label	
12	上位クラス	○	文字	クラスの上位クラスを表示する	rdfs:subClassOf	
13	コメント		文字	クラスのコメントを表示する	rdfs:comment	

プロパティ

14	ローカル名	○	文字	URIのローカル名を表示する	ローカル名	
15	ラベル		文字	プロパティのラベルを表示する	rdfs:label	
16	上位プロパティ	○	文字	プロパティの上位プロパティを表示する	rdfs:subPropertyOf	
17	定義域	○	文字	プロパティの定義域を表示する	rdfs:domain	
18	値域	○	文字	プロパティの値域を表示する	rdfs:range	
19	DCとの関連		文字	関連するDCのプロパティ名を表示する		上位プロパティの関連を検索

その他

20	ローカル名	○	文字	URIのローカル名を表示する	ローカル名	
21	ラベル		文字	クラス、プロパティ以外の項目のラベルを表示する	rdfs:label	
22	タイプ	○	文字	その項目のタイプを表示する	rdf:type	
23	コメント		文字	クラス、プロパティ以外の項目のコメントを表示する	rdfs:comment	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	RDF/XML出力	アクティブ				「4.12」参照	VocabularyAction.doDownload RdfXml	
2	Trurtle出力	アクティブ				「4.13」参照	VocabularyAction.doDownload Trurtle	
3	TopicMaps出力	アクティブ				「4.14」参照	VocabularyAction.doDownload TopicMaps	
4	オリジナル出力	オリジナルファイルがなければ非アクティブ				「4.11」参照	VocabularyAction.doDownload Original	

3.項目説明

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
5	過去バージョン	アクティブ				「4.10」参照	(/show/vocabulary/version/{URI})	javascript
6	クラス／ローカル名	アクティブ				「4.2」参照	(/show/term/view/{URI})	javascript
7	クラス／上位クラス	アクティブ				「4.3」参照	(/show/term/view/{URI})	javascript
8	プロパティ／ローカル名	アクティブ				「4.4」参照	(/show/term/view/{URI})	javascript
9	プロパティ／上位プロパティ	アクティブ				「4.5」参照	(/show/term/view/{URI})	javascript
10	プロパティ／定義域	アクティブ				「4.6」参照	(/show/term/view/{URI})	javascript
11	プロパティ／値域	アクティブ				「4.7」参照	(/show/term/view/{URI})	javascript
12	その他／ローカル名	アクティブ				「4.8」参照	(/show/term/view/{URI})	javascript
13	その他／タイプ	アクティブ				「4.9」参照	(/show/term/view/{URI})	javascript
14	閉じる／戻る	アクティブ				「4.15」参照 「4.16」参照		一般公開は、戻る。 それ以外は閉じる。

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ 指定された語彙定義URIで、語彙定義管理テーブルのレコードを取得する。
- ・ 語彙定義管理テーブルからRDF/XMLファイルを取得し、jenaで読み込む。
- ・ オリジナル出力は、語彙定義管理テーブルのオリジナルファイルがnullでない場合は、利用可とする。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
- ・ jenaからクラスデータを取得する。
- ・ jenaからプロパティデータを取得する。
プロパティがシンプルDCに関連があれば、関連dcを表示する。
- ・ jenaからその他の情報を取得する。
- ・ 名前空間(接頭辞)は、語彙定義管理テーブルのデフォルト接頭辞を設定する。
- ・ ターム詳細のリンクは、語彙定義に登録されている場合は、参照パスにURLパラメータを付加する。
- ・ 画面を表示する。

4.2 クラス: ローカル名リンクを押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.3 クラス: 上位クラスを押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.4 プロパティ: ローカル名を押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.5 プロパティ: 上位プロパティを押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.6 プロパティ: 定義域を押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.7 プロパティ: 値域を押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.8 その他: ローカル名を押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.9 その他: タイプを押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.10 過去のバージョンを押下する

- ・ B-06 語彙定義バージョン一覧画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「vocVersion」にする。

4.11 オリジナル出力を押下する

- ・ 語彙定義管理テーブルからオリジナルファイルを取得し、ファイル出力する

4.12 RDF/XML出力を押下する

- ・ jenaからRDF/XMLを出力する

4.13 Turtle出力を押下する

- ・ jenaからTurtleを出力する

4. 処理詳細

4.14 TopicMaps出力を押下する

- ・ jenaからTopicMapsを出力する

4.15 閉じるを押下する

- ・ 画面を閉じる

4.16 戻るを押下する

- ・ history.back()で戻る。

画面説明

画面No.	画面名称
D-07	ターム詳細表示

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

ターム詳細表示

戻る

DateGranted

プロパティ利用一覧

名前空間 (URI)	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/dateGranted
バージョン	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/?20110215
ラベル	DateGranted
コメント	博士号の授与年月日
上位プロパティ	http://purl.org/dc/terms/date 詳細表示
定義域	http://purl.org/dc/terms/Agent 詳細表示
値域	http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#Literal 詳細表示
タイプ	http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#Property 詳細表示
その他	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/
その他	2010-6-21

2. 処理概要

指定されたURIのターム詳細を表示します。
タームの詳細を確認することができます。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	タイトル		文字	ラベルを表示する。ない場合は、ローカル名を表示する。		
2	名前空間(URI)		文字	指定された名前空間(URI)を表示する		
3	バージョン		文字	指定された基底(URI)のバージョンを表示する		
4	ラベル		文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
5	コメント		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	
6	上位プロパティ	○	文字	上位プロパティを表示する	rdfs:subPropertyOf	
7	上位クラス	○	文字	上位クラスを表示する	rdfs:subClassOf	
8	定義域	○	文字	定義域を表示する	rdfs:domain	
9	値域	○	文字	値域を表示する	rdfs:range	
10	タイプ	○	文字	タイプを表示する	rdf:type	
11	その他		文字	その他のプロパティを表示する		

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	戻る	アクティブ				「4.5」参照		javascript
2	(各項目リンク)	アクティブ				「4.3」参照	(/show/term/view/{URI})	javascript
3	プロパティ利用一覧	アクティブ	プロパティ以外は 非アクティブ 履歴から呼ばれた 場合は、非アク ティブ			「4.4」参照	(/show/statement/search/{U RI})	javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ パラメータで渡されたURIより、jenaで語彙定義スキーマからデータを取得する。
取得できない場合は、パラメータエラーとして、エラー画面に遷移する。
- ・ リンクは、語彙定義に登録されている場合は、参照パスにURLパラメータを付加する。
- ・ プロパティ以外は、プロパティ利用一覧を利用不可とする。
- ・ 取得したデータを画面に表示する。

4.2 初期表示(過去バージョン)

- ・ 遷移元の画面からフォーム設定された基底URIを取得。
(URLパラメータの基底URLと一致した場合)
 - ・ フォームに設定されているRDF/XMLから、URLパラメータのURIをjenaで、該当データを取得し、画面に設定する。
画面を表示する。
- ・ (URLパラメータの基底URLと一致しない場合)
 - ・ 語彙定義スキーマからURLパラメータのURIをjenaで、検索する。
(検索にヒットした場合)
該当データをjenaから取得し、画面に設定する。
画面を表示する。
 - ・ (検索にヒットしない場合)
「該当データが本システムに登録されていません(XXX)」XXXはURI
画面に表示する。
- ・ リンクは、再度、初期表示(過去バージョン)を呼び出す。
- ・ プロパティ以外は、プロパティ利用一覧を利用不可とする。
- ・ 取得したデータを画面に表示する。

4.3 リンクを押下する

- ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.4 プロパティ利用一覧を押下する

- ・ D-08 記述制約検索画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「statementList」にする。

4.5 戻るを押下する

- ・ history.back()で戻る。

画面説明

画面No.	画面名称
D-08	記述制約検索

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

2. 処理概要

記述制約検索(使用プロパティ)

[メニューへ戻る](#)

語彙名前空間 (URI) ※	dc : http://purl.org/dc/elements/1.1	▼
プロパティ名 ※	title	▼

☒ 下位プロパティも含める

[検索](#)

記述制約一覧

登録組織	記述規則名	記述制約名	プロパティ	記述内容	出現回数制約		値制約
〇〇美術館	〇〇美術館記述規則	タイトル	dc:title	作品のタイトル	1	1	rdfs:Literal
××図書館	××図書館記述規則	タイトル	dc:title	タイトル	0	1	#StructuredTitle
インフォコム	インフォコム記述規則	書名	iwest:title	書名	1		rdfs:Literal

プロパティ名で既存の記述規則を検索し、
該当する記述制約を一覧で表示します。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	語彙名前空間(URI)	プルダウン	○	dc	文字				「4.10」参照	語彙定義管理テーブル.デフォルト接頭辞 語彙定義管理テーブル.語彙定義URI	標準語彙、その他の語彙とする
2	プロパティ	プルダウン	○	先頭	文字					指定された語彙定義のプロパティ一覧を表示 プロパティ名の昇順でソート	
3	下位プロパティも含める	チェック		なし						rdfs:subPropertyOfに上記のプロパティが設定されているものも含める	

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	登録組織		文字	記述規則を登録した組織名を表示	記述規則URIより、記述規則メタデータスキーマから作成者を取得 (グループ情報から組織名を取得)	
2	記述規則名	○	文字	ラベルを表示する	記述規則URIより、記述規則メタデータスキーマから記述規則名を取得	
3	記述制約名	○	文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
4	プロパティ	○	文字	プロパティを語彙登録されている接頭辞付で表示する	owl:onProperty	
5	記述内容		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	
6	出現回数制約(最小)		文字	出現回数の最小値を設定	owl:minQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality dsp:cardinalityNote	①dsp:cardinalityNoteの場合、「あれば必須」、「推奨」のリテラルを表示(検証時は任意) ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:minQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
7	出現回数制約(最大)		文字	出現回数の最大値を設定	owl:maxQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality	①dsp:cardinalityNoteの場合表示なし ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:maxQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定

3.項目説明

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
8	値制約	○		リテラル値、実体値の内容を表示する。	値制約がリテラル値の場合は、 owl:onDataRange 実体値の場合は、owl:onClass	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	(テーブルヘッダ)	アクティブ				「4.3」参照		ajaxソート
2	メニューへ戻る／戻る	アクティブ				「4.8」参照 「4.9」参照		javascript
3	検索	アクティブ				「4.2」参照	StatementAction.doSerch	
4	記述規則名	アクティブ				「4.4」参照	(/show/description/view/{URI})	javascript
5	記述制約名	アクティブ				「4.5」参照	(/show/statement/view/{URI})	javascript
6	プロパティ	アクティブ				「4.6」参照	(/show/term/view/{URI})	
7	値制約	アクティブ				「4.7」参照	(/show/term/view/{URI}) 記述規則(構造化)の場合 (/show/description/viewStructure/{URI})	javascript

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ 語彙定義管理テーブルから登録されている最新の語彙定義を取得する。
標準語彙(登録組織ID=管理者)、その他の語彙の順でプルダウンを表示する。(各URIの昇順でソート)
dcをデフォルト表示する。
- ・ 語彙名前空間(URI) に選択された語彙定義のスキーマからプロパティを取得し、プルダウンに設定する。
- ・ 画面を表示する。

4.2 検索を押下する

- ・ 条件で指定されたプロパティ利用している記述制約を記述規則スキーマから取得し、一覧に表示する。(登録組織の昇順)
(関連記述規則バージョンURI、関連記述制約URIも取得しておく)
- ・ 下位プロパティも含めるチェックが有る場合、選択したプロパティのsubPropertyOfで参照しているプロパティを含める

4.3 テーブルヘッダリンクを押下する

- ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。

4.4 記述規則名を押下する

- ・ D-02 記述規則参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refDescription」にする。

4.5 記述制約名を押下する

- ・ D-04 記述制約参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refStatement」にする。

4.6 プロパティを押下する

- ・ B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.7 値制約を押下する

- ・ 記述制約(構造化)エンティティの場合
D-03 記述規則(構造化)参照画面を別ダイアログで表示する。「refStructure」にする。
- ・ クラスプロパティの場合
B-05 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.8 メニューへ戻るを押下する

- ・ メニューへ戻る

4.9 戻るを押下する

- ・ history.back()で、D-07 ターム詳細へ戻る。

4.10 語彙名前空間(URI)を選択する

- ・ 語彙名前空間(URI)を選択した場合、
Ajaxで語彙名前空間(URI)に選択されたプロパティの一覧を語彙定義スキーマから取得し、プルダウンを再表示する。

画面説明

画面No.	画面名称
D-09	キーワード検索

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

キーワード検索

[メニューへ戻る](#)

・登録されている語彙定義、記述規則から「キーワード」に該当するラベル、コメント、記述内容のテキスト項目を検索します。

タイプ	記述規則 ▼
検索区分	☒ 記述規則検索 ☐ 記述制約検索
キーワード ※	国立国会図書館が定めた

2. 処理概要

登録されている語彙定義、記述規則から「キーワード」に該当するラベル、コメント、記述内容のテキスト項目を検索します。
 検索結果は、画面下に表示します。
 タイプが記述規則の場合は、記述規則一覧or 記述制約一覧を表示します。
 検索区分によって判断します。
 タイプが語彙定義の場合は、語彙定義一覧 or ターム一覧を表示します。
 検索区分によって判断します。

キーワード検索結果

[戻る](#)

記述規則一覧

記述規則名	記述内容	登録組織	作成日
〇〇文書館スキーマ	文書の記述に用いる	〇〇文書館	2010-08-10
××図書館の蔵書スキーマ	蔵書の記述に用いる	××図書館	2010-09-10
▲▲書店の雑誌スキーマ	雑誌の記述に用いる	▲▲書店	2010-10-10
□□新聞社の記事スキーマ	記事の記述に用いる	□□新聞社	2010-11-10

キーワード検索結果

[戻る](#)

記述制約一覧

登録組織	記述規則名	記述制約名	プロパティ	記述内容	出現回数制約		値制約
〇〇美術館	〇〇美術館記述規則	タイトル	dc:title	作品のタイトル	1	1	rdfs:Literal
××図書館	××図書館記述規則	タイトル	dc:title	タイトル	0	1	#StructuredTitle
インフォコム	インフォコム記述規則	書名	iwest:title	書名	1		rdfs:Literal

キーワード検索結果

[戻る](#)

語彙一覧

語彙定義名	コメント	URL	作成日
国立国会図書館が定めたメタデータ記述語彙	DC-NDLに関するお問い合わせは～	http://ndl.go.jp/dcndl/term	2010-06-01
××図書館が定めたメタデータ記述語彙		http://XXX/terms/	2010-06-01
▲▲図書館が定めたメタデータ記述語彙		http://YYY/terms/	2010-06-01

キーワード検索結果

[戻る](#)

ターム一覧

名前空間(URL)	ラベル	タイプ	コメント
dc:title	タイトル	http://www.w3.org/XXX#Property	リソースに与えられた名前
dc:creator	作成者	http://www.w3.org/XXX#Property	リソースの内容に主たる責任を持つ人・・・
dc:subject	概要	http://www.w3.org/XXX#Property	リソースのトピック

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ	必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢	動作	DB/Jena項目	備考
1	タイプ	プルダウン		語彙定義				語彙定義 記述規則			選択肢は設定ファイルより取得する
2	検索区分	ラジオ		語彙定義の場合は、語彙定義 記述規則の場合は、記述規則検索				語彙定義の場合、語彙定義、ターム検索 記述規則の場合、記述規則検索、記述制約検索			選択肢は設定ファイルより取得する
3	キーワード	テキスト	○				2文字以上				部分一致

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
記述規則一覧						
1	記述規則名	○	文字	登録済の記述規則を表示します。 リンクをクリックすると、記述規則の内容を表示します。	reg:title	
2	記述内容		文字	登録済の記述規則の記述内容表示します。	reg:comment	
3	登録組織		文字	登録済の記述規則の登録組織を表示します。	reg:creator	グループ名を取得し、登録組織を表示する
4	作成日		文字	登録済の記述規則の作成日付を表示します。	reg:created	
記述制約一覧						
5	登録組織		文字	記述規則を登録した組織名を表示	記述規則URIより、記述規則メタデータスキーマから作成者を取得 (グループ情報から組織名を取得)	
6	記述規則名	○	文字	ラベルを表示する	記述規則URIより、記述規則メタデータスキーマから記述規則名を取得	
7	記述制約名	○	文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
8	プロパティ	○	文字	プロパティを語彙登録されている接頭辞付で表示する	owl:onProperty	
9	記述内容		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	

3.項目説明

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
10	出現回数制約(最小)		文字	出現回数の最小値を設定	owl:minQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality dsp:cardinalityNote	①dsp:cardinalityNoteの場合、「あれば必須」、「推奨」のリテラルを表示(検証時は任意) ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:minQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
11	出現回数制約(最大)		文字	出現回数の最大値を設定	owl:maxQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality	①dsp:cardinalityNoteの場合表示なし ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:maxQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
12	値制約	○		リテラル値、実体値の内容を表示する。	値制約がリテラル値の場合は、owl:onDataRange 実体値の場合は、owl:onClass	
語彙定義一覧						
13	語彙定義名	○	文字	登録済の語彙定義名を表示します。 リンクをクリックすると、語彙定義の内容を表示します。	reg:label	
14	コメント		文字	登録済のコメントを表示します。	reg:comment	
15	URI		文字	登録済の語彙定義の名前空間URIを表示します。	語彙定義管理テーブル.語彙定義URI	
16	作成日		文字	登録済の語彙定義の作成日付を表示します。	reg:created	
ターム一覧						
17	名前空間(URI)	○	文字	語彙の名前空間(URI)を表示する	rdf:resource	
18	ラベル		文字	語彙のラベルを表示する	rdfs:label	
19	タイプ		文字	語彙のタイプを表示する	rdf:type	
20	コメント		文字	語彙のコメントを表示する	rdfs:comment	

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	検索	アクティブ				「4.2」参照	KeywordAction.doSearch	
2	メニューへ戻る	アクティブ				「4.10」参照		javascript
記述規則一覧								
3	(ヘッダ)	アクティブ				「4.3」参照		Ajax
4	記述規則名	アクティブ				「4.4」参照	(/show/description/view/{URI})	javascript
記述制約一覧								
5	(ヘッダ)	アクティブ				「4.3」参照		Ajax
6	記述規則名	アクティブ				「4.4」参照	(/show/description/view/{URI})	javascript
7	記述制約名	アクティブ				「4.5」参照	(/show/statement/view/{URI})	javascript
8	プロパティ	アクティブ				「4.6」参照	(/show/term/view/{URI})	
9	値制約	アクティブ				「4.7」参照	(/show/term/view/{URI}) 記述規則(構造化)の場合 (/show/description/viewStructure/{URI})	javascript
語彙定義一覧								
10	(ヘッダ)	アクティブ				「4.3」参照		Ajax
11	語彙定義名	アクティブ				「4.8」参照	(/show/vocabulary/view/{URI})	javascript
ターム一覧								
12	(ヘッダ)	アクティブ				「4.3」参照		Ajax
13	名前空間(URI)	アクティブ				「4.9」参照	(/show/term/view/{URI})	

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ タイプに「語彙定義」「記述規則」を設定する。
- ・ タイプはデフォルト、「語彙定義」。検索区分は、「語彙定義検索」。
- ・ 画面を表示する。

4.2 検索

- ・ タイプが記述規則の場合
(記述規則一覧)
記述規則メタデータスキーマを検索する
reg:label、reg:commentをキーワードで検索する(登録組織の昇順)
(記述制約一覧)
記述規則スキーマを検索する
rdfs:label、rdfs:commentをキーワードで検索する。(登録組織の昇順)
(基底URIのものは除く)
- ・ タイプが語彙定義の場合
(語彙定義一覧)
語彙定義メタデータスキーマを検索する
reg:label、reg:commentをキーワードで検索する(URIの昇順)
(ターム一覧)
語彙定義スキーマを検索する
rdfs:label、rdfs:commentをキーワードで検索する。(URIの昇順)
(基底URIのものは除く)

画面を表示する。

4.3 テーブルヘッダリンクを押下する

- (記述規則一覧)
 - ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。
- (記述制約一覧)
 - ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。
- (語彙定義一覧)
 - ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。
- (ターム一覧)
 - ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。

4.4 記述規則名を押下する

- ・ D-02 記述規則参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refDescription」にする。

4.5 記述制約名を押下する

- ・ D-04 記述制約参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refStatement」にする。

4.6 プロパティを押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.処理詳細

4.7 値制約を押下する

- ・ 記述制約(構造化)エンティティの場合
D-03 記述規則(構造化)参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refStructure」にする。
- ・ クラスプロパティの場合
D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.8 語彙定義名を押下する

- ・ D-06 語彙定義参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refVocabulary」にする。

4.9 名前空間(URI)を押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.10 メニューへ戻るを押下する

- ・ メニューへ戻る

画面説明

画面No.	画面名称
D-10	キーワード検索結果

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

キーワード検索結果
戻る D-09キーワード検索と統合

2. 処理概要

キーワード検索の検索結果を表示します。
D-09 キーワード検索で、
タイプが記述規則の場合は、記述規則一覧と
記述制約一覧を表示します。
タイプが語彙定義の場合は、語彙定義一覧と
ターム一覧を表示します。

キーワード検索結果

[戻る](#)

語彙一覧

語彙定義名	コメント	URL	作成日
国立国会図書館が定めたメタデータ記述語彙	DC-NDLに関するお問い合わせは～	http://ndl.go.jp/dcndl/term	2010-06-01
××図書館が定めたメタデータ記述語彙		http://XXX/terms/	2010-06-01
▲▲図書館が定めたメタデータ記述語彙		http://YYY/terms/	2010-06-01

キーワード検索結果

[戻る](#)

ターム一覧

名前空間(URL)	ラベル	タイプ	コメント
dc:title	タイトル	http://www.w3.org/XXX#Property	リソースに与えられた名前
dc:creator	作成者	http://www.w3.org/XXX#Property	リソースの内容に主たる責任を持つ人・・・
dc:subject	概要	http://www.w3.org/XXX#Property	リソースのトピック

3.項目説明						
(1) 入力項目 なし						
(2) 出力項目						
No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
記述規則一覧						
1	記述規則名	○	文字	登録済の記述規則を表示します。 リンクをクリックすると、記述規則の内容を表示します。	reg:title	
2	記述内容		文字	登録済の記述規則の記述内容表示します。	reg:comment	
3	登録組織		文字	登録済の記述規則の登録組織を表示します。	reg:creator	グルー名を取得し、登録組織を表示する
4	作成日		文字	登録済の記述規則の作成日付を表示します。	reg:created	
記述制約一覧						
5	登録組織		文字	記述規則を登録した組織名を表示	記述規則URIより、記述規則メタデータスキーマから作成者を取得 (グループ情報から組織名を取得)	
6	記述規則名	○	文字	ラベルを表示する	記述規則URIより、記述規則メタデータスキーマから記述規則名を取得	
7	記述制約名	○	文字	ラベルを表示する	rdfs:label	
8	プロパティ	○	文字	プロパティを語彙登録されている接頭辞付で表示する	owl:onProperty	
9	記述内容		文字	コメントを表示する	rdfs:comment	
10	出現回数制約(最小)		文字	出現回数の最小値を設定	owl:minQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality dsp:cardinalityNote	①dsp:cardinalityNoteの場合、「あれば必須」、「推奨」のリテラルを表示(検証時は任意) ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:minQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
11	出現回数制約(最大)		文字	出現回数の最大値を設定	owl:maxQualifiedCardinality owl:qualifiedCardinality	①dsp:cardinalityNoteの場合表示なし ②owl:qualifiedCardinalityの場合は、最小最大に同一値を設定。 ③owl:maxQualifiedCardinality ④すべての記述がない場合は、最小0 最大-を指定
12	値制約	○		リテラル値、実体値の内容を表示する。	値制約がリテラル値の場合は、 owl:onDataRange 実体値の場合は、owl:onClass	

3.項目説明

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
語彙定義一覧						
13	語彙定義名	○	文字	登録済の語彙定義名を表示します。 リンクをクリックすると、語彙定義の内容を表示します。	reg:label	
14	コメント		文字	登録済のコメント表示します。	reg:comment	
15	URI		文字	登録済の語彙定義の名前空間URIを表示します。	語彙定義管理テーブル.語彙定義URI	
16	作成日		文字	登録済の語彙定義の作成日付を表示します。	reg:created	
ターム一覧						
17	名前空間(URI)	○	文字	語彙の名前空間(URI)を表示する	rdf:resource	
18	ラベル		文字	語彙のラベルを表示する	rdfs:label	
19	タイプ		文字	語彙のタイプを表示する	rdf:type	
20	コメント		文字	語彙のコメントを表示する	rdfs:comment	

3.項目説明

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	戻る	アクティブ				「4.9」参照		javascript
記述規則一覧								
2	(ヘッダ)	アクティブ				「4.2」参照		Ajax
3	記述規則名	アクティブ				「4.3」参照	(/show/description/view/{URI})	javascript
記述制約一覧								
4	(ヘッダ)	アクティブ				「4.2」参照		Ajax
5	記述規則名	アクティブ				「4.3」参照	(/show/description/view/{URI})	javascript
6	記述制約名	アクティブ				「4.4」参照	(/show/statement/view/{URI})	javascript
7	プロパティ	アクティブ				「4.5」参照	(/show/term/view/{URI})	
8	値制約	アクティブ				「4.6」参照	(/show/term/view/{URI}) 記述規則(構造化)の場合 (/show/description/viewStructure/{URI})	javascript
語彙定義一覧								
9	(ヘッダ)	アクティブ				「4.2」参照		Ajax
10	語彙定義名	アクティブ				「4.7」参照	(/show/vocabulary/view/{URI})	javascript
ターム一覧								
11	(ヘッダ)	アクティブ				「4.2」参照		Ajax
12	名前空間(URI)	アクティブ				「4.8」参照	(/show/term/view/{URI})	

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ タイプが記述規則の場合
(記述規則一覧)
記述規則メタデータスキーマを検索する
reg:label、reg:commentをキーワードで検索する(登録組織の昇順)
(記述制約一覧)
記述規則スキーマを検索する
rdfs:label、rdfs:commentをキーワードで検索する。(登録組織の昇順)
(基底URIのものは除く)
- ・ タイプが語彙定義の場合
(語彙定義一覧)
語彙定義メタデータスキーマを検索する
reg:label、reg:commentをキーワードで検索する(URIの昇順)
(ターム一覧)
語彙定義スキーマを検索する
rdfs:label、rdfs:commentをキーワードで検索する。(URIの昇順)
(基底URIのものは除く)

画面を表示する。

4.2 テーブルヘッダリンクを押下する

- (記述規則一覧)
 - ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。
- (記述制約一覧)
 - ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。
- (語彙定義一覧)
 - ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。
- (ターム一覧)
 - ・ Ajaxで指定された項目をソート。現状の反対の状態の昇順または降順で表示。

4.3 記述規則名を押下する

- ・ D-02 記述規則参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refDescription」にする。

4.4 記述制約名を押下する

- ・ D-04 記述制約参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refStatement」にする。

4.5 プロパティを押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.6 値制約を押下する

- ・ 記述制約(構造化)エンティティの場合
D-03 記述規則(構造化)参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refStructure」にする。
- ・ クラスプロパティの場合
D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.処理詳細

4.7 語彙定義名を押下する

- ・ D-06 語彙定義参照画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「refVocabulary」にする。

4.8 名前空間(URI)を押下する

- ・ D-07 ターム詳細表示画面を別ダイアログで表示する。target属性の値を、「termDetail」にする。

4.9 戻るを押下する

- ・ D-09 キーワード検索画面へ遷移する。

画面説明

画面No.	画面名称
E-03	メタデータ生成

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

2. 処理概要

メタデータ生成

戻る

記述規則

名前空間 (URI)	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample
バージョン	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample?20101101
バージョン情報	第1.1版
タイトル	〇〇図書館のスキーマ
コメント	文書の記述に用いる
作成者	国立国会図書館
作成日	2010-11-01

メタデータ生成

入力形式	☒ CSV形式 (カンマ) ☐ TSV形式 (タブ)
出力形式	☒ RDF/XML形式 ☐ Turtle形式 ☐ TopicMaps形式
メタデータ生成実行	参照
	ファイルからの生成
	 テキストからの生成

CSV形式のメタデータインスタンスのファイルアップロード、テキスト入力を行い、記述規則との検証を行い、エラーがあった場合は、エラー表示する。エラーでない場合は、メタデータ生成形式で選択された形式で、メタデータインスタンスを出力します。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	入力形式	ラジオ	○	CSV形式				CSV形式 TSV形式			選択肢は設定ファイルより取得する
2	出力形式	ラジオ	○	RDF/XML形式				RDF/XML形式 Turtle形式 TopicMaps形			選択肢は設定ファイルより取得する
3	メタデータ生成実行 (ファイルからの生成)	ファイル	△		文字		ファイルパス		ファイルダイアログを表示		ファイル名は256文字以上はエラーとする
4	メタデータ生成実行 (テキストからの生成)	テキスト エリア	△		文字						

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	名前空間(URI)		文字	記述規則のベースURI	名前空間URI	
2	バージョン		文字	記述規則のベースURIのバージョン		
3	バージョン情報		文字	記述規則のバージョン情報	reg:version	
4	タイトル		文字	記述規則のタイトル	reg:title	
5	コメント		文字	記述規則のコメント	reg:comment	
6	作成者		文字	記述規則の作成者	reg:creator	
7	作成日		文字	記述規則の作成者	reg:created	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	ファイルからの生成	アクティブ				「4.3」参照	MetadataAction.doFileUpload	
2	テキストからの生成	アクティブ				「4.4」参照	MetadataAction.doTextUpload	
3	閉じる／戻る	アクティブ				「4.5」参照 「4.6」参照		一般公開は、戻る。 それ以外は閉じる。

4.処理詳細

4.1 初期表示

- ・ 前画面から、記述規則のRDF/XMLファイルを取得し、jenaで読み込む。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
- ・ 画面を表示する

4.2 参照

- ・ ファイル選択ダイアログ表示する。

4.3 ファイルからの生成を押下する(/doFileUpload)

- ・ バリデータチェックを行う。(ファイル名が未入力の場合)
- ・ アップロードするファイルが取得できない場合は、エラーメッセージを表示する。
「指定ファイルがアップロードできません。」
- ・ アップロードするファイルのサイズが上限を超えた場合は、エラーメッセージを表示する。
「指定ファイルのサイズが上限を超えました。」
- ・ メタデータインスタンスのフォーマットチェックをする。

書誌ID	タイトル	著者	発行日	主題
b01234	音楽美学	ハンス・リック	2000/10/20	音楽 楽器
b01236	今晚のおかず	山本花子	2000/08/10	料理 食料

※繰返し「|」にする

- ・ 入力されたメタデータインスタンスが、記述規則と整合性があるかをチェックする。(1行ごとに)
 - ・ メタデータインスタンスをRDF/XML変換する。
ndlsh:等の統制語彙やリソースの場合は、以下になる
主題 <http://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/料理>
 - ・ 記述規則管理テーブルからXMLスキーマを取得し、XMLスキーマでチェックする。
- ・ エラーがある場合は、すべての行数のログを出力し、フォームに設定。E-04 メタデータ生成結果画面へ遷移する。
- ・ エラーがなければ、
各形式ごとに以下を行い、正常終了した結果メッセージをフォームに設定する。

【RDF/XML形式】

- ・ ダウンロード用フォルダを作成(日付フォルダを生成:すでに存在する場合は作成しない)
- ・ 変換したメタデータインスタンスRDF/XMLをダウンロード用フォルダに生成する。
ファイル名は、日時_セッションID.rdfとする
- ・ ダウンロード用保存ファイルパスをフォームに設定し、E-04 メタデータ生成結果画面へ遷移する。

【Turtle形式】

- ・ ダウンロード用フォルダを作成(日付フォルダを生成:すでに存在する場合は作成しない)
- ・ 変換したメタデータインスタンスRDF/XMLをTurtle形式に変換して、ダウンロード用フォルダに生成する
ファイル名は、日時_セッションID.ttlとする
- ・ ダウンロード用保存ファイルパスをフォームに設定し、E-04 メタデータ生成結果画面へ遷移する。

【TopicMaps形式】

- ・ ダウンロード用フォルダを作成(日付フォルダを生成:すでに存在する場合は作成しない)
- ・ 変換したメタデータインスタンスRDF/XMLをTopicMaps形式に変換して、ダウンロード用フォルダに生成する
ファイル名は、日時_セッションID.xtmとする
- ・ ダウンロード用保存ファイルパスをフォームに設定し、E-04 メタデータ生成結果画面へ遷移する。

4. 処理詳細

4.4 テキストからの生成を押下する(/doTextUpload)

- ・バリデータチェックを行う。(テキストが未入力の場合)
- ・メタデータインスタンスのフォーマットチェックをする。
 - ・以下、4.3と同様

4.5 閉じるを押下する

- ・画面を閉じる。

4.6 戻るを押下する

- ・`history.back()`で戻る。

画面説明

画面No.	画面名称
E-04	メタデータ生成結果

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

メタデータ生成結果

[戻る](#)

確認結果

1行目 : 書誌ID:b01234:XMLスキーマエラー内容……
3行目 : 書誌ID:b01236:XMLスキーマエラー内容……

[ダウンロード](#)

2. 処理概要

E-03 メタデータ生成でアップロードされたデータでエラーがあった場合は、エラー表示する。
エラーでない場合は、メタデータ生成形式で選択された形式のメタデータインスタンスをダウンロードボタンで出力します。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	確認結果			メタデータ生成で設定された内容を表示		入力不可

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	ダウンロード	ダウンロード ファイルがない 場合、非ア クティブ					MetadataAction.doDownload	
2	戻る	アクティブ				E-03 メタデータ生 成へ戻る	MetadataAction.doBackUpload	

4.処理詳細

4.1 初期表示

- ・ E-03 メタデータ生成で設定されたフォーム内容を画面表示する。
- ・ ダウンロード用保存ファイルパスがない場合は、ダウンロードボタンを押下不可とする。
- ・ ダウンロード用保存ファイルパスがある場合は、ダウンロードボタンを押下化とする。

4.2 ダウンロードを押下する

- ・ ダウンロード用保存ファイルパスのファイルをダウンロードする
※ダウンロード用保存ファイルは、夜間バッチで削除

4.3 戻るを押下する

- ・ E-03 メタデータ生成画面に遷移する。

画面説明

画面No.	画面名称
F-03	メタデータ変換(DC)

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

メタデータ変換(DC)

戻る

記述規則

名前空間 (URI)	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample
バージョン	http://XXX.XXX.XXX/dsp/organization/sample?20101101 第1.1版
タイトル	〇〇図書館のスキーマ
コメント	文書の記述に用いる
作成者	国立国会図書館
作成日	2010-11-01

メタデータ変換(DC)

入力形式	☒ RDF/XML形式 ☐ Turtle形式
出力形式	☒ HTML形式 (DC) ☐ RDF/XML形式(DC) ☐ Turtle形式 (DC) ☐ TopicMaps形式 (DC)
メタデータ DC変換実行	参照 ファイルからの変換 URLからの変換 テキストからの変換

2. 処理概要

該当の記述規則の入力形式のメタデータインスタンスをシンプルDC形式のメタデータインスタンスへ変換して出力します。

3.項目説明

(1) 入力項目

No	項目名	タイプ							動作	DB/Jena項目	備考
			必須	初期値	型	文字数	その他制約	選択肢			
1	入力形式	ラジオ	○	RDF/XML形式				RDF/XML形式 Turtle形式			選択肢は設定ファイルより取得する
2	出力形式	ラジオ	○	RDF/XML形式				RDF/XML形式 Turtle形式			選択肢は設定ファイルより取得する
3	メタデータDC変換実行 (ファイルからの変換)	ファイル	△		文字		ファイルパス		ファイルダイアログを表示		ファイル名は256文字以上はエラーとする
4	メタデータDC変換実行 (URLからの変換)	テキスト	△		文字		URLチェック				
5	メタデータDC変換実行 (テキストからの変換)	テキスト エリア	△		文字						

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	名前空間(URI)		文字	記述規則のベースURI	名前空間URI	
2	バージョン		文字	記述規則のベースURIのバージョン		
3	バージョン情報		文字	記述規則のバージョン情報	reg:version	
4	タイトル		文字	記述規則のタイトル	reg:title	
5	コメント		文字	記述規則のコメント	reg:comment	
6	作成者		文字	記述規則の作成者	reg:creator	
7	作成日		文字	記述規則の作成者	reg:created	

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	メタデータDC変換実行 (ファイルからの変換)	アクティブ				「4.3」参照	MetadataAction.doFileUploadDc	
2	メタデータDC変換実行 (URLからの変換)	アクティブ				「4.4」参照	MetadataAction.doUrlUploadDc	
3	メタデータDC変換実行 (テキストからの変換)	アクティブ				「4.5」参照	MetadataAction.doTextUploadDc	
3	閉じる／戻る	アクティブ				「4.6」参照 「4.7」参照		一般公開は、戻る。 それ以外は閉じる。

4. 処理詳細

4.1 初期表示

- ・ 前画面から、記述規則のRDF/XMLファイルを取得し、jenaで読み込む。
- ・ jenaから画面上部のメタデータを取得する。
- ・ 画面を表示する

4.2 参照

- ・ ファイル選択ダイアログ表示する。

4.3 ファイルからの変換を押下する

- ・ バリデータチェックを行う。(ファイル名が未入力の場合)
 - ・ アップロードするファイルが取得できない場合は、エラーメッセージを表示する。
「指定ファイルがアップロードできません。」
 - ・ アップロードするファイルのサイズが上限を超えた場合は、エラーメッセージを表示する。
「指定ファイルのサイズが上限を超えました。」
 - ・ Jenaの読み込む。
 - ・ 記述規則管理テーブルからXMLスキーマを取得し、XMLスキーマでチェックする。
 - ・ メタデータインスタンスが、記述規則と整合性があるかをチェックする。(1レコードごとに)
 - ・ エラーが発生した場合は、エラーメッセージを設定し、F-04 メタデータ変換結果(DC)画面に遷移する。
 - ・ エラーがなければ、
 - ・ 記述規約管理テーブルから、DCマッピング情報を取得し、jenaでプロパティの置き換えを行う。
 - ・ jenaでRDF/XMLを出力する(dc変換されたもの)
 - ・ ダウンロード用フォルダを作成(日付フォルダを生成:すでに存在する場合は作成しない)
 - ・ 出力したメタデータインスタンス各形式に変換して、ダウンロード用フォルダに生成する
- 【RDF/XML形式】 ファイル名は、dc_日時_セッションID.rdfとする
【Turtle形式】 ファイル名は、dc_日時_セッションID.ttlとする
【TopicMaps形式】 ファイル名は、dc_日時_セッションID.xtmとする
- ・ ダウンロード用保存ファイルパスをフォームに設定し、F-04 メタデータ変換結果(DC)画面へ遷移する。

4.4 URLからの変換を押下する

- ・ バリデータチェックを行う。(URLが未入力の場合)
 - ・ URLからファイルをダウンロードし、取得する。
 - ・ URLからファイルが取得できない場合は、エラーメッセージを表示する。
「URLからファイルが取得できません。」
 - ・ Jenaの読み込む。
 - ・ 記述規則管理テーブルからXMLスキーマを取得し、XMLスキーマでチェックする。
 - ・ メタデータインスタンスが、記述規則と整合性があるかをチェックする。(1レコードごとに)
 - ・ エラーが発生した場合は、エラーメッセージを設定し、F-04 メタデータ変換結果(DC)画面に遷移する。
 - ・ エラーがなければ、
 - ・ 記述規約管理テーブルから、DCマッピング情報を取得し、jenaでプロパティの置き換えを行う。
 - ・ jenaでRDF/XMLを出力する(dc変換されたもの)
 - ・ ダウンロード用フォルダを作成(日付フォルダを生成:すでに存在する場合は作成しない)
 - ・ 出力したメタデータインスタンス各形式に変換して、ダウンロード用フォルダに生成する
- 【RDF/XML形式】 ファイル名は、dc_日時_セッションID.rdfとする
【Turtle形式】 ファイル名は、dc_日時_セッションID.ttlとする
【TopicMaps形式】 ファイル名は、dc_日時_セッションID.xtmとする
- ・ ダウンロード用保存ファイルパスをフォームに設定し、F-04 メタデータ変換結果(DC)画面へ遷移する。

4. 処理詳細

4.5 テキストからの変換を押下する

- ・バリデータチェックを行う。(テキストが未入力の場合)
 - ・Jenaの読み込む。
 - ・記述規則管理テーブルからXMLスキーマを取得し、XMLスキーマでチェックする。
 - ・メタデータインスタンスが、記述規則と整合性があるかをチェックする。(1レコードごとに)
 - ・エラーが発生した場合は、エラーメッセージを設定し、F-04 メタデータ変換結果(DC)画面に遷移する。
 - ・エラーがなければ、
 - ・記述規約管理テーブルから、DCマッピング情報を取得し、jenaでプロパティの置き換えを行う。
 - ・jenaでRDF/XMLを出力する(dc変換されたもの)
 - ・ダウンロード用フォルダを作成(日付フォルダを生成:すでに存在する場合は作成しない)
 - ・出力したメタデータインスタンス各形式に変換して、ダウンロード用フォルダに生成する
- 【RDF/XML形式】 ファイル名は、dc_日時_セッションID.rdfとする
- 【Turtle形式】 ファイル名は、dc_日時_セッションID.ttlとする
- 【TopicMaps形式】 ファイル名は、dc_日時_セッションID.xtmとする
- ・ダウンロード用保存ファイルパスをフォームに設定し、F-04 メタデータ変換結果(DC)画面へ遷移する。

4.6 閉じるを押下する

- ・画面を閉じる。

4.7 戻るを押下する

- ・history.back()で戻る。

画面説明

画面No.	画面名称
F-04	メタデータ変換結果(DC)

更新日	2011/1/12	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト

メタデータ変換結果(DC)

戻る

確認結果

FatalError: Open quote is expected for attribute "xmlns:dc" associated with an element type "rdf:RDF".[Line = 3, Column = 12]

ダウンロード

2. 処理概要

F-03 メタデータ変換(DC)でアップロードされたデータでエラーがあった場合は、エラー表示する。エラーがない場合は、メタデータ生成形式で選択されたシンプルDC形式のメタデータインスタンスをダウンロードボタンで出力します。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目

No	項目名	リンク	型	内容	DB/Jena項目	備考
1	確認結果			メタデータ変換(DC)で設定された内容を表示		入力不可

(3) ボタン・リンク項目

No	ラベル	初期状態	状態遷移	確認タイプ	メッセージ	動作	アクションクラス	備考
1	ダウンロード	ダウンロード ファイルがない 場合、非ア クティブ				「4.2」参照	MetadataAction.doDcDownloa d	javascript
2	戻る	アクティブ				「4.3」参照		javascript

4.処理詳細

4.1 初期表示

- ・ F-03 メタデータ変換(DC)で設定されたフォーム内容を画面表示する。
- ・ ダウンロード用保存ファイルパスがない場合は、ダウンロードボタンを押下不可とする。
- ・ ダウンロード用保存ファイルパスがある場合は、ダウンロードボタンを押下化とする。

4.2 ダウンロードを押下する

- ・ ダウンロード用保存ファイルパスのファイルをダウンロードする
※ダウンロード用保存ファイルは、夜間バッチで削除

4.3 戻るを押下する

- ・ F-03 メタデータ変換(DC)画面に遷移する。

画面No.	画面名称
G-01	語彙定義取得API

更新日	2011/2/1	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

[illegible]

語彙定義のRDFをグラフURIを指定して取得する。
指定方法は、

```
{レジストリURI}?graph={グラフURI}  
                        &format={フォーマット}  
                        &version={日付}
```

※例（グラフURI）
graph=http://ndl.go.jp/dcndl/terms/

※例（フォーマット）

format=xml	・ ・ ・ RDF/XML
format=turtle	・ ・ ・ Turtle
format=topic	・ ・ ・ TopicMaps
formatがない場合	・ ・ ・ RDF/XML

※例（日付）
version=20101011
versionがない場合 . . . 最新

ただし、jenaで出力するため、
オリジナルファイルがある場合でも
オリジナルファイルは出力されません。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目
なし

(3) ボタン・リンク項目
なし

4. 処理詳細

4.1 グラフ取得(/api/vocabulary)

- ・ グラフURI(graph)を取得する。
- ・ フォーマット(format)を取得する。Nullの場合は、RDF/XMLとする。
- ・ 日付(version)を取得する。Nullの場合は、最新とする。
- ・ 語彙定義管理テーブルから、グラフURIのキーと日付で最新または、バージョンの語彙定義のRDF/XMLを取得する。
- ・ jenaでRDF/XMLを読み込む。
- ・ 指定フォーマットで、出力する。

RDF/XMLの場合

RDF/XMLファイルで出力する。ファイル名は、vocabulary.rdf

Turtleで出力する

Turtleに変換して、出力する。ファイル名は、vocabulary.ttl

Topicmapsで出力する

Topicmapsに変換して、出力する。ファイル名は、vocabulary.xtm

パラメータエラー ...ステータスコード:404

その他エラー ...ステータスコード:500

【エラーXML】...error.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
```

```
<Error>
```

```
  <Message>error message</Message>
```

```
</Error>
```

画面説明

画面No.	画面名称
G-02	記述規則取得API

更新日	2011/2/1	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト



2. 処理概要

記述規則のRDFをグラフURIを指定して取得する。
指定方法は、
{レジストリURI} ?graph={グラフURI}
&format={フォーマット}

※例（グラフURI）
graph=http://ndl.go.jp/dcndl/dsp/

※例（フォーマット）
format=xml . . . RDF/XML
format=turtle . . . Turtle
format=topic . . . TopicMaps
formatがない場合 . . . RDF/XML

※例（日付）
version=20101011
versionがない場合 . . . 最新

ただし、jenaで出力するため、
オリジナルファイルがある場合でも
オリジナルファイルは出力されません。

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目
なし

(3) ボタン・リンク項目
なし

4. 処理詳細

4.1 グラフ取得(/api/description)

- ・ グラフURI(graph)を取得する。
- ・ フォーマット(format)を取得する。Nullの場合は、RDF/XMLとする。
- ・ 日付(version)を取得する。Nullの場合は、最新とする。
- ・ 記述規則管理テーブルから、グラフURIのキーと日付で最新または、バージョンの記述規則のRDF/XMLを取得する。
- ・ jenaでRDF/XMLを読み込む。
- ・ 指定フォーマットで、出力する。

RDF/XMLの場合

RDF/XMLファイルで出力する。ファイル名は、description.rdf

Turtleで出力する

Turtleに変換して、出力する。ファイル名は、description.ttl

Topicmapsで出力する

Topicmapsに変換して、出力する。ファイル名は、description.xtm

パラメータエラー ...ステータスコード:404

その他エラー ...ステータスコード:500

【エラーXML】...error.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
```

```
<Error>
```

```
  <Message>error message</Message>
```

```
</Error>
```

画面説明

画面No.	画面名称
G-05	メタデータ変換API

更新日	2011/2/1	承認	査閲	担当
更新者	infocom			
確認日				
確認者				

1. レイアウト



画面なし

2. 処理概要

対象メタデータのrdfを記述規則のグラフURIのDCマッピングを利用して、シンプルDCとしてメタデータを返却します。

指定方法は、
{レジストリURI} ?graph={グラフURI}
&source={対象メタデータURI}

※例（グラフURI）
graph=http://ndl.go.jp/dcndl/dsp/

※例（対象メタデータURI）
source=http://ndl.go.jp/dcndl/source/00010.rdf

3.項目説明

(1) 入力項目
なし

(2) 出力項目
なし

(3) ボタン・リンク項目
なし

4. 処理詳細

4.1 メタデータ変換(/api/metadata)

- ・ グラフURI(graph)を取得する。
- ・ 対象メタデータURIを(source)を取得する。
- ・ 対象メタデータURIからファイルをダウンロードし、取得する。
- ・ 対象メタデータURIからファイルが取得できない場合は、エラーXMLを返却する。
取得できた場合は、対象メタデータインスタンスとする。
- ・ グラフURIで、記述規則管理テーブルのXMLスキーマを取得する。
- ・ 対象メタデータインスタンスが、記述規則と整合性があるかをXMLスキーマでチェックする。(1レコードごとに)
- ・ エラーが発生した場合は、エラーXMLを設定する。
- ・ エラーがなければ、
記述制約管理テーブルから、DCマッピング情報を取得し、jenaでプロパティの置き換えを行う。
- ・ jenaでRDF/XMLを出力し、RDF/XML形式に変換して、出力する。
RDF/XMLファイルで出力する。ファイル名は、対象メタデータファイル名の接頭辞にdc_を付与し、dc_XXXXXとする。

パラメータエラー ...ステータスコード:404

その他エラー ...ステータスコード:500

【エラーXML】...error.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<Error>
  <Message>error message</Message>
</Error>
```